FINAL FANTASY VIII™

ファイナルファンタジーVIII

ペーパークラフトBOOK

紙で作るガーディアンフォース

FFVIIIキャラクターデザイン
スクウェア 野村哲也 監修

ファイナルファンタジーVIIIのキャラクターをペーパークラフトで再現しよう！

- レベルごとに挑戦できる全5体・3段階の難易度付き型紙。
- パソコンから自由に型紙を印刷できる特別CD-ROM（Windows／Macハイブリッド）付き。

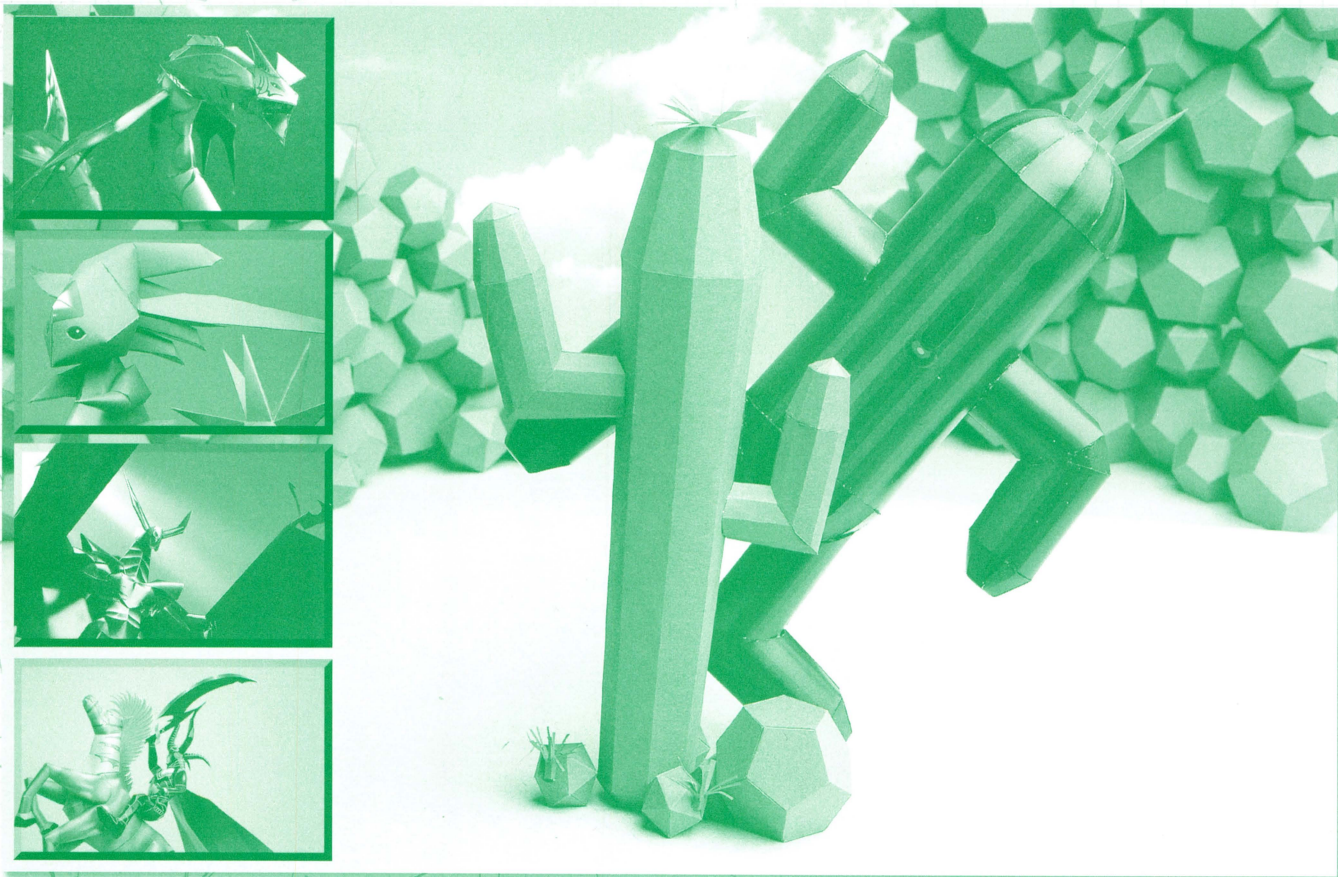
SQUARESOFT

FINAL FANTASY VIII™

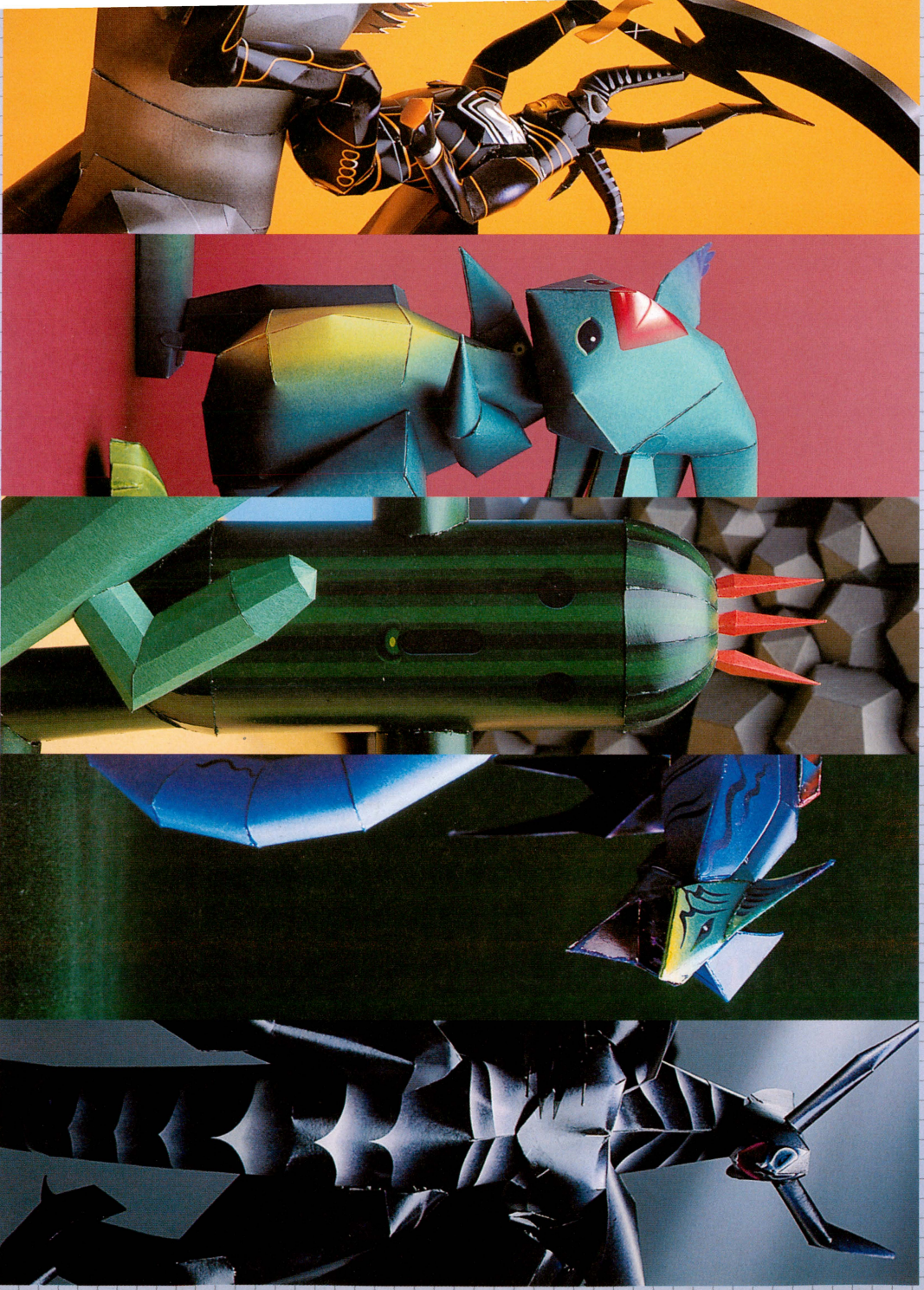
ファイナルファンタジーVIII

ペーパークラフトBOOK

紙で作るガーディアンフォース

FFVIIIキャラクターデザイン
スクウェア 野村哲也 監修

ファイナルファンタジーVIIIのキャラクターを
ペーパークラフトで再現しよう！

SQUARESOFT

ファイナルファンタジーVIII ペーパークラフトBOOK

ペーパークラフトクリエイターによる

プロの作成例

クリエイターのプロフィール

リアルノッポサンズ　**赤間 達弘**

2D・3D問わず、紙のディティールにこだわり続けるクリエイター。

昔からの紙工作人。紙によるキャラクター造形の他に、貼り絵やシャドーボックス（3Dアート）等も行う。本人曰く、「紙の可能性の探求」らしい。また、趣味で自主映画を撮影することもある。

現在、山形大学大学院でロボット制御工学を勉強中。

〜コミックマーケットやワンダーフェスティバルなど、アンダーグラウンドで活躍中。ペーパークラフトに関しては、カリスマ的な人気を誇るアーティストである。〜

・ホームページのURL　http://www.realnoppo.com/

作歴

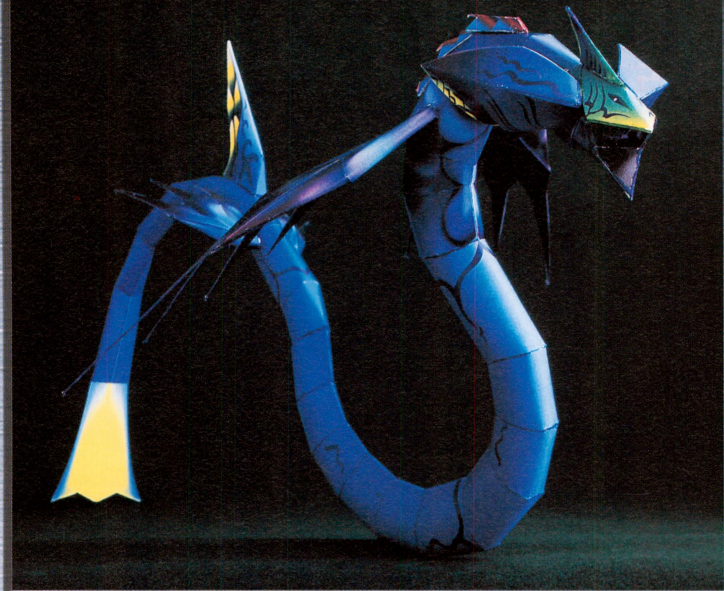
「すえぞう」ファイブスター物語

「スペシネフ」電脳戦機バーチャロン

サボテンダー

リアルノッポサンズ 赤間氏による **このモデルのポイント**

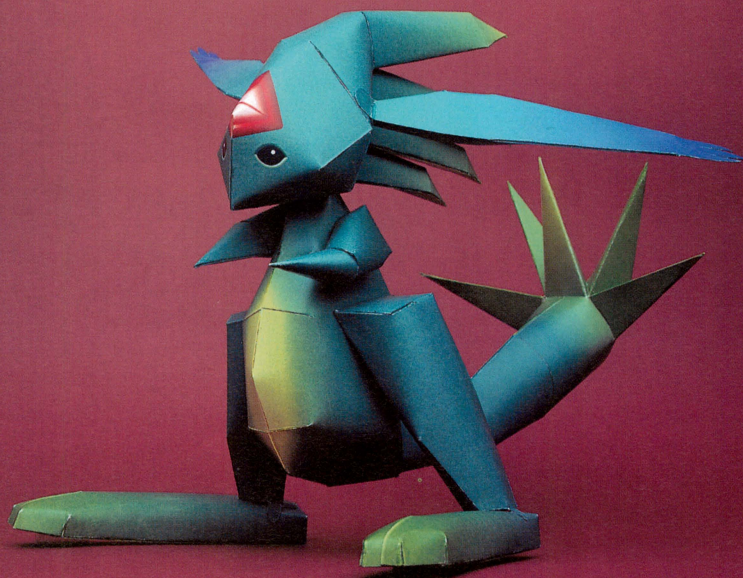
胴体や手足が筒状ですが、この程度なら紙工作初心者の方でも問題無く組立てられると思います。注意点は、手足を胴体に貼る際に、胴体の中が空洞なので潰してしまわないことです。

オーディンとスレイプニル
リアルノッポサンズ 赤間氏による
このモデルのポイント
人型は紙工作では難しいのですが、よく表現したと誉めたい作品です。スレイプニルはヒヅメが細かいので、のりしろを一つ貼ったら乾くまで待ち、乾いたら次を貼るといった作業を繰り返すと良いと思います。

リアルノッポサンズ
赤間氏による
このモデルのポイント

バランスの良い作品です。頭のパーツが細かいですが、紙工作の初心者向きだと思います。注意点は、翼を胴体に貼るのりしろが小さめなので、しっかりと貼り付けなければならない点です。

カーバンクル

リアルノッポサンズ
赤間氏による
このモデルのポイント

尻尾の先が少し貼りにくいが、気をつけて組めば問題無し。切断面を似たような色ペンで縁取りすると完成品の見栄えが良くなります。

もくじ

さあ組み立てよう

各モデルのつくりかた

初心者はここからなれよう

複雑な造形が必要な中級者向けモデル

自信がついたら挑戦して欲しい

パッチリおめめと奇妙なポーズでおなじみのサボテンダー。筒状の成形に気を付けよう。

全14パーツ

伝説の怪物・水竜をイメージしたリヴァイアサン。筒状の成形が多いので、丁寧に組もう。

全18パーツ

額にきらめく真っ赤なルビーのカーバンクル。丁寧な切り取りが可愛く作るコツ。

全16パーツ

漆黒の闇から現れる黒竜バハムート。羽を広げた完成形は約50cmの巨大モデル。

全37パーツ

勇ましく剣を振りかざすオーディン。小さいパーツが多いので慎重に進めよう。

全28パーツ

オーディンの相棒の巨馬スレイプニル。脚のディテールにこだわりたい。

全32パーツ

難易度の目安

初心者　中級者　上級者

ファイナルファンタジーVIII ペーパークラフトBOOK

STAFF

編集	株式会社デジキューブ
Editor in Chief	垣貫 真和
Editor	小林 卓
	佐藤 治男
Editorial Staff	安田耕一郎
Modeling Asistant	芳賀 浩樹
Scheduling Assistant	原田のぞみ
Product Manager	中村 寛文
デザイン	株式会社サン・ダイアル
型紙設計	株式会社建築システム
グラビア用モデル作成	赤間 達弘
CD−ROMデザイン	有限会社タケノブランニング・デジタル
撮影	真名子
	柴泉 寛（Hand Made）
	大竹 肖治（Hand Made）
協力・監修	間 一郎（株式会社スクウェア）
	野村哲也（株式会社スクウェア）

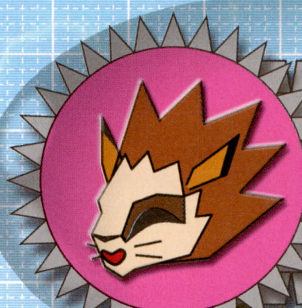
発行：1999年11月19日初版
発行人：染野正道
編集人：横田洋文
発行所
株式会社デジキューブ
東京都渋谷区広尾1-13-7
恵比寿イーストビル
Tel.03-3444-5765
Fax.03-3444-5940
印刷：大日本印刷株式会社

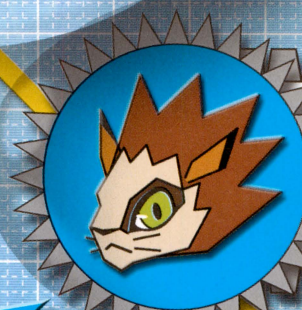
ISBN4-925075-59-4 C0076

めざせ！ペーパークラフトマスター

つくりかた＆テクニック

道具のことからプロ直伝のテクニック、そしてモデルの組み立てまで、ペーパークラフトの全てがわかる！

かんたん！

ムンバもニコッと余裕の表情。まだまだ序の口の基本レベル。まずはこのあたりから始めて、ペーパークラフトに慣れていこう。

イイ感じ！

キリッとクールに真剣な表情のムンバ。なかなか手強い標準レベル。どこをとっても精密作業の連続で、涼しい顔ができるのも今のうち？

激ムズ

ムンバもクルクル目を回すほどの難しさの、ひと筋縄ではいかない職人レベル。これができればキミもペーパークラフトマスターだ！

レベルアイコン

シュミ族の化身、「ムンバ」はペーパークラフトが大好き。彼の表情で、各コーナーの内容がどれだけ難しいものかがわかる。まず彼の顔を見て、自分のレベルに合ったものから始めよう。

基本編 創造への第一歩

切りとり

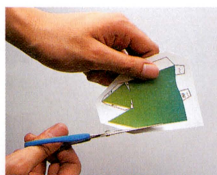
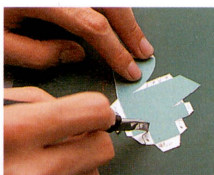
ペーパークラフトの型紙を切る際には、丸く切り抜いたり、ギザギザに切ったり、と多様な切りかたが要求される。ここでは、切りかたに関するテクニックをまとめてみた。順次マスターしていこう。

使用する道具
・ハサミ・カッターナイフ
・定規・デザインナイフ
・カッティングマット

STEP 1 ハサミとカッターの使いかた

日用品を使って気楽につくろう

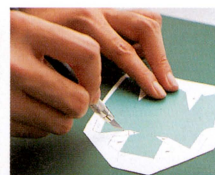
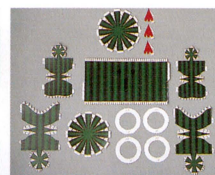
紙を切る道具の代表格であるハサミとカッター。これらは身の回りで手に入り、扱いやすいのが利点である。長い線や曲線にはハサミ、細かい箇所にはカッターの方が適しているので、両方揃えておくべきだろう。

⬆まず、ハサミで型紙をパーツごとに大まかに切り分けておくと、後の作業が楽になる。

⬆まず型紙の表から見てパーツを切りとってから、裏面を見て切り込みを入れていく。

⬆ハサミでは切りづらい箇所にはカッターを使う。細かいギザギザなども正確に切れる。

STEP 2 デザインナイフを使ってみよう

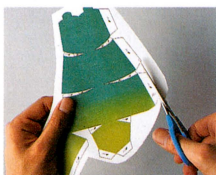
シャープな切れ味

デザインナイフはカッターナイフよりも刃が薄く、刃先の角度が狭い。したがって、紙を形どおりに切り取る作業には大変役立つ。反面、刃先は非常にもろい。切れ味が鈍ってきたら、すぐに新しい刃と交換しよう。

⬆これは市販のカッティングマット。本などで代用する場合は滑りにくいものを選ぼう。

⬆カッターナイフで切るよりも、さらに歪みが少なく鋭い断面になるのが特徴だ。

⬆サボテンダーのパーツを全て切りとったもの。デザインナイフなら曲線も切りやすい。

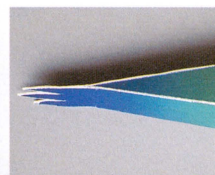
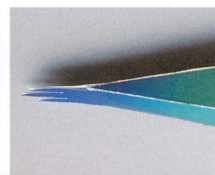
STEP 3 切りかたを使いわけ、より美しく、よりスピーディーに。

切る場所によって道具を変える。

切りとりの作業は、失敗したらとり返しがつかないばかりでなく、完成時に差がつく大事な工程である。しかし、終始道具を握る手に力を入れていたのでは、いざ完成の頃にはヘトヘトに疲れてしまうので楽に行こう。切断面が薄く、切線が残っていないのが最もきれいな切りかただが、のりしろはどんなにきれいに切ってものりづけ後には見えない部分であることにも注目。きれいな仕上がりと作業効率の良さを両立しよう。

⬆実はのりしろ部は多少線とずれて切っても問題ない。ハサミでジョキジョキと切ろう。

⬆型紙を裏と表両方から見て、はみ出したり切り過ぎたりしないように正確に切りとろう。

⬆切り込み、折り目をつけて1パーツ完成。組み立てに影響するのでよく確認すること。

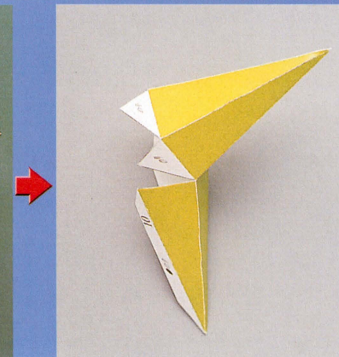
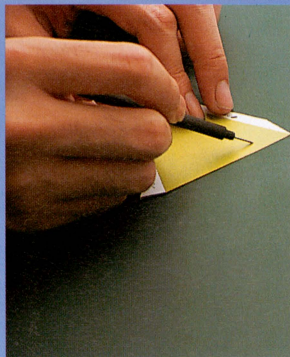
⬆写真のように刃を斜めにして切ることで、紙の端を薄くして接着面を目立たなくする。

⬆ふつうに刃を垂直に入れて切り、接着したもの。接着部の盛り上がりが白く目立つ。

⬆こちらは刃を斜めに入れたもの。接着部が薄くなるので、紙の白さが目立たなくなる。

ここまでやればプロ

折り目をつける

折りしろ及びのりしろ線は、形をつけやすいように、組み立て前にあらかじめ折り目をつけておく必要がある。しかし、ペーパークラフトの場合、折り紙などと違って紙に厚みがあり、シャープに折るのは難しいので、あらかじめ左で挙げたような道具を使って線をなぞっておこう。なぞる時に誤って紙を切ってしまうことがよくあるので、くれぐれも力を入れすぎないように注意すること。使う道具の先端をヤスリがけしておくのもよい。

使用する道具

カッターの刃の裏、鉄筆、千枚通し、シャープペンシルの先端、インクの切れたボールペンなど、適当に尖った硬いもの。定規。

⬅実際に道具を使って、紙にシャープな折り目をつけてみた。小さなパーツになるほど、これを欠かさずにやっておかないと、組み立てのときに苦労する。

基本編　徐々に姿を現すガーディアン・フォース

のりづけ

パーツを全部切りとったら、次はのりづけに入る。こちらも切りとりと同様、細かい作業の繰り返しとなる。これを終えればモデルは見事完成。ひとつひとつ確実にやろう。

使用する道具
- 木工ボンド・マスキングテープ
- ピンセット・ラジオペンチ
- つまようじ（もしくは細い棒状のもの）

STEP 1 接着剤の正しいぬりかた

接着剤のぬりすぎは禁物！

接着剤をぬりすぎると紙同士がすべってかえってうまく貼りつかないので、薄めにしよう。木工用ボンドなら接着力が強い上に、ぬったときにたれにくいのでオススメだ。乾くと透明になるのもポイントが高い。

⬆接着剤は薄くぬるほうが速く乾くが、容器から直接だとぬりすぎてしまうのでやめよう。

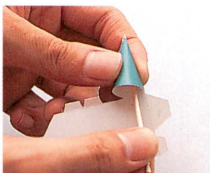
⬆このように一度新聞紙などの上に適当な量を出してから、それをすくってぬっていこう。

STEP 2 道具を工夫して使おう！

ちょっとしたアイデアで作成がグッと楽に

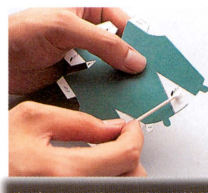
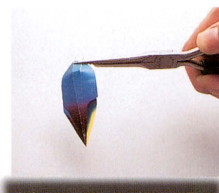
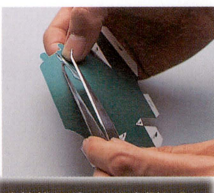
専門の工具以外でも、使い方を工夫することでペーパークラフト作成の手助けになる。下に挙げたのはあくまでその一例。身の回りのものを応用した役に立つ道具を、アイデア次第でいろいろと発見できるだろう。

⬆つまようじ。細かい箇所に接着剤をぬったり、はみ出した接着剤を拭うのに使う。

⬆ラジオペンチ。小さい箇所はこれで押さえてしっかり接着する。先が細いのが利点。

⬆ピンセット。つまようじとラジオペンチ、両方の役目を果たす。あると非常に便利。

STEP 3 きれいなのりづけのしかた

のりづけで仕上がりが変わる

きれいなのりづけとは、のりしろがしっかりと接着されていること。接着剤で表面を汚さないこと。のりしろがはみ出ていないこと。この三つの条件を満たしているものだ。あらゆる道具を駆使して慎重に行おう。

⬆パーツのどことどこを接着するのか、つくりかたのページで確認してから接着しよう。

⬆小さいのりしろだからこそ、ピンセットなどの道具を使ってしっかりと接着しよう。

⬆筒状のパーツは裏側からしっかり押さえて貼ること。細い箇所は道具を使うとよい。

FOLLOW もしも失敗してしまったら…

ちょっとしたミスのケア

間違えてのりしろを切ってしまったり、違うところにのりづけしたりして途方に暮れている人もいると思う。ここで紹介するのは、失敗を克服するための、簡単で役に立つテクニック。もしもの時は試してみよう。

⬆瞬間接着剤なら、どうしてもうまく貼れないのりしろも微量で一瞬にして接着できる。

⬆主な失敗は、このように余計なところを切ったり、のりづけの場所を間違えた、など。

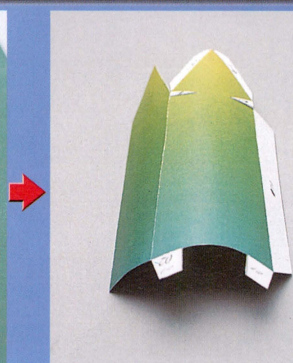
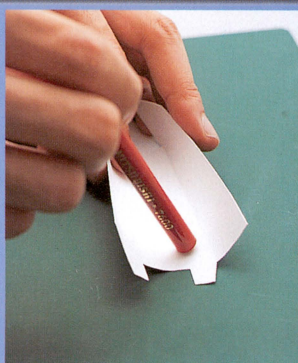
⬆裏からテープで止めて修繕しよう。接着ミスはのりしろを切り離して同様に処理する。

ここまでやればプロ

丸みをつける

形に丸みのあるパーツは、接着前に紙に丸みをつけておくと組み立てやすくなる。やりかたはパーツを接着する前に、左に挙げたような道具を押し当てながら、紙をゆっくりと曲げていくだけ。これで、ただ丸めただけとは違う、しっかりとした丸みがつけられる。筒状のパーツの場合には、これに加えてのりづけ後にも裏側から形を整えるとよい。つまようじなどの細い道具を使えば、小さなパーツにも確実に丸みがつけられる。

使用する道具

指の腹、鉛筆の後ろの丸い部分、その他丸い棒状のもの／つまようじやボールペンの芯など、細くて固めの、長い棒状のもの。

⬅実際に紙に丸みをつけてみた。完成時に丸いフォルムを持つパーツは、この工程を加えることでのりづけ作業が楽になり、仕上がりが断然よくなる。

応用編 美しさの追求へとレベルアップ！

彩色

ここからは応用編として、モデルのさらに美しい魅せかたを紹介する。簡単なグレードアップから、もはや紙とは思えないような手の込んだものまで、ペーパークラフトの限界に挑戦してほしい。

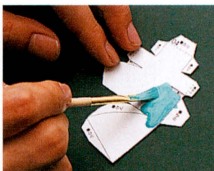
使用する道具
- 塗料・筆・スプレー塗料・エアブラシ
- コンプレッサー（エアー缶）・塗料皿
- その他アイデア次第で

STEP 1 筆で色をつける

貼った跡が目立つのはイヤ！

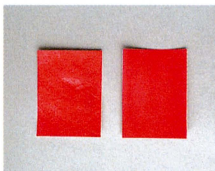
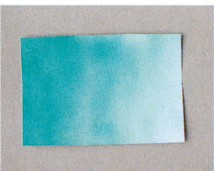
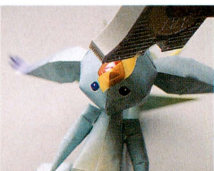
モデルをいくら完璧に作ったつもりでもどうしても消えないのが、紙の切断面や接着面の白い跡。これを目立たなくするには、いっそ上から色を塗ってしまおう。これだけで、モデルの見た目が劇的に変わる。

↑筆は、色を塗る部分に合わせて太目のものから極細のものまで、何種類か用意しよう。

↑のりしろのはみ出しや紙の断面など、気になる白い部分を隠すように色をつけていく。

↑筆で彩色するとこのような色ムラになりやすいので、広範囲に塗るには適していない。

STEP 2 エアブラシを使ってみよう

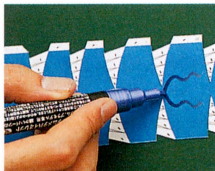
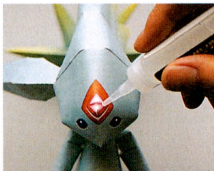
グラデーションをつける・色のタッチを変える

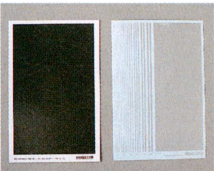
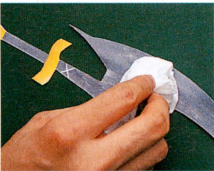
エアブラシとは、コンプレッサーという機械から圧縮空気を供給して、塗料を噴射する道具である。筆を使うよりも軽いタッチで彩色できるのはもちろん、色合いや噴射口のサイズを自分で調整できるのが利点。

↑上が筆で彩色したもの。下はエアブラシを使ったもの。色のタッチの違いが一目瞭然。

↑塗料を吹きつける距離を変えることで、同じ色でも濃淡を使い分けることができる。

↑色をつけたくない箇所にはマスキングテープを貼る。細かい色分けがはっきりできる。

STEP 3 さらなる力強さと美しさの探求

紙の限界に挑むディテールの表現

モデルに自分だけのアレンジをさらに加えたいという人は、まずはそれぞれのガーディアン・フォースの特徴的な部分をよりリアルに表現することから始めよう。例えば、まるで「ルビーの光」を発しているようにカーバンクルの額を輝かせるなど、「ファイナルファンタジーⅧ」をプレイした人ならネタは尽きないはず。無限のアイデアと今まで培ったテクニックで、限界までペーパークラフトの可能性に挑戦しよう。

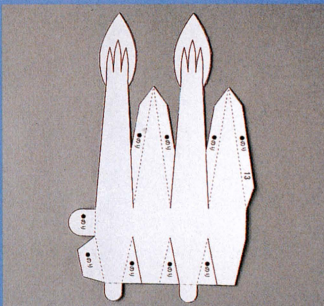
↑混ぜ色は基本テクニック。種類の違う塗料同士では混合できない場合があるので注意。

↑ライン上の模様などを描くにはペイントマーカーが便利。色の種類も豊富に揃っている。

↑エンボスペイントを塗る。紙に光沢を出したり、固めて水滴を表現することもできる。

↑塗料にペースト剤を混ぜて粘り気を出して、皮膚の盛り上がりなどの質感を表現する。

↑デカール（水にぬらして貼るシール）を使って、模様を自分好みにアレンジしよう。

↑半乾きのメタリック塗料を微量擦りつけるようにして、剣などの金属感を表現する。

ここまでやればプロ

ホワイトモデルにチャレンジ

本誌型紙での作成はもう完璧だという人も、もしパソコンを持っているなら、付録のＣＤ－ＲＯＭに収録されているホワイトモデルにぜひチャレンジしてほしい。これは全く着色されていない無地のモデルなので、完成させるには模様の一つ一つに至るまで、全て自分で書き込む必要がある。本誌型紙で作成するのとは比較にならない労力が必要だが、達成感も格別だ。通常のプリント用紙だと組み立てづらいので、厚紙に印刷しよう。

CD－ROMに収録

↑これがホワイトモデルのパーツ。本誌の型紙を参考に、この段階で彩色しておくとよい。

↑こちらはホワイトモデルを組み立てたもの。石膏モデルを思わせる、また違った趣がある。

応用編 ガーディアン・フォースをいつもキミのそばに

ディスプレイ

丹精込めて作ったガーディアン・フォース（GF）モデルだから、お部屋の中の目立つ場所にカッコよく飾ってあげよう。道具＆テクニックコーナーの最後に、ディスプレイの例をいくつか紹介する。

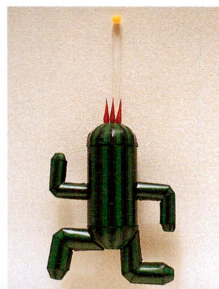
使用する道具
- 針金・たこ糸など丈夫な糸・千枚通し
- ジオラマキット・その他アイデア次第で

STEP 1 GFをお部屋に飾ろう

机、壁など、好きなところにディスプレイ

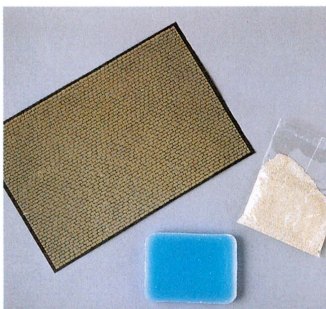
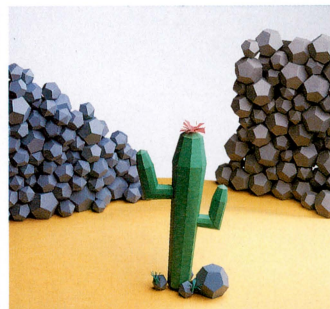
まずはモデルの雰囲気に合わせて、どのように飾るかを前もって決める。ここでは上から吊るす、下に固定するという基本的なやり方を紹介するが、自分の感性とテクニックをフルに活かして飾りつけしよう。

⬆どのように飾るのか決めた後で、パーツの裏に糸や針金を通してテープで止めておく。

⬆底から針金を出して、ボール紙に固定したもの。砂漠をイメージして装飾を施した。

⬆こちらは頭部の内側から糸を通して吊るしたもの。マスコットとして壁に飾ろう。

STEP 2 ジオラマに作って飾ろう

ファイナルファンタジーⅧのあの場面を再現しよう

ジオラマとは、実際の風景をイメージして作ったミニチュアのこと。そこにモデルを配置することで、擬似的な空間を作って楽しむ。つまりゲーム中の世界をキミ自身の手で演出できる、究極のホビーなのだ。

⬆これらは、数あるジオラマキットの一例。ジオラマキットは模型店などに行けば入手できる。

⬆これはプロのモデラーが作成したジオラマ。ゲーム中での雰囲気が見事に再現されている。

プロ仕様の道具をさがすなら

今までに紹介してきたようなホビー専門用具を手に入れるなら、首都圏を中心とした全国チェーンのホビーショップ、「ハイパーホビー・イエローサブマリン」がオススメだ。工具だけでなくホビーグッズなら何でも揃っていて、もちろん通信販売も行っている。ホビー初心者でも、スタッフの方が親切に教えてくれるので安心して買い物ができる。頼りがいのあるお店だ。

⬆アルス製の「クラフトチョキ」。¥1494。

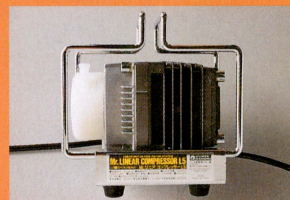
⬆セメダインの木工用接着剤（50ml）。¥150。

⬆エンボスペイント。メーカーは京商。¥480。

⬆テスターの「アズテックエアブラシ」。¥16800。

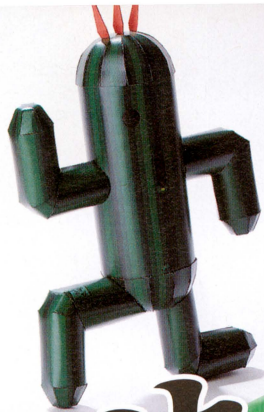
⬆グンゼの「リニアコンプレッサー」。¥22500。

⬆オルファのアートナイフ。替え刃付きで¥500。

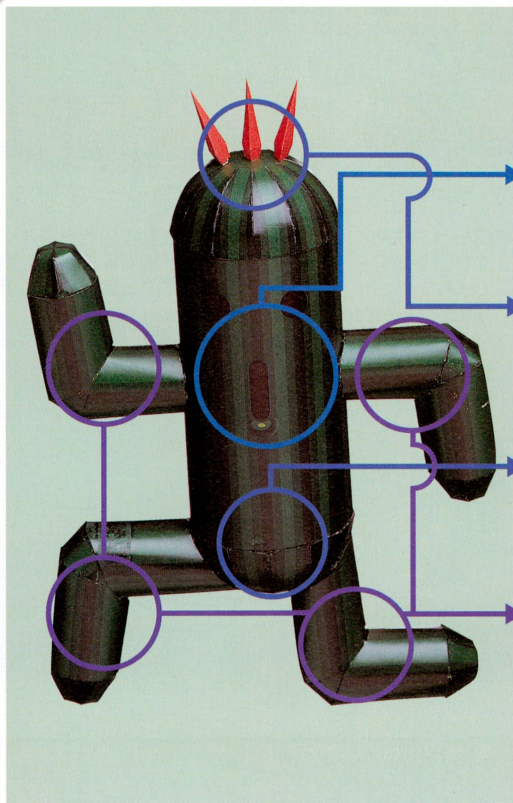
⬆文盛堂の筆。一本¥100からで太さはいろいろ。

⬆「リキテックスカラー」。一色につき¥260から。

問い合わせ先：
- イエローサブマリン通信販売部
  TEL ０３－３３５２－２７１７
  FAX ０３－３３５２－５２２３
- 受付時間
  平日 １２：００～２１：００
  土日 祝日 １１：００～２０：００
- ホームページアドレス
  www.yellowsubmarine.co.jp

⬆黄色い看板が目印の新宿店

※商品価格はイエローサブマリン新宿店の販売価格です。

サボテンダー

サボテンダーのつくりかた

このモデル作成のポイントは、たくさんの細かいのりしろの切りとりと、ドーナツ型のパーツののりづけ。どちらもユーモラスなポーズの再現には不可欠なものだ。

A 胴体

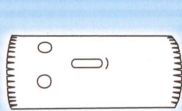
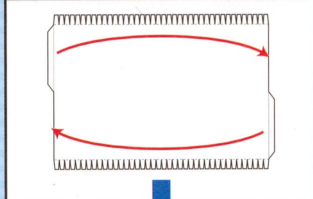
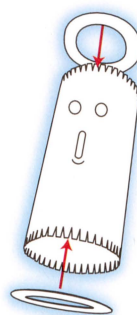
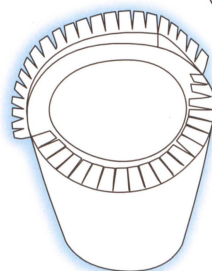
B 頭／腰

C 腕／脚

A 胴体の組み立て

34ページ・胴体ー❶

⬆胴体ー①は筒状に丸めて接着するだけ。胴体ー②③の使いかたは右のイラストのとおり。

①

⬆胴体ー②③を、それぞれ胴体ー①上下ののりしろの裏側に接着。やり方は上下とも同じ。

②

⬆のりしろの裏側に接着剤を塗り、図のように水平に折りたたむようにして貼っていく。

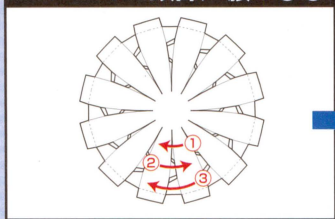
難易レベル：1
パーツ数：14
所要時間：3～4時間

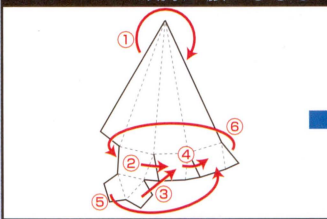
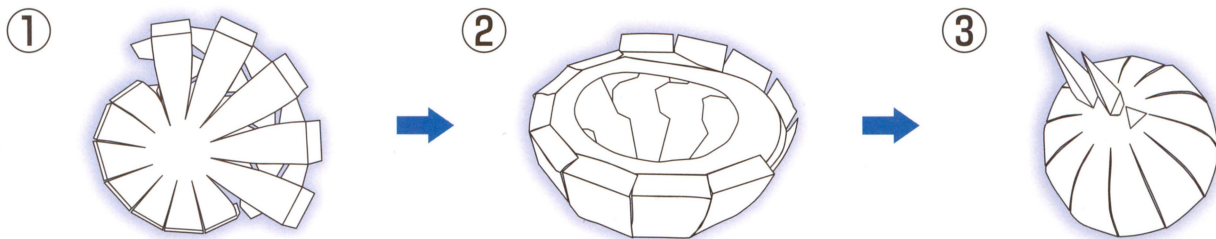
線の種類について

-・-・-・- 山折り　- - - 谷折り

—— 切りとり　→ のりづけ

本文中での山おり・谷おりの表記は、型紙を表から見た場合のもの。丸数字は特に重要なのりづけの順番を示す。

頭／腰の組み立て

⬆三角の印がある方が頭、無い方が腰。胴体と同様、ドーナツ型のパーツで補強する。

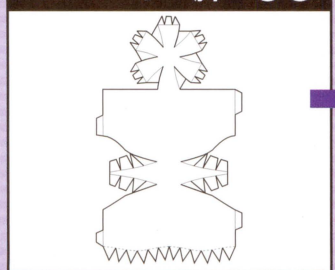
36ページ・頭部／腰ー❶❷❸

⬆三本のツノにあたるパーツ。小さいのでやや難しい。順番どおりに組み立てよう。

⬆中心から外側の順にのりづけ。この繰り返しで半球形をつくる。

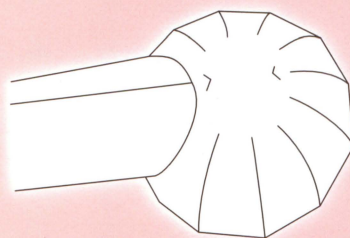
②

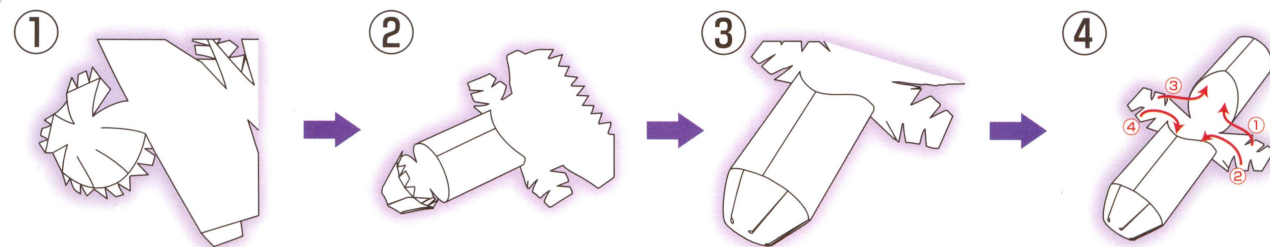
⬆胴体と同じ要領で。内側からもしっかりと指で押さえて貼ろう。

③

⬆三本のツノを三角形の印に合わせてのりづけして、頭部が完成。

腕／脚の組み立て

⬆腕と脚のパーツ。腕の方がやや小さいが、組み立てかたは全く同じ。必ず下に示した正しい順番にしたがって組み立てよう。

CHECK! ここがポイント

脚は、図のように印に合わせて腰に接着するので、胴体に腰を取りつける時はこの印の向きにも注意しよう。

①

⬆はじめに先端部を丸く組み立てる。順番は、このように付け根から時計周りに。

②

⬆次に、続く部分を図のように丸める。他の部分にはまだ手をつけないように注意。

③

⬆この前の段階で筒状に丸めた部分に、先端部をかぶせるようにして接着する。

④

⬆この形にした後で、中央の関節部を接着。必ず、図に示した番号順で行うこと。

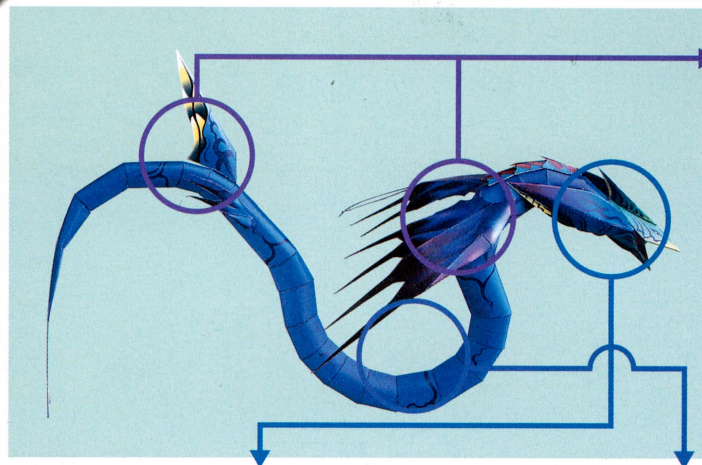
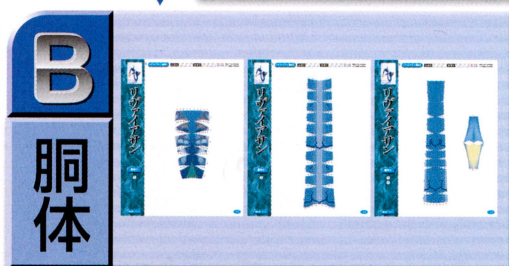
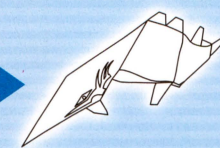
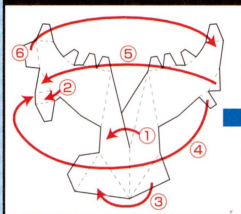
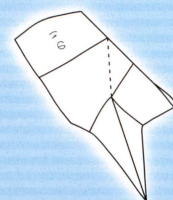
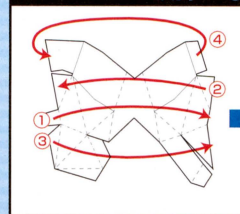
リヴァイアサン

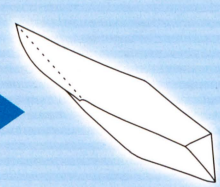
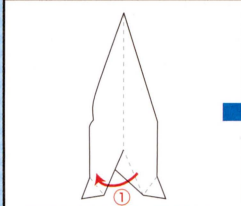
リヴァイアサンのつくりかた

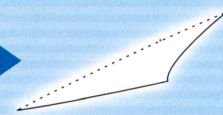
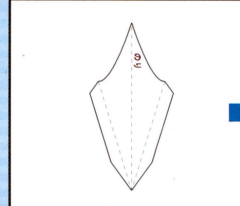
波打つ水のようにしなやかなフォルムと、細部に至るまでの顔の造形を見事に再現したこのモデル。それだけになかなか手強いが、きっと満足のいく完成度のはずだ。

C 翼／ヒレ

A 頭部

B 胴体

A 頭部の組み立て

⬆全ての山おり線と谷おり線に折り目をつけた後、番号順に接着。

⬆まず、この順番通りに接着した後、右図のようにして組み立てる。

42ページ・頭部－❹❺❻❼

⬆頭部－⑤（⑦）を頭部－④（⑥）の裏面に接着し、耳を組み立てる。

42ページ・頭部－❸

⬆線をすべて折った後、突起部を指でつまんで形を細く整える。

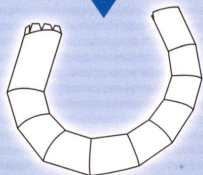
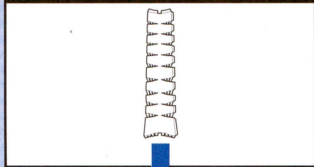
難易レベル：1
パーツ数：18
所要時間：5～6時間

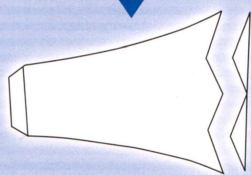
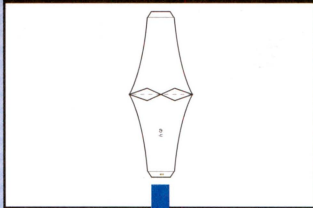
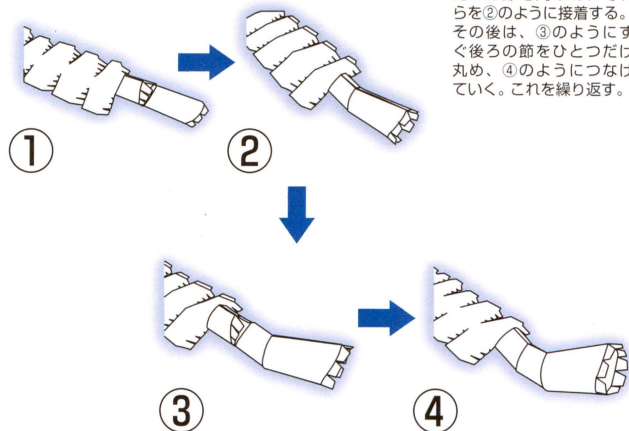
線の種類について

-・-・- 山折り　－－－ 谷折り
—— 切りとり　→ のりづけ

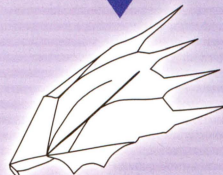
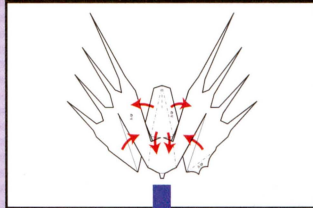
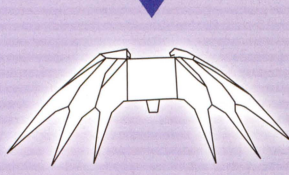
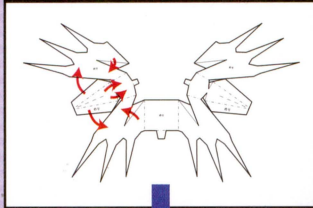
本文中での山おり・谷おりの表記は、型紙を表から見た場合のもの。丸数字は特に重要なのりづけの順番を示す。

B 胴体の組み立て

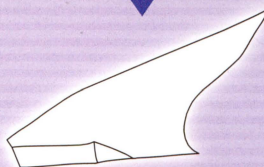
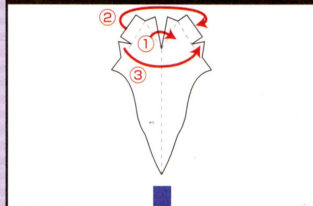
44ページ・胴体①−❶ 46ページ・胴体②−❶ 48ページ・胴体③−❶

⬆胴体の組み立てかたは三つとも同じ。山おり線のある赤いのりしろは内側に折り込む。

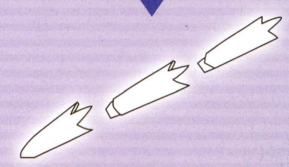
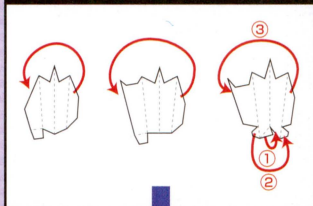
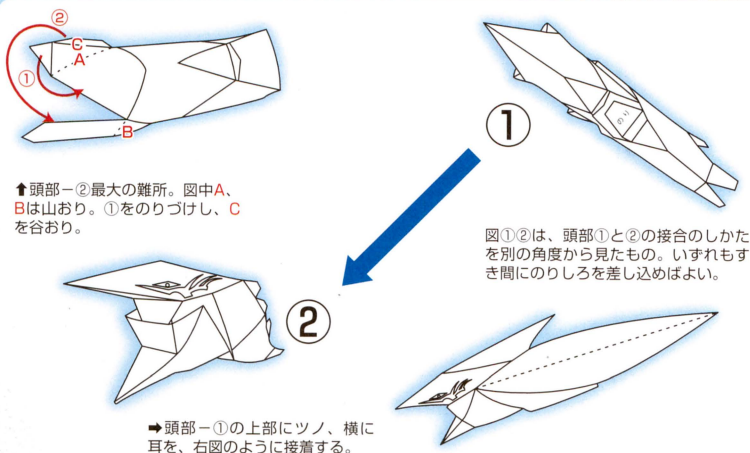
48ページ・胴体③−❷

⬆裏側全面にのりづけし、線にしたがって折った後、上の図のように白い部分を切りとる。

まず①のように、前のふたつの節を丸めて、それらを②のように接着する。その後は、③のようにすぐ後ろの節をひとつだけ丸め、④のようにつなげていく。これを繰り返す。

C 翼／ヒレの組み立て

52ページ・翼−❶❷

⬆のりしろを全て接着した後、膨らみを持たせつつ中心で折り、裏側全面をのりづけする

50ページ・ヒレ−❹

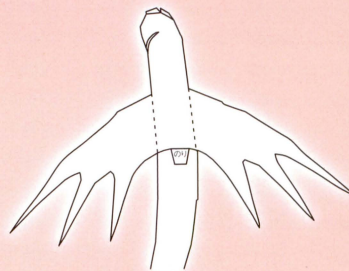
⬆翼−①・②と同じ要領で、左右の翼部分を中心で折り曲げ、裏側同士を貼り合わせる。

50ページ・ヒレ−❺

⬆各のりしろを貼り合わせた後、裏側全面に接着剤を塗り、指でつまんで貼り合わせる。

50ページ・ヒレ−❶❷❸

⬆背中につける突起。別々に組み立ててから、接着マークにしたがってひとつにつなげる。

⬆頭部−②最大の難所。図中A、Bは山おり。①をのりづけし、Cを谷おり。

図①②は、頭部①と②の接合のしかたを別の角度から見たもの。いずれもすき間にのりしろを差し込めばよい。

➡頭部−①の上部にツノ、横に耳を、右図のように接着する。

CHECK! ここがポイント

翼とヒレは、それぞれ胴体に記されている印に合わせて接着する。上の図はヒレ−④の胴体−③への接着のしかた。この赤いのりしろにはヒレ−⑤を接着する。胴体に貼らないように注意しよう。

カーバンクル

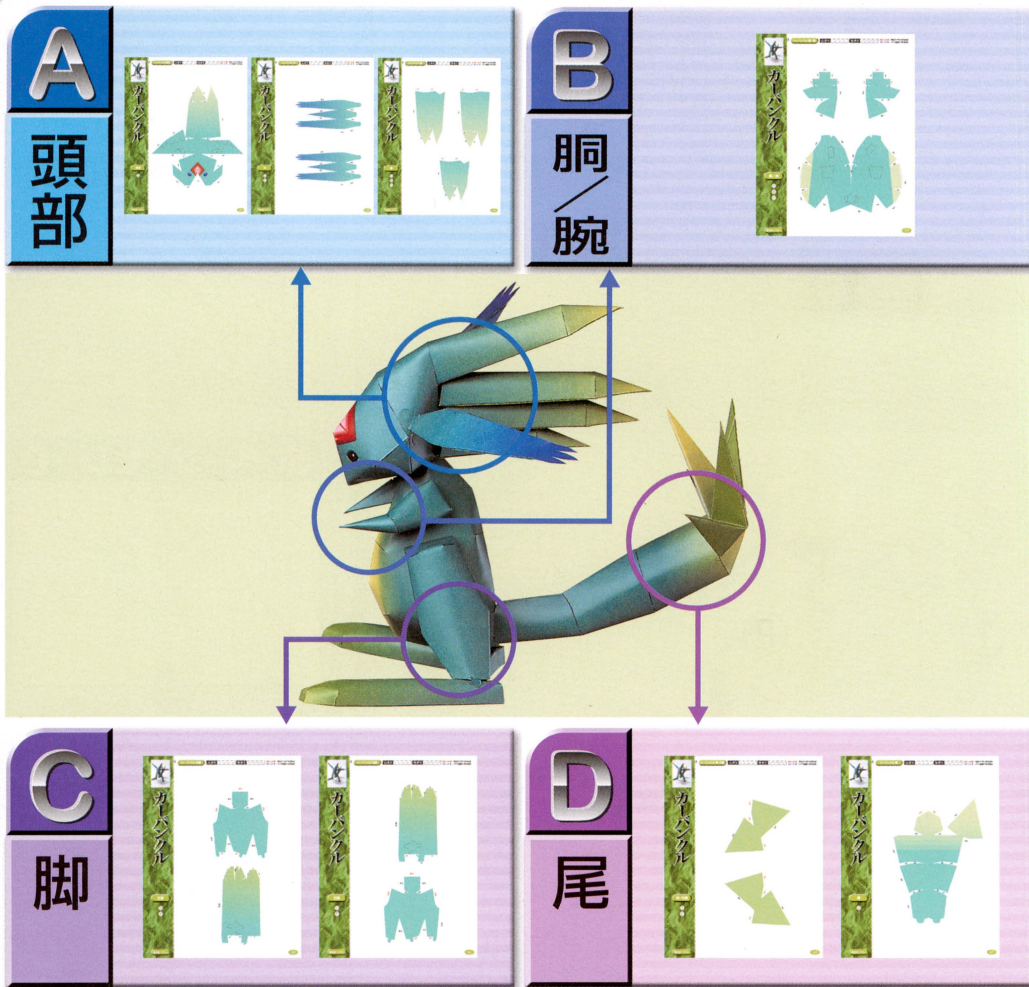
カーバンクルのつくりかた

つぶらな瞳の小動物のような顔と、その額に輝くルビーがとてもかわいらしいモデルだ。自分で苦労して組み立てたあとなら、よりいっそう愛しく思えることだろう。

A 頭部

B 胴／腕

C 脚

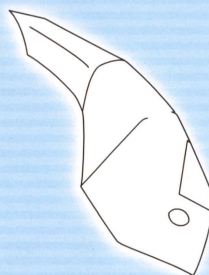
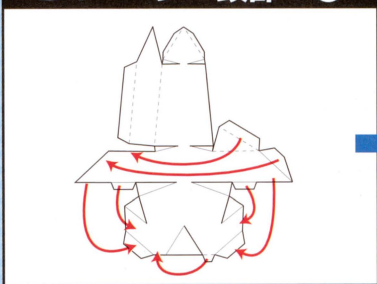
D 尾

難易レベル：2
パーツ数：16
所要時間：7～8時間

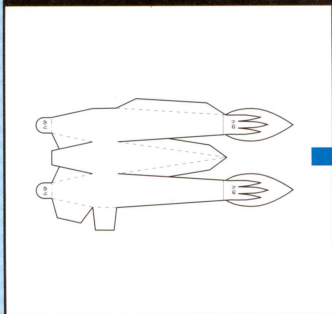
線の種類について

-·-·-·- 山折り　- - - 谷折り
—— 切りとり　→ のりづけ

本文中での山おり・谷おりの表記は、型紙を表から見た場合のもの。丸数字は特に重要なのりづけの順番を示す。

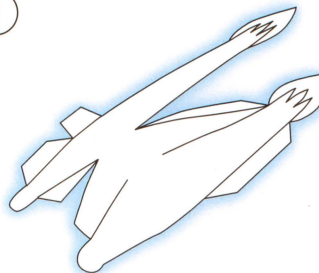
A 頭部の組み立て

54ページ・頭部ー❶

⬅左図には、のりづけする場所がわかりづらい箇所のみを示した。手順について、詳しくは右の図①②③④を参考にして組み立ててほしい。

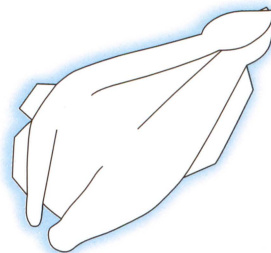
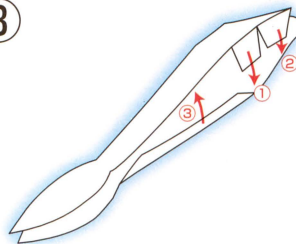
56ページ・耳ー❶❷

⬆先端の白い部分は、全てののりしろを貼り合わせた後で裏側をのりづけし、形にそって切りとる。詳しくは右の図①②③を参照。

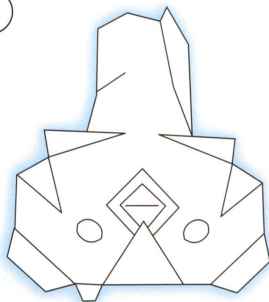
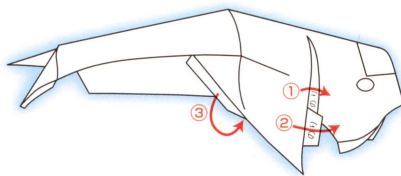
64ページ・髪ー❶❷❸

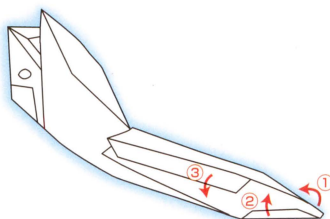
⬆少しずつ大きさが違う、同じ形のパーツを三つ組み立てる。完成後大きい順に上からタテに並べ、後頭部の印の位置にのりづけする。

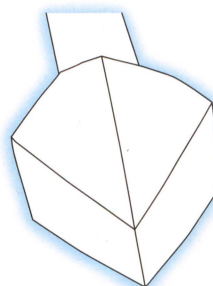
①

⬅はじめにこのようにのりしろを貼り合わせる。この二箇所ののりづけはどちらが先でもよい。

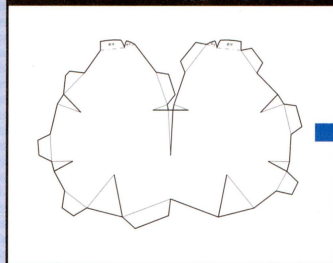
②

➡続いてこのような形にのりづけする。全ての山おり・谷おり線には折り目をつけておく。

③

⬅最後に両端を貼り合わせる。ふたつ並んでいるのりしろから先にのりづけしていくとよい。

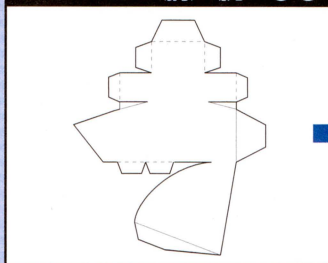
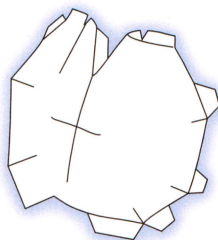
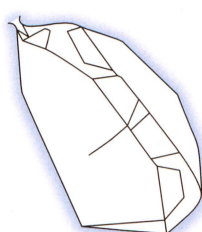
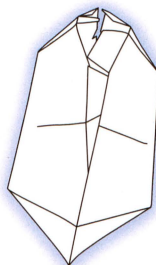
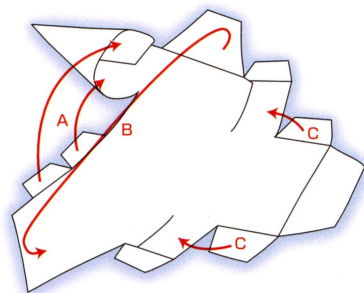
①

⬆後に丸めて接着しやすいように、あらかじめ紙に丸みをつけておく。髪の毛にあたる部分の細かいのりしろを最初に貼り合わせる。

⬅番号順にのりしろを貼り合わせる。まず顔の形をつくり、図のように後頭部〜下あごにあたる部分を貼り合わせ、図③の状態にする

③

⬆髪の毛部分の組み立て。線にそって折り返しながら、はじめに先端部分をのりづけする。後に横全体を貼り合わせ、指で形を整える。

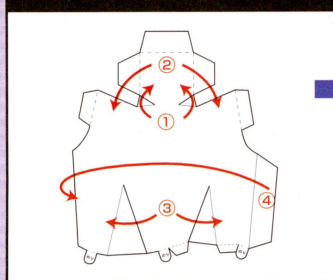
④

⬆最後に下あごをのりづけして完成。印に合わせて各部位を接着。ただし胴体に接着しづらくなるので、耳・髪はまだ取りつけない。

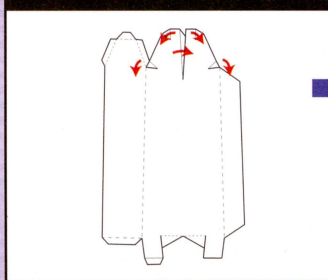
胴／腕の組み立て

58ページ・胴／腕ー❸

⬆正しい順序で組み立てないとへこんだりしてしまう。下の図①②③も参照してほしい。

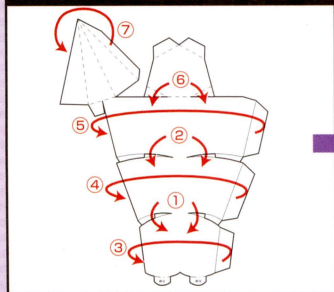
58ページ・胴／腕ー❶❷

⬆このパーツにあるような尖った箇所は、折るようにして接着した後で形を整えるとよい。

②

③

細かいのりしろを全て貼り合わせた（図①）後で、袋型にパーツの両端を合わせる（図②）。そして図③のように、下から上に向かってのりづけしていく。

まず切り込みを入れたのりしろを貼り合わせ、上で説明したやり方で先端部をのりづけする。後はA、B、Cの順番でのりづけする。Aの箇所は丸く形をつけながら貼り合わせる。

脚の組み立て

60ページ・左脚ー❶
62ページ・右脚ー❷

⬆番号順にのりづけして組み立てた後、赤いのりしろと丸い出っ張りを折り返し、足首部分と接着する。両足とも完成したら胴体へ接着。

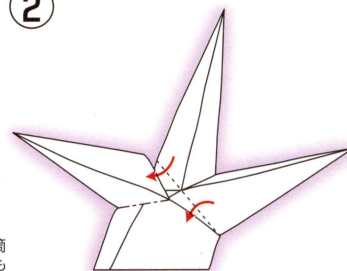
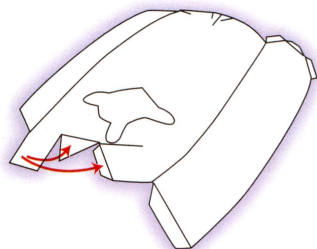
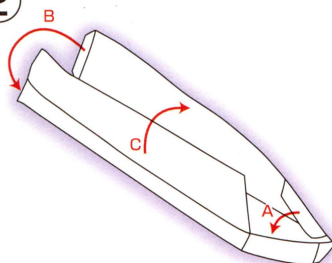
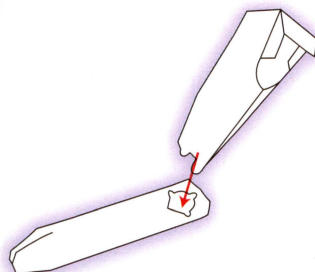
60ページ・左脚ー❷
62ページ・右脚ー❶

⬆まず左の図に示したのりしろを貼り合わせる。その後、右の図①②の手順で組み立てていく。その後③のように接着して、脚が完成。

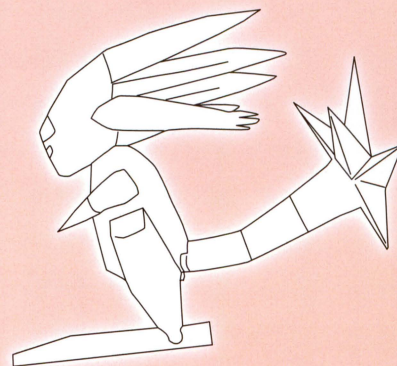
尾の組み立て

68ページ・尾ー❶

⬆図中に記した番号順に三つの節をつないでいき、その後で先端部を組み立てる。絶対に赤いのりしろを突起部分に接着しないように。

⬅尾・先端と尾の接続のしかた。図のようにのりづけした後、反対側を下の図②を参照してのりづけする。

66ページ・尾・先端ー❶❷

⬆これらを尾にのりづけし、先端に五つの突起をつくる。ふたつのパーツはほぼ同じ形だが、左右の区別があるので注意しよう。

➡赤いのりしろのうち、まず右を筒型の部分、左を突起部分のいずれも裏側に接着する。もう片方も同様に。

まず切り込みを入れたのりしろを貼り合わせる。その後図①の部分をのりづけし、図②A，B、Cの順に足裏を貼り合わせる。図③は脚の接着のしかた。

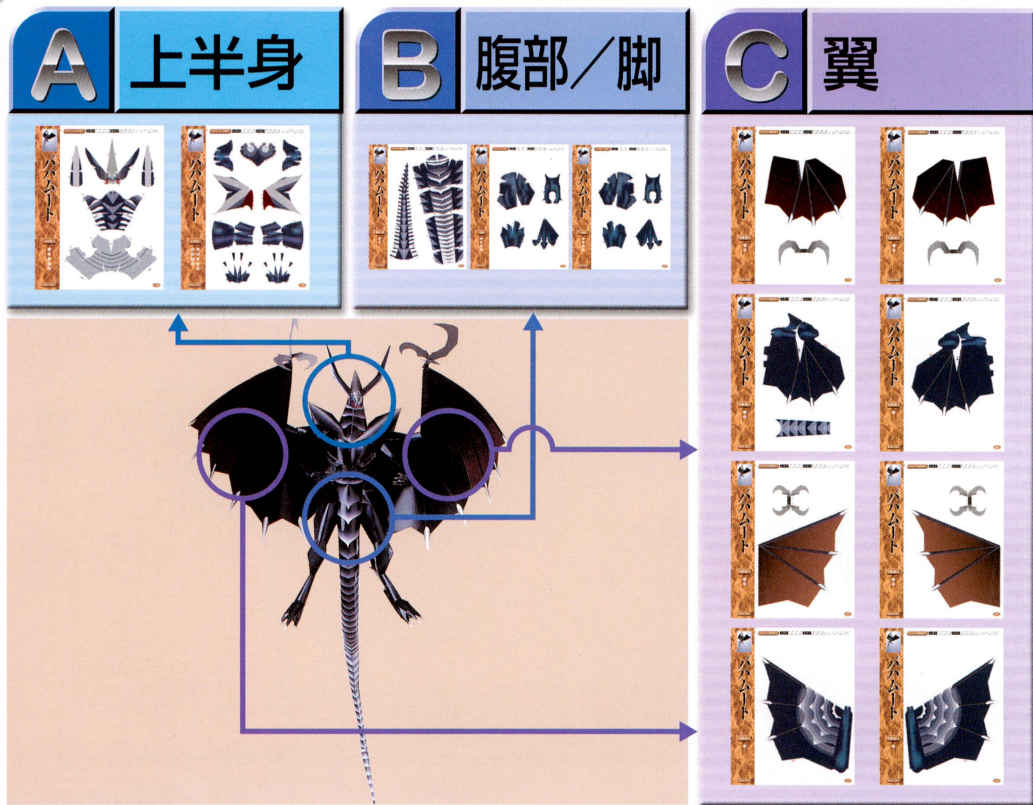
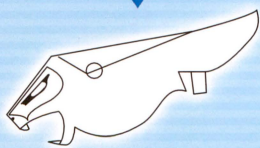
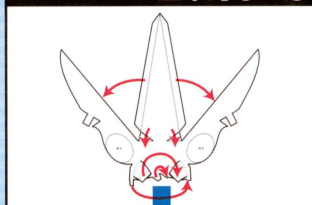
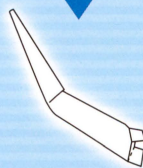
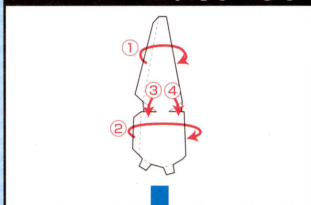
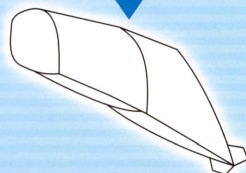
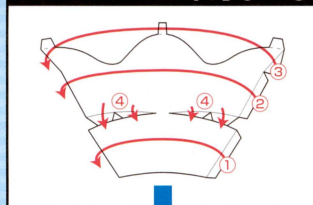
CHECK! ここがポイント

全体の接着は全てのパーツを組み立ててから行う。まず胴体に腕と脚を取りつけてから頭部をのりづけし、この段階で頭部に耳・髪を取りつける。尾は最後に取りつけると、他の部分を接着しやすい。

バハムートのつくりかた

8枚もの型紙を使用する大きな翼をひろげた姿は、今にも飛び立ちそうな大迫力。他の部分も組み立てが複雑な上に数が多く、かなり作りがいのあるモデルだ。

A 上半身

B 腹部／脚

C 翼

難易レベル：3
パーツ数：37
所要時間：10～12時間

線の種類について

-・-・-・- 山折り　－－－ 谷折り
―― 切りとり　→ のりづけ

本文中での山おり・谷おりの表記は、型紙を表から見た場合のもの。丸数字は特に重要なのりづけの順番を示す。

A 頭部の組み立て

70ページ・上半身①－❶

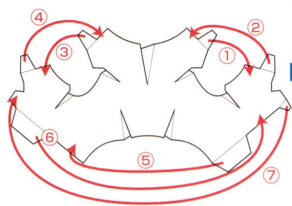
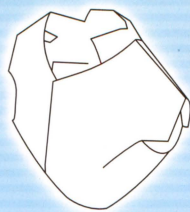
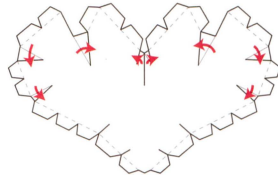
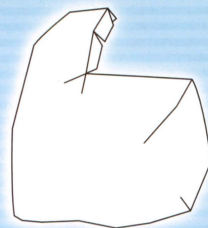
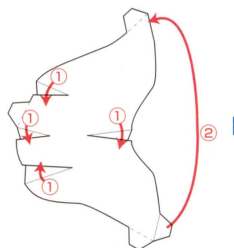
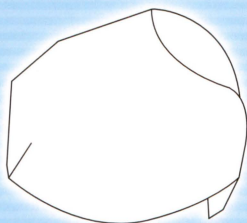
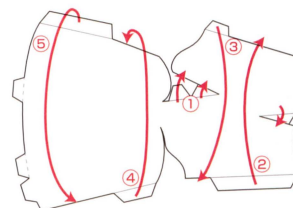
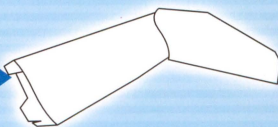
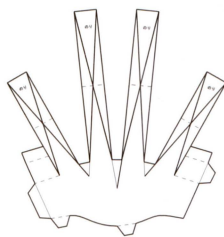
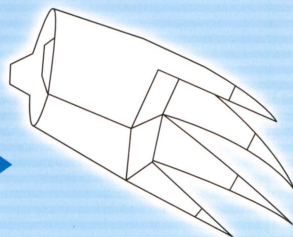
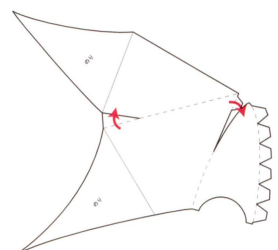
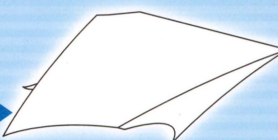
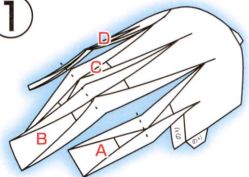
⬆口の部分が難所。切り込み、折り目をしっかりつけて、順番どおりに組み立てよう。

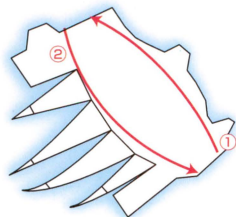
70ページ・上半身①－❷❸

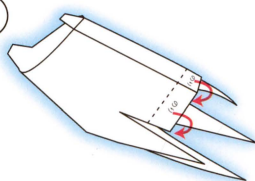
⬆①の部分は最初から丸めるのではなく、折るようにのりづけしてから丸く形をつけよう。

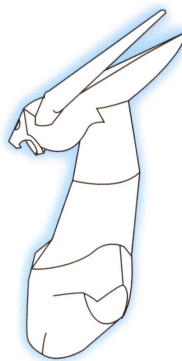
70ページ・上半身①－❹

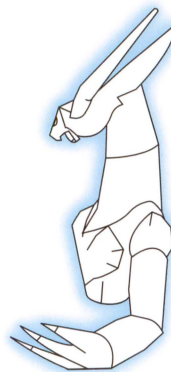
⬆リヴァイアサンの胴体などと同様、まず二つの節を丸めてからそれらをつなげてつくる。

70ページ・上半身①−❺

⬆胴体となる部分。先に細かいのりしろを全部貼り合わせ、図中の番号順にのりづけする。

72ページ・上半身②−❶

⬆まず細かいのりしろを全て貼り合わせてから、赤いのりしろを内側に折り返しておく。

72ページ・上半身②−❷❸

⬆赤いのりしろは印に合わせて胴体に接着。左右どちらのものかを間違えないように。

72ページ・上半身②−❻❼

⬆ひじ関節部は、重なっている紙の裏にのりづけし、ひじを曲げた状態で固定しておく。

72ページ・上半身②−❽❾

⬆詳しい組み立てかたは下の図を参考に。赤い字ののりしろは内側に折り込んでおくこと。

72ページ・上半身②−❹❺

⬆この段階ではまだ胴体へ接着してはいけない。23ページを参照して後で接着しよう。

①

⬆細かいのりしろを接着した後、A〜Dを内側に折り込む。

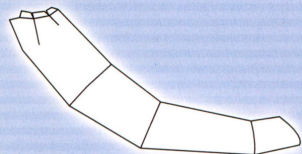
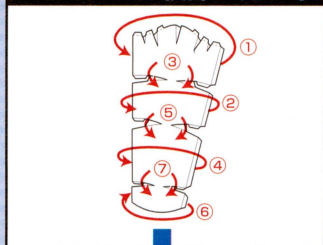
②

⬆A〜Dをのりづけし、白い部分を切りとる。その後、①、②を接着。

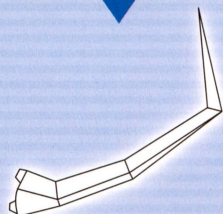
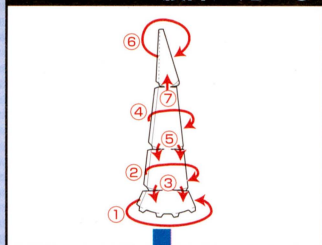
③

⬅このののりしろを山折りし、中心のすき間を覆うようにのりづけする。

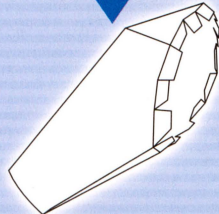
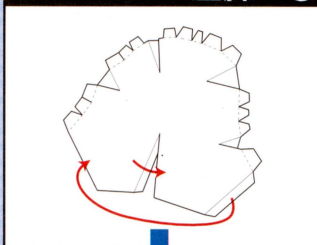
①

⬆顔の赤いのりしろを内側に折り込み、印の位置に合わせて接着する。

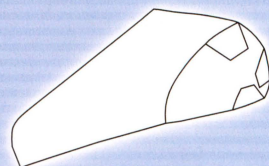
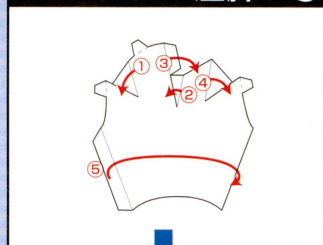
②

⬆腕の取り付け。各接着箇所には印がついているのでそれに合わせる。

腹部／脚の組み立て

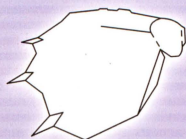
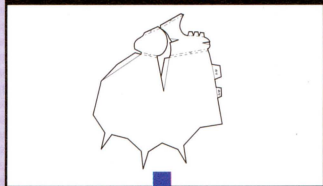
74ページ・腹部／尾－❶

⬆はじめに細かいのりしろを貼り合わせる。赤いのりしろは内側に折り込み、後に胴体に接着。

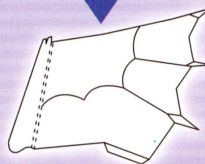
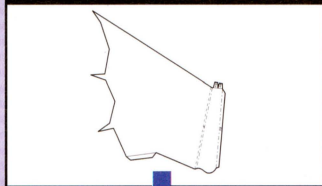
74ページ・腹部／尾－❷

⬆先端の曲がっている部分にのりしろはないが、裏面に接着剤をつけて曲げた状態で固定させる。

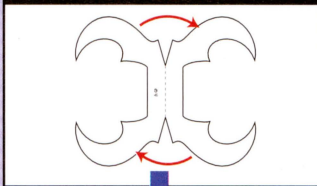
76ページ・右脚－❶
78ページ・左脚－❶

⬆切り込みを入れた箇所を接着した後、矢印のように接着。赤いのりしろは図のように折る。

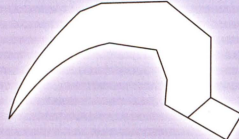
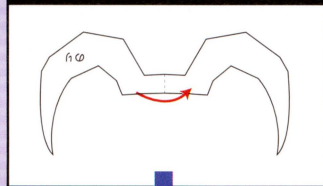
76ページ・右脚－❷
78ページ・左脚－❷

⬆のりしろを全て番号順に接着した後で赤いのりしろを内側に折り込み、脚－①と接着する。

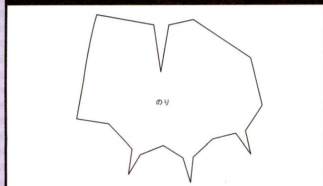
翼の組み立て

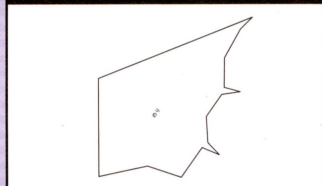
84ページ・右翼(表)①－❶
86ページ・左翼(表)①－❶

⬆これと右のパーツは翼の表側にあたるもの。ふたつを接着し、それぞれ裏側のパーツを貼る。

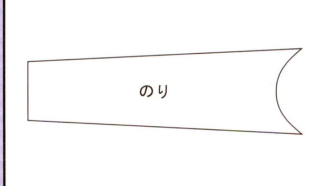
92ページ・左翼(表)②－❶
94ページ・右翼(表)②－❶

⬆山折り線に折り目をつけるだけ。翼部分全体の組み立て方は次のページのイラストを参照。

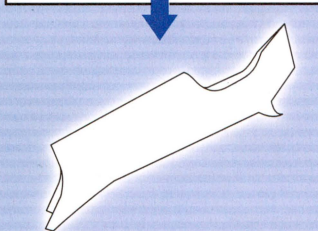
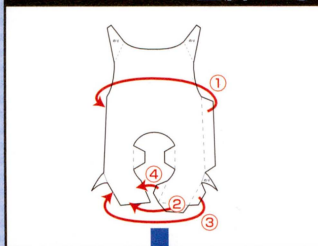
88ページ・左翼(裏)②－❷
90ページ・右翼(裏)②－❷

⬆線にしたがって折り、裏側全面をのりづけした後、中心で折って図のような形にする。

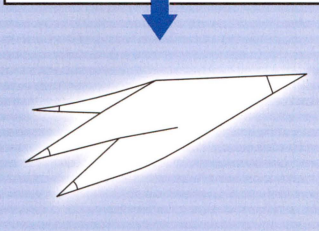
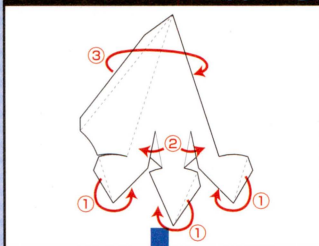
80ページ・左翼(裏)①－❷
82ページ・右翼(裏)①－❷

⬆左のパーツと同様に中心で折って裏面をのりづけし、下の図のようにツメ部分を組み立てる

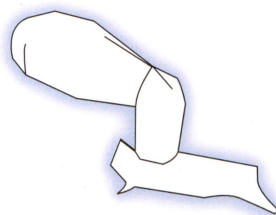
80ページ・左翼(裏)①－❶
82ページ・右翼(裏)①－❶

⬆翼(表)－①と翼(表)－②を組み合わせた後で形にぴったり合うように裏面に貼る。

88ページ・左翼(裏)②－❶
90ページ・右翼(裏)②－❶

⬆これも左のものと同様、翼の裏側に貼るパーツ。印には翼(表)－②を折り返して接着する。

84ページ・右翼(表)①－❷

⬆翼を取り付けた跡を隠すために、背中の部分に貼るパーツ。全工程中いちばん後に貼ること。

⬆ツメ部分は上の図のようにして組み立てる。図中Aの部分は翼部分に接着する箇所。やり方は右の図③を参照すること。

⬆番号順にのりづけ後、突起部分の裏同士を貼り合わせる。他のパーツとの接着は右図を参照。

76ページ・右脚−❹
78ページ・左脚−❹

⬆ツメの部分は折るようにのりづけした後で、つまようじなどで形を整えるとうまくできる。

①

⬆脚−①②を組み合わせたものを、脚−③の丸いくぼみに差し込んで接着する。のりづけは脚−②の印の位置に合わせる。

②

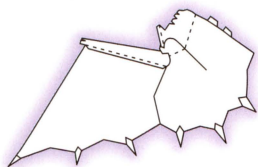
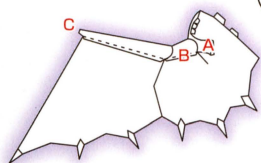
⬆足の甲にある印に合わせて脚−③を巻きつけるようにして脚−④に接着する。両脚とも完成後に、腹部と脚−①を接着する。

①

⬅翼（表）−①と翼（表）−②をこのように接着し、裏にそれぞれ翼（裏）−①、翼（裏）−②を貼る。

➡図①で翼の両面を貼り合わせた後、このように翼（表）−②を折り返し、印に合わせて接着する。

③

C
B
A

⬅同じ要領で、図中A、Bの順に翼（表）−①を丸く折り返して接着する。完成後、ツメ部分を図中Cに差し込んで接着する。

CHECK! ここがポイント

①

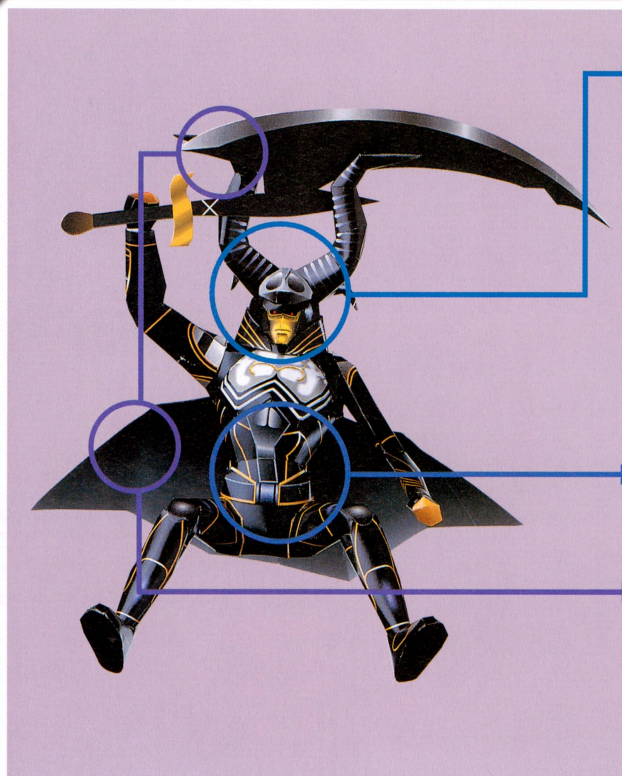
③

⬆上半身と腹部／脚を接続した後、背中に図①のように翼を接着。その後、肩あてを図②のように翼の付け根に揃えて接着する。

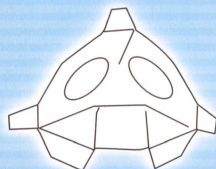
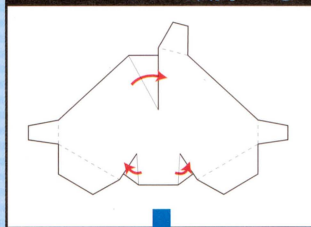
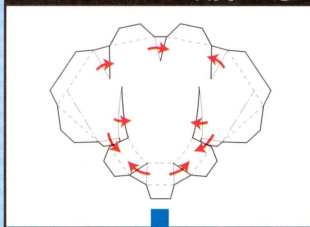
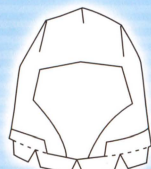
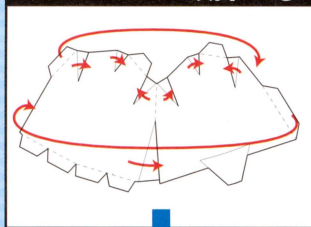
⬅最後に翼ののりづけ位置を隠すために、右翼（表）❶−②を図のように貼りつけて完成。シワにならないように注意しよう。

オーディン

オーディンのつくりかた

このオーディンと愛馬スレイプニルを別々に組み立て、それらを組み合わせることで完全なオーディンのモデルができあがる。振りかざした大きな剣が特徴的だ。

A 頭部／腕

B 胴体／脚

C 剣／マント

難易レベル：3
パーツ数：28
所要時間：8～9時間

線の種類について

-·-·-·- 山折り　－－－ 谷折り
―― 切りとり　→ のりづけ

本文中での山おり・谷おりの表記は、型紙を表から見た場合のもの。丸数字は特に重要なのりづけの順番を示す。

A 頭部／腕の組み立て

96ページ・頭部ー①

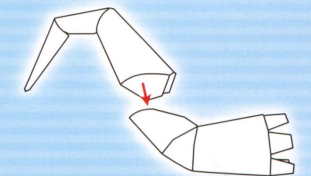
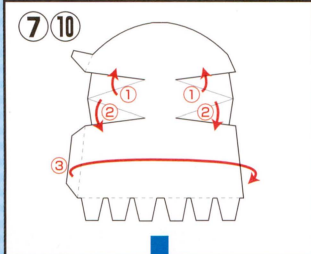
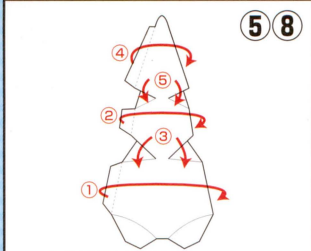
⬆前頭部にあたる部分。のりしろに切り込みを入れて貼り合わせ、頭部ー②・③に接着。

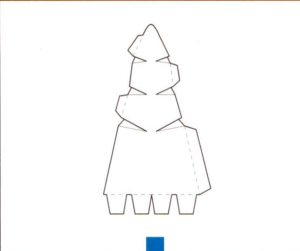
96ページ・頭部ー②

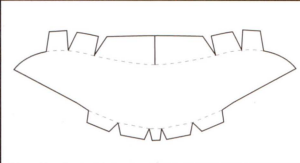
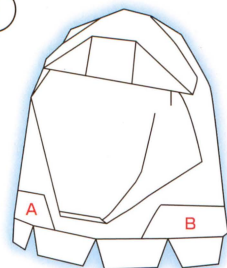
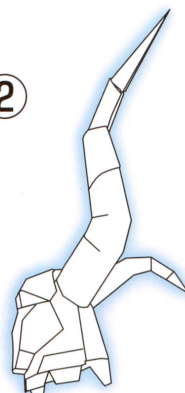
⬆顔にあたるパーツ。のりしろがかなり小さいので、道具を使うとよい。頭部ー③に接着。

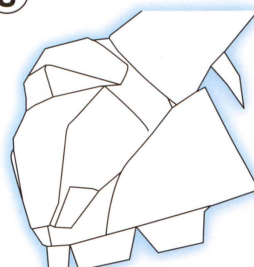
96ページ・頭部ー③

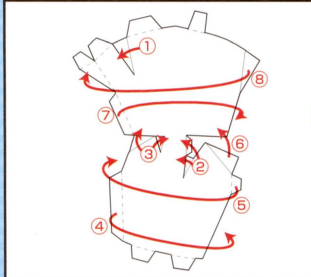
⬆順番どおりにのりづけした後、印に合わせて次ページの図のように顔やツノを接着する。

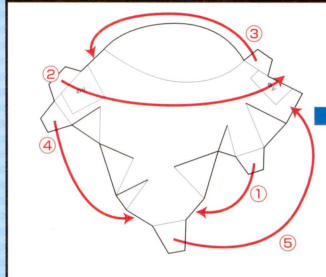
96ページ・頭部－❺❼❽❿

⬆それぞれのパーツを順番どおりに正しくのりづけする。その後で二つのパーツを上の図のように接着すると、一本のツノが完成する。

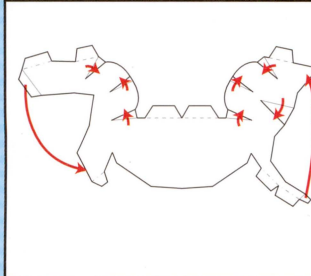
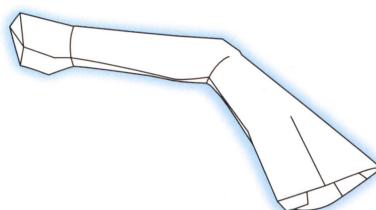
96ページ・頭部－❻❾

⬆後頭部から後方に向かって伸びているツノ。頭部－⑤・⑧と同じ要領で組み立てていく。

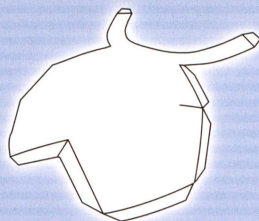
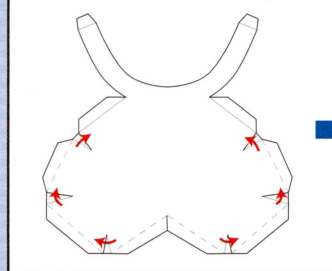
96ページ・頭部－❹

⬆エリとなる部分。折り目をつけるだけでよい。右の図③のように他のパーツと接着する

⬆頭部－①・②・③はこのように貼り合わせる。曲がったりすることのないように注意。

⬆横から見た時にこうなるように、頭部－③の印に合わせて二本のツノを接着する。

③

⬅上の図①中A、Bののりしろにエリを接着する。赤いのりしろは胴体に接着する。

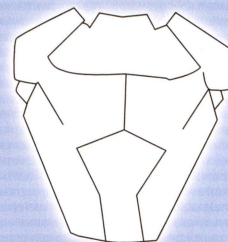
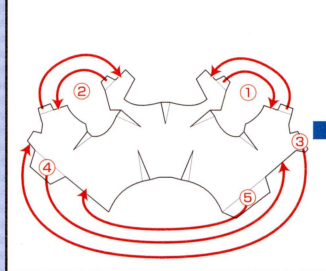
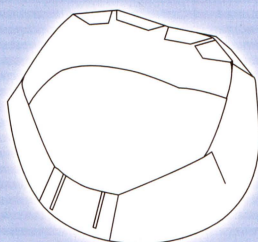
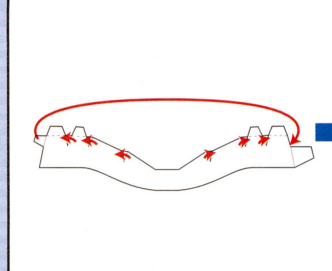
98ページ・腕－❶❷

⬆まず切り込みを入れたのりしろを全て貼り合わせてから、番号順にのりづけしていく。

98ページ・腕－❸❹

⬆まず切り込みを入れたのりしろを全て貼り合わせ、上記の番号順にのりづけしていく。

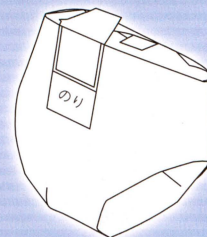
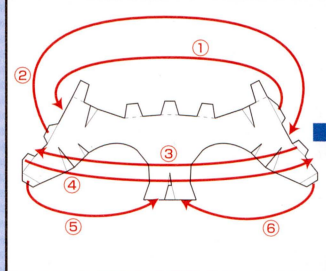
98ページ・腕－❺

⬆このパーツに両腕とマントを接着してから、胴体と頭部を接合したものにのりづけする。

⬅腕－①・②をこのように接着した後で、肩に取りつける。腕の組み立てかたは左右ともほぼ同じだが、左右の腕を取り違えないようにしよう。

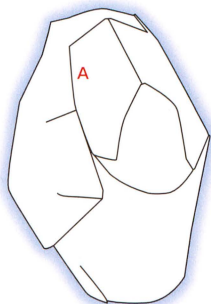
胴体／脚の組み立て

102ページ・胴体−❶

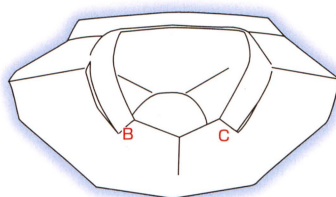
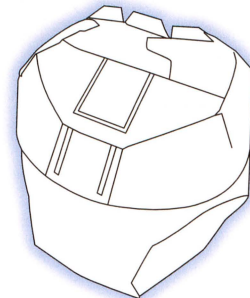
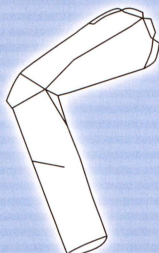
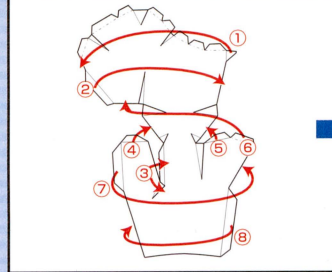
⬆パーツの組み立ては簡単だが、胴体への接続方法がやや複雑。下の図①・②を参照。

102ページ・胴体−❸

⬆まず切り込みを入れたのりしろを全て貼り合わせてから、番号順にのりづけしていく。

102ページ・胴体−❹

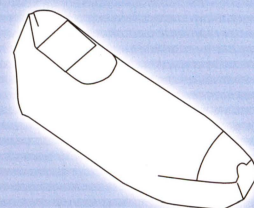
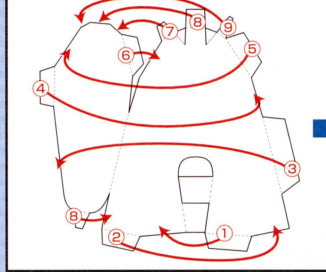
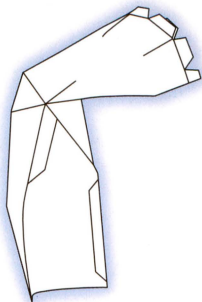
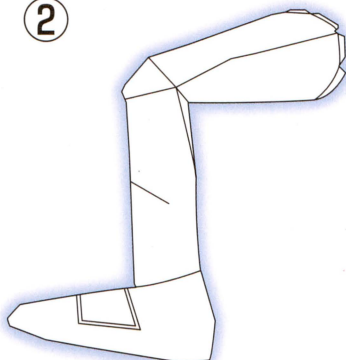
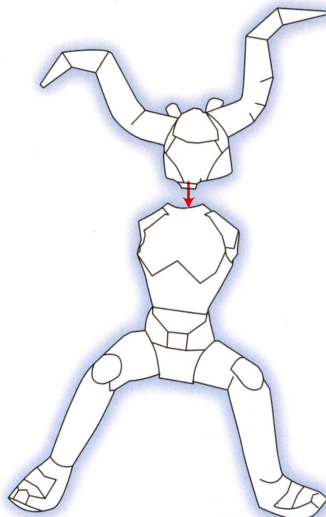
⬆細かいのりしろを全て貼り合わせてから輪のような形にし、腰パーツに接着する。

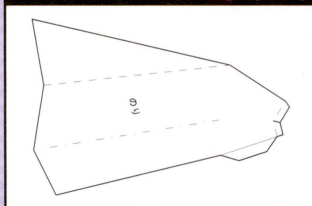
102ページ・胴体−❷

⬆腰となる部分。図中の①〜④は、貼り合わせた部分をへこませるように形をつけていく。

①

⬆図中Aの部分では、のりしろを折り曲げるのではなく、胴体の内部に差し込むようにして裏側で接着する。

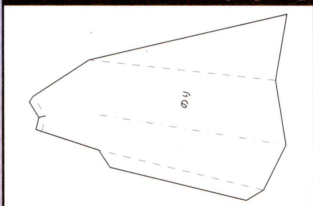
②

⬆上から見てこの形になるように胴体と胸を接着する。図中B・Cは胴体の裏側にのりしろを貼りつける。

⬆腰の表面ののりしろとベルトの赤いのりしろに接着剤をつけて、上からかぶせるようにしてのりづけする。

100ページ・脚−❶❸

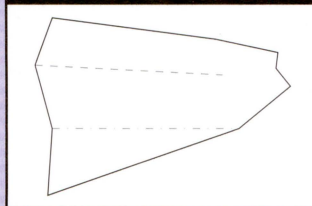
⬆図中に示した順番でのりづけしていく。次ページのイラストも参考にしてほしい。

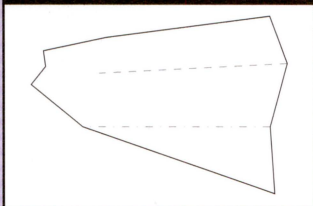
100ページ・脚−❷❹

⬆つまさき部分の切り込みを入れたのりしろを先に貼り、以降番号順に接着していく。

⬆脚－①の組み立て。ひざ裏を谷おりするのに注意。ひざ周辺の細かいのりしろを先に接着してから、全体の形をつくっていく。

➡脚－②の赤いのりしろを内側に折り込み、脚－①をくぼみに差し込むようにして接着する。印より上まで差し込まないように注意。

⬅まず脚と腰を接着。それに胴体、頭部の順で接着していく。太ももの赤いのりしろは脚の付け根に差し込み、裏側に接着する。

C 剣／マントの組み立て

104ページ・マント(表)－❶

⬆まずマント(表)－②と貼り合わせた後、裏面全体にマント(裏)－①をのりづけする。

104ページ・マント(表)－❷

⬆マント(表)－①の対になる部分。山折り・谷折り線には必ず折り目をつけておくこと。

106ページ・マント(裏)－❶

⬆切りとり後、線にそって折り目をしっかりとつけて、マント(表)－①の裏面に接着する。

106ページ・マント(裏)－❷

⬆マント(裏)－①と同様。接着剤を多くつけすぎるとシワになりやすいので注意すること。

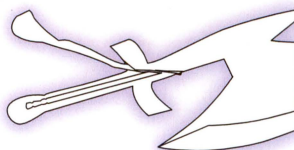
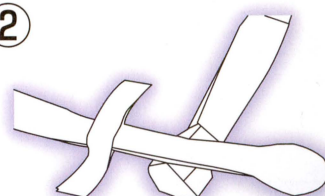
108ページ・剣－❶

⬆線にそって切りとった後、中心で折って裏側を貼り合わせ、剣の形のとおりに切りとる。

CHECK! ここがポイント

⬆まず両腕を肩に接続してから、図のように肩にマントを接着。必ず右腕が上に向くように接着すること。

⬆肩の赤いのりしろは胴体の肩口に差し込むようにして接着。肩の付け根はエリと胴体のすき間にはさみこむ。

⬅裏側を貼り合わせる際に、図の位置につまようじなどの細くて硬いものをはさんでおくと、手に持たせた時に剣が倒れない。

➡剣を腕－④の印に合わせてのりづけする。瞬間接着剤を使うと簡単に接着できる。必ずモデル作成の最後にのりづけを行うこと。

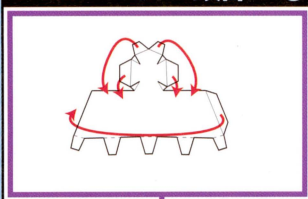
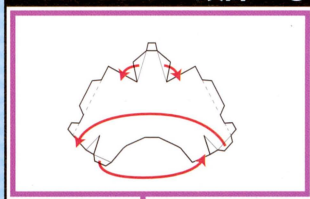
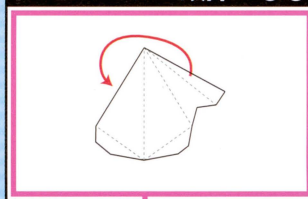
スレイプニル

スレイプニルのつくりかた

このモデルには似たような形のパーツが多いので、イラストを参照して各部とも正しいやり方でのりづけしていこう。パーツごとの組み立てはそれほど難しくない。

A 頭／胴体

B 尾／たてがみ

C 脚

難易レベル：3
パーツ数：29
所要時間：7〜8時間

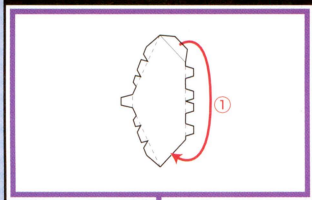
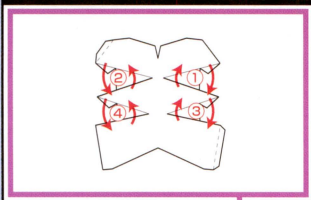
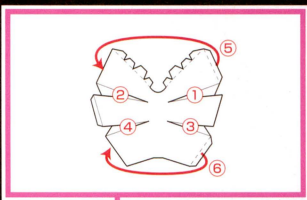
線の種類について

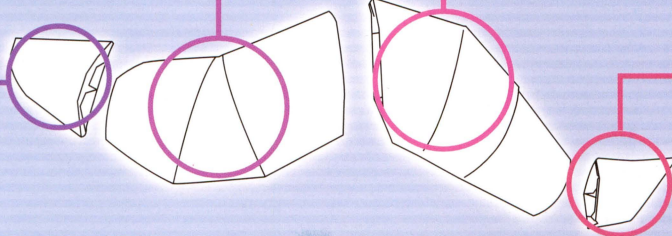
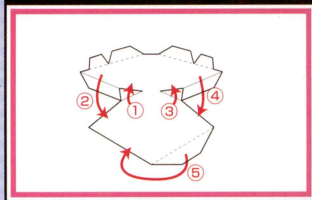
-・-・-・- 山折り　－－－ 谷折り
—— 切りとり　→ のりづけ

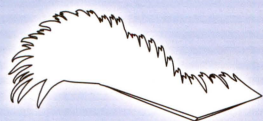
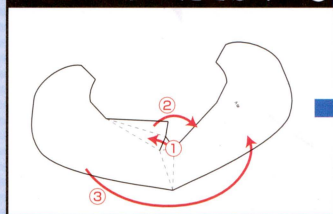
本文中での山おり・谷おりの表記は、型紙を表から見た場合のもの。丸数字は特に重要なのりづけの順番を示す。

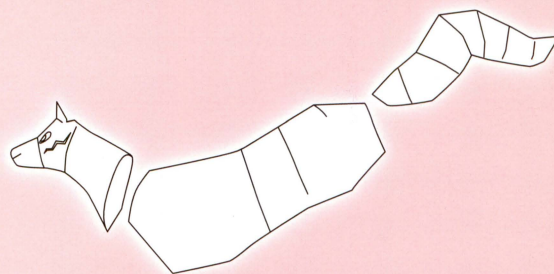
A 頭／胴体の組み立て

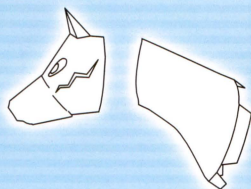
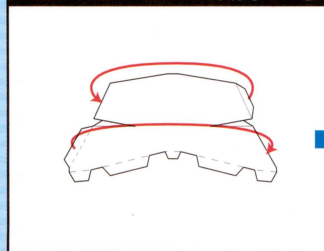
頭部の組み立て。パーツ三つをそれぞれ組み立てた後、図のようにして組み合わせる。完成したものに頭部ー⑤を接着する。いずれも印の位置に合わせること。

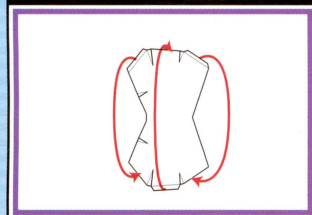
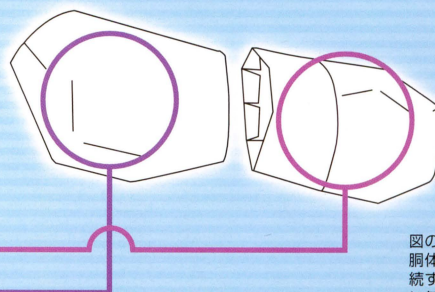
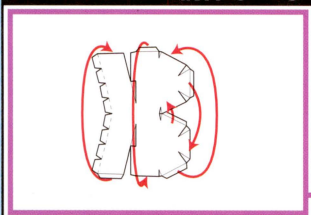
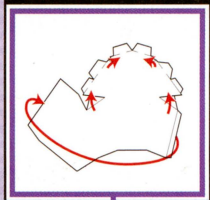
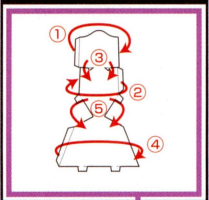
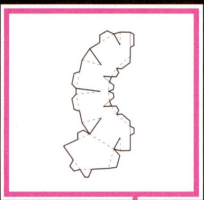
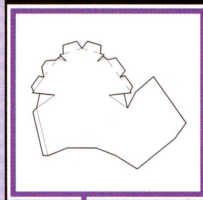
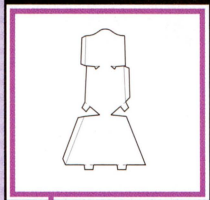
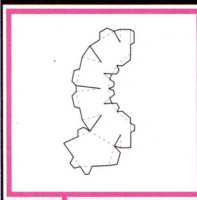
尾／たてがみの組み立て

128ページ・尾ー❶

128ページ・尾ー❷

128ページ・尾ー❸

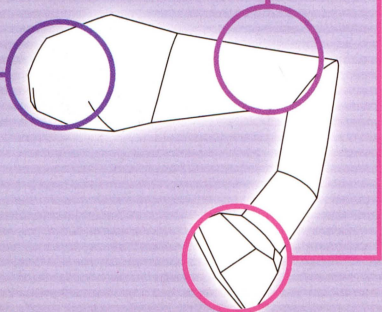
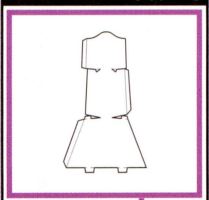
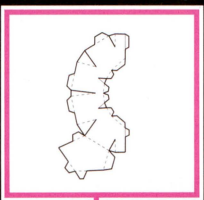
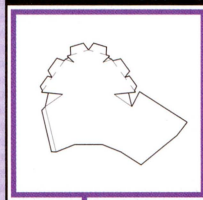
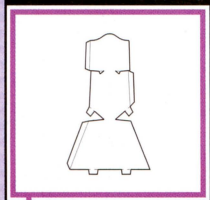
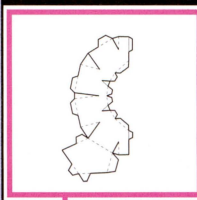
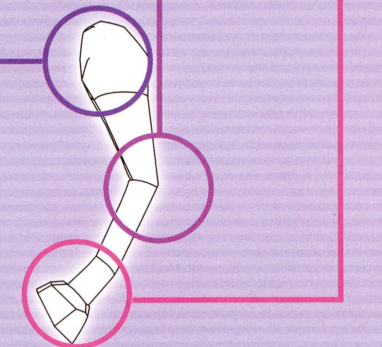
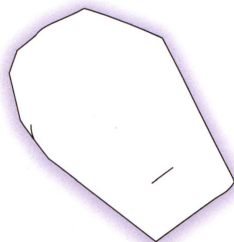
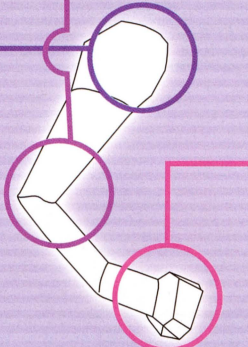
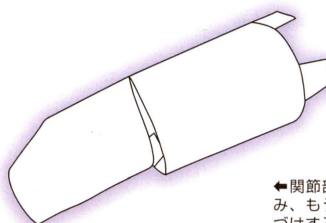
128ページ・尾ー❹

尾の組み立て。上の四つのパーツは、いずれも赤いのりしろを内側に折り込んで、図のように組み合わせる。

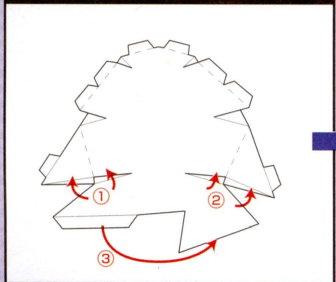
126ページ・たてがみー❶

⬆のりしろを順番に貼り合わせた後で裏側全体をのりづけし、白い部分を切りとる。

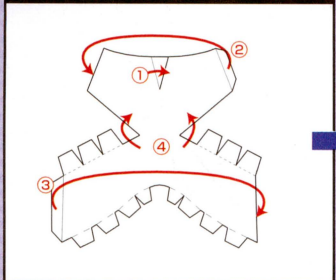
CHECK! ここがポイント

胴体についている印に合わせて、図のように頭部と尾を胴体に接続する。胴体❷ー①は尾の接着位置を目印にして、上下が逆でないかを確認しよう。実際に全体を組み立てる時は、先に六本の脚を胴体に接着して、尾やたてがみは最後にのりづけするとよい。

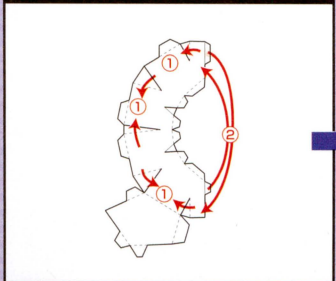
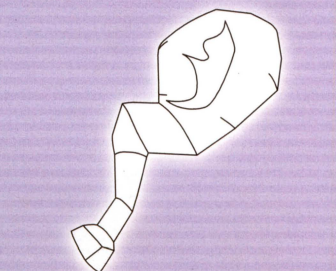
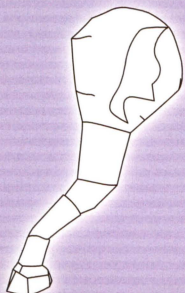
110ページ・頭部ー❺

⬆組み立て後、上の図のように頭部ー②と接着。赤いのりしろは内側に折り込んでおく。

112ページ・胴体①ー❶

114ページ・胴体②ー❶

図のように、胴体❶ー①を胴体❷ー①にはめこんで接続する。へこませないように気をつけてのりづけしよ

脚の組み立て

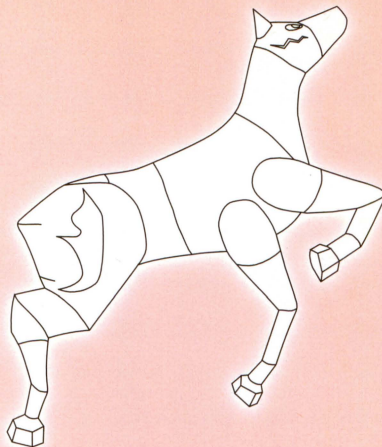
➡右前脚の組み立て。印に合わせて前脚ー①と④をのりづけした後、ひづめに差し込むようにしてのりづけ。ひづめの組み立てかたは右のページを参照。

⬅左前脚の組み立て。右前脚と同じ要領で組み立てていく。ひづめの部分は六個とも全く同じパーツなので、どの脚にどのひづめをのりづけしても構わない。

➡右中脚の組み立て。中脚ー②のような形のパーツの、関節部の組み立てかたに注意。右下の図のようにしないと、関節の曲がりかたがおかしくなってしまう。

⬅左中脚。完成後の形が左前脚とよく似ているので、どちらの脚かを常に把握しておくこと。もし混同してしまったら、胴体の模様と合うように接着すればよい。

⬅前・中脚の付け根となるこのようなパーツは、形はどれも同じだが模様がそれぞれ異なる。間違えて他の脚のものを使わないように注意。

⬅関節部ののりしろを内側に折りこみ、もう一方の節を差し込んでのりづけする。赤いのりしろも同じ要領で付け根のパーツにのりづけする。

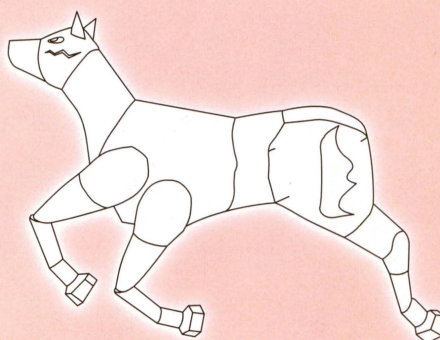
116ページ・後脚(右)－❶
118ページ・後脚(左)－❶

⬆胴体に接着した時に脚が横に広がってしまわないように、山折り線をしっかりと折る。

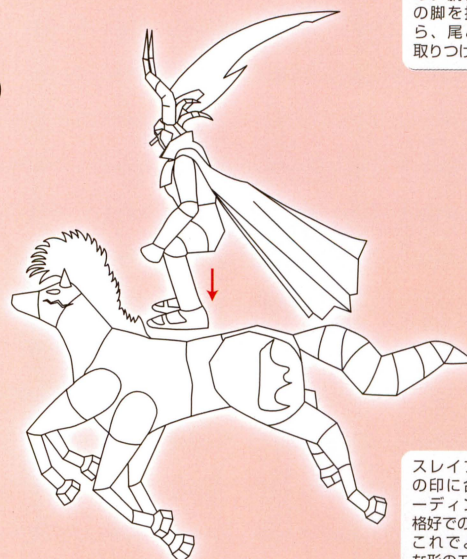
116ページ・後脚(右)－❷❸
118ページ・後脚(左)－❷❸

⬆この部分は左右で形状がやや異なるが、ほぼ同じやりかたで組み立てることができる。

124ページ・ひづめ－❺❻

⬆のりしろを貼り合わせ、輪のようにしてから底面を接着する。尖っているほうが前。

⬆右後脚を全て組み立てたもの。胴体との接着のしかたは右上の図①を参照すること。

⬆こちらは左後脚。脚の向きを間違えないよう、各パーツの印に合わせてのりづけする。

CHECK! ここがポイント

①

図①のように右側の三本の脚を、胴体に記されている印に合わせて接着する。脚は一本ずつ完全に接着させていくこと。

②

こちらは左側の脚の接着位置を示したもの。胴体に左右全ての脚を接着させてから、尾とたてがみを取りつけて完成。

③

スレイプニルの背中の印に合わせて、オーディンを座らせた格好でのりづけする。これでようやく完全な形のモデルとなる。

FINAL FANTASY Ⅷ
ペーパークラフトブック
パソコン用型紙データ集
MENU
印刷するGFを選ぶ
Internet Information
Quit

特別付録 本誌掲載の型紙を完全収録 パソコン用型紙データCD-ROMの使いかた

最低動作環境

Windows
- CPU：ペンティアム100Mhz以上 ●メモリ：32Mb以上
- モニタ：640X480ピクセル／16bit／HiColor以上 ●CDROM：4倍速以上
- システム：Windows95/98（NTでの動作は保証しません）
- WindowsSoundSystem互換のサウンドカード

Macintosh
- CPU：PowerPC・メモリ：32Mb以上の実装メモリと8Mb以上のRAMの空き容量
- モニタ：640X480ピクセル／32000色以上 ●CDROM：4倍速以上
- システム：漢字Talk7.5以降

※各環境とも、72dpi以上A4フルカラーで印刷可能なプリンターが必要です。

パソコンで自由に印刷できるペーパークラフト紙型データ集！

本誌の型紙をもっとカスタマイズしたい、色を塗り替えてみたい、という読者のために、特別に本誌の型紙をパソコンで印刷できる形式でCD－ROMに収録した。

このCD－ROMは、パソコンとプリンターさえあれば、好きなだけペーパークラフトの型紙をプリントアウトすることができるぞ。さらにCD－ROMだけのおまけとして、本誌掲載のオリジナルテクスチャーと別に、印刷後自由に彩色できるホワイトカラー（無地）の型紙を同梱。

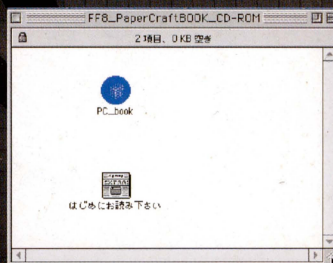
基本的に各型紙データは本誌のものと同等なので、本誌の作りかた説明を参照して組み立てよう。

ただし本誌と違い、切り線や折り線が表面にあることと、使用するプリンターの性能により、一部本誌の型紙と異なるサイズ及び彩色になることがあるので注意しよう。

セットアップ/Windowsの場合

Windowsマシンの場合は、CD－ROMをドライブに挿入するだけで、自動的にソフトが起動するようになっている。ただし、デバイスマネージャーのCD－ROMのプロパティで「自動挿入」のチェックボックスがクリアの状態になっていたり、自動的にソフトが起動できない場合は、CD－ROMのドライブアイコンか、エクスプローラから最上位フォルダの「pc－book．EXE」をクリックすればソフトを起動させることができる。

セットアップ/Macintoshの場合

Macintoshマシンでは、CD－ROMをドライブに挿入し、CD－ROM最上位フォルダにある「pc－book」ファイルをクリックすると、ソフトが起動する。ただし、OSが漢字Talk7．5でも、パワーPC以前のCPUでは動作しないので注意しよう。

各コンテンツの操作方法

CD－ROMが起動すると、まずコンテンツの選択画面が表示される。

ペーパークラフトの型紙を閲覧／印刷したい場合は、「ペーパークラフトの印刷」という文字をクリック。

メニュー下の「Internet Information」では、各社のホームページ情報が閲覧できる。

ソフトを終了させたい場合は「QUIT」を選択しよう。

MENU
印刷するGFを選ぶ
Internet Information

印刷するGFを選ぶ

「印刷するGFを選ぶ」では、ペーパークラフトの型紙データの選択・閲覧・印刷ができる。

まず画面上部のガーディアンフォースのアイコンをクリックして選択。中央ウインドウに選択したガーディアンフォースが表示されたら、次に画面下部に出現したカラーアイコンで色を選択。

「オリジナルカラー」は本誌掲載分と同じ彩色済みの型紙で、「ホワイトカラー」は彩色されていない無地の型紙。色を選択して中央のウインドウの左下に選択したカラーアイコンが表示されたら、画面右側の決定アイコンで選択を確定。

カラーを確定させると印刷パーツ選択画面になるので、画面左側のパーツ表から印刷したい型紙を選択。すると中央ウインドウに型紙のプレビューが表示される。その型紙でOKの場合は、画面右側の決定アイコンをクリックするとプリンタの設定ダイアログが表示される。

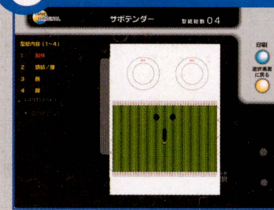
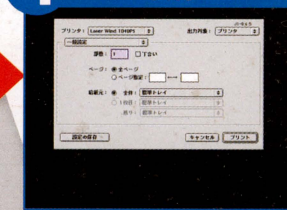
設定を確認しOKボタン（プリンタごとに異なるので注意）を押すと印刷が開始される。

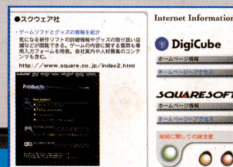
1 好みのG.F.を選択

2 色を選択

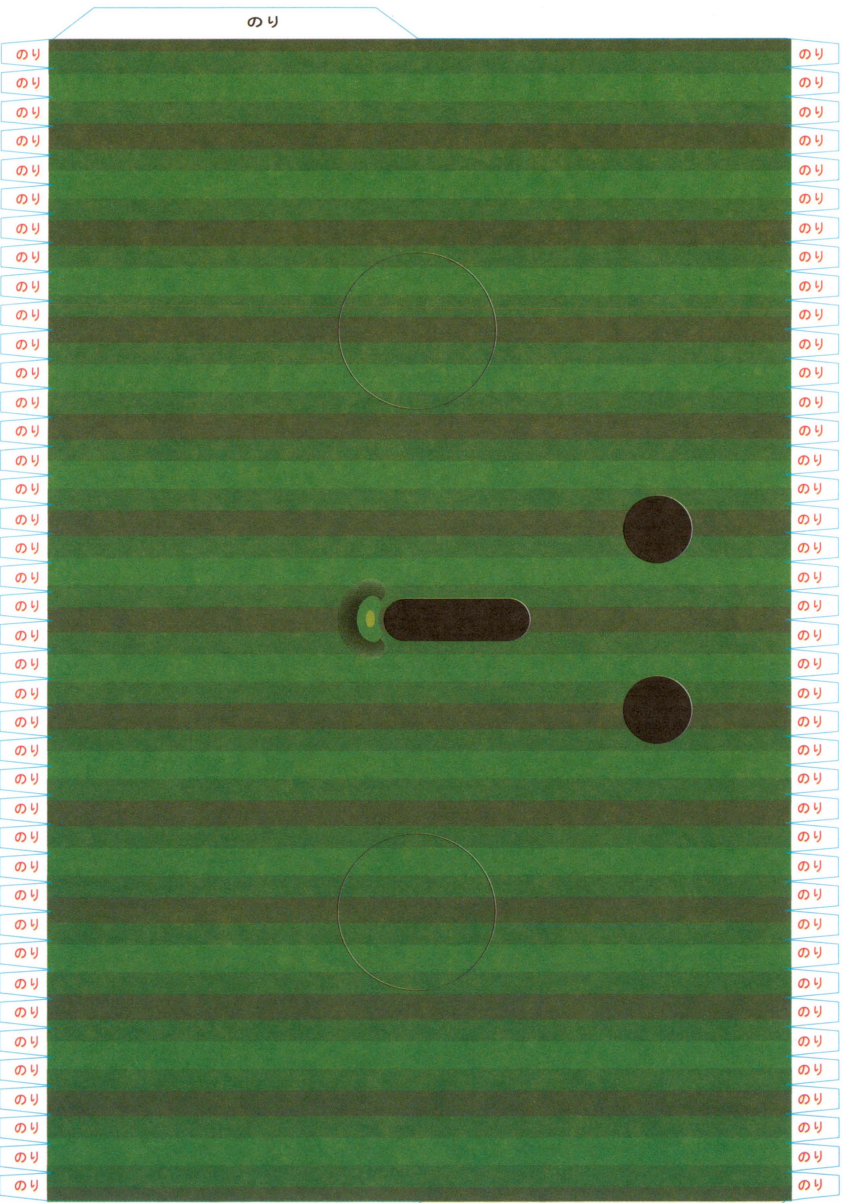
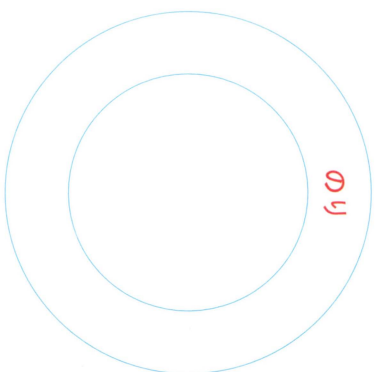
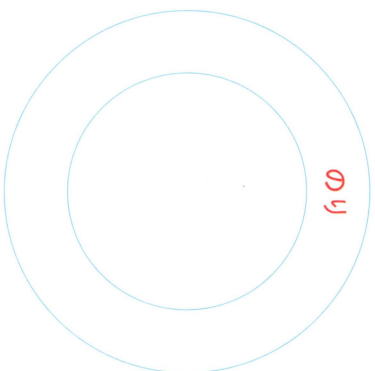
オリジナルカラー

ホワイトカラー

3 型紙ページを選択

4 印刷！

Internet Information

このコンテンツでは、この本に関わった各社のインターネットホームページ情報を閲覧できる。また、実際の各社のホームページへハイパーリンクしているので、インターネットに接続できる環境なら直接接続することも可能だ。

このCD-ROMはプレイステーションでは動きません！！

サボテンダー

胴体

❶ ❷ ❸

作り方：12ページ～

切り取り

サボテンダー 胴体

山折り －・－・－・－・－

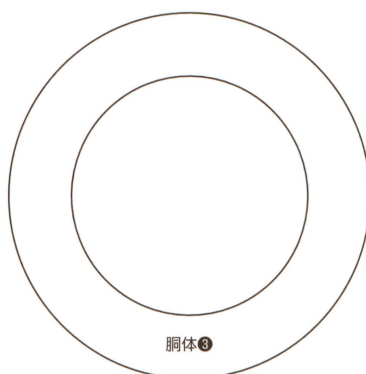
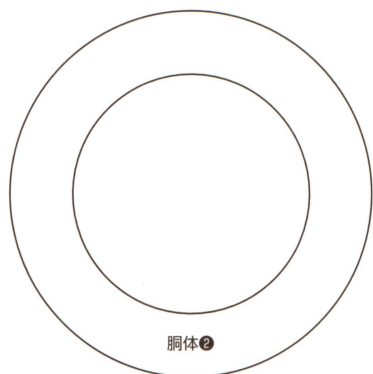
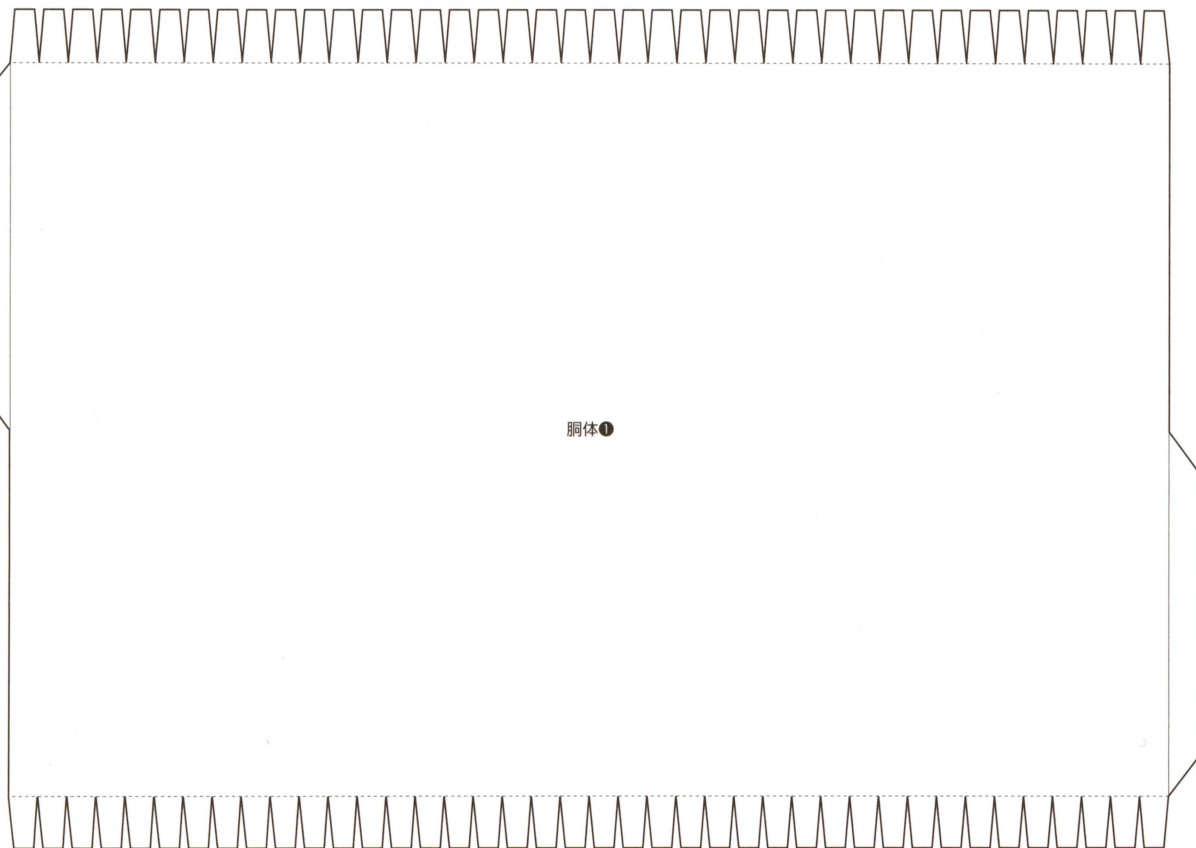
谷折り －－－－－－－－－－－－

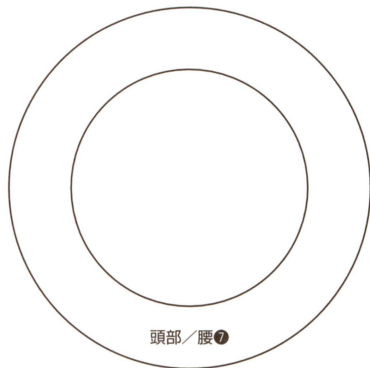
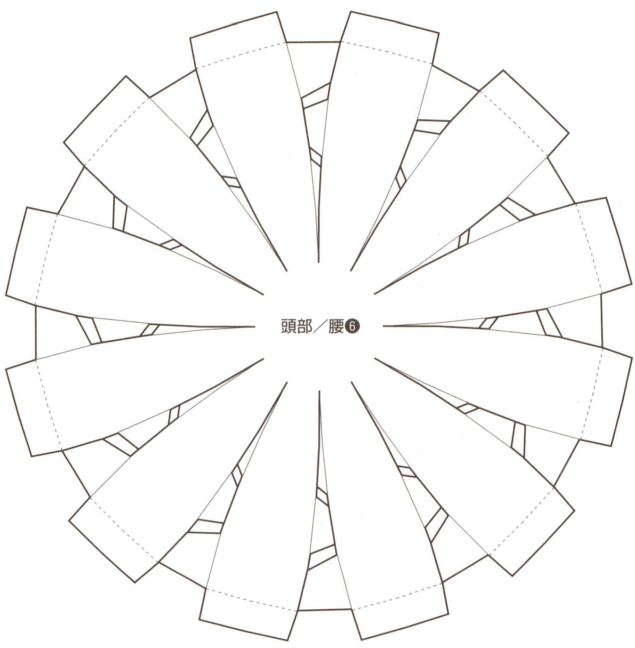
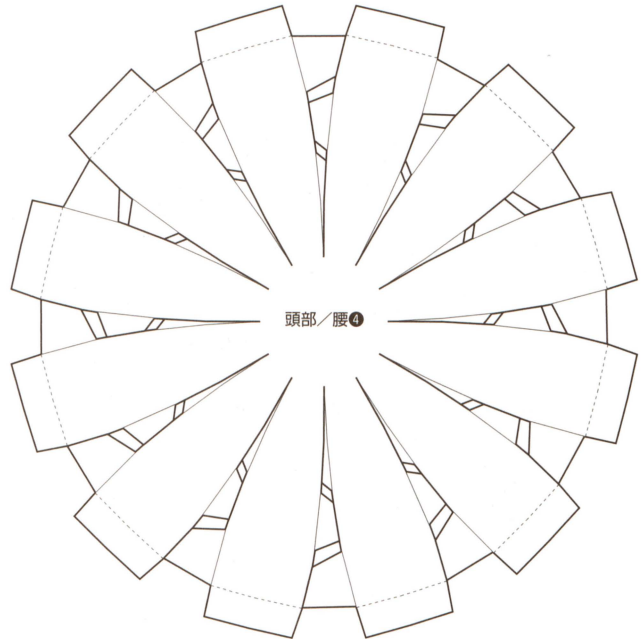
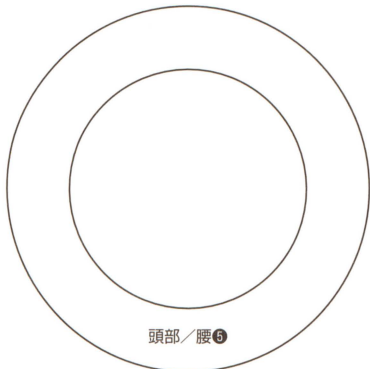
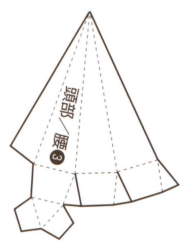
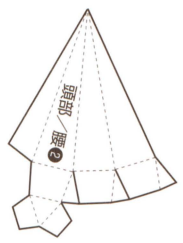
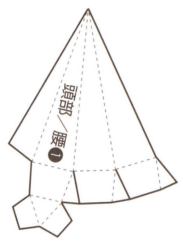
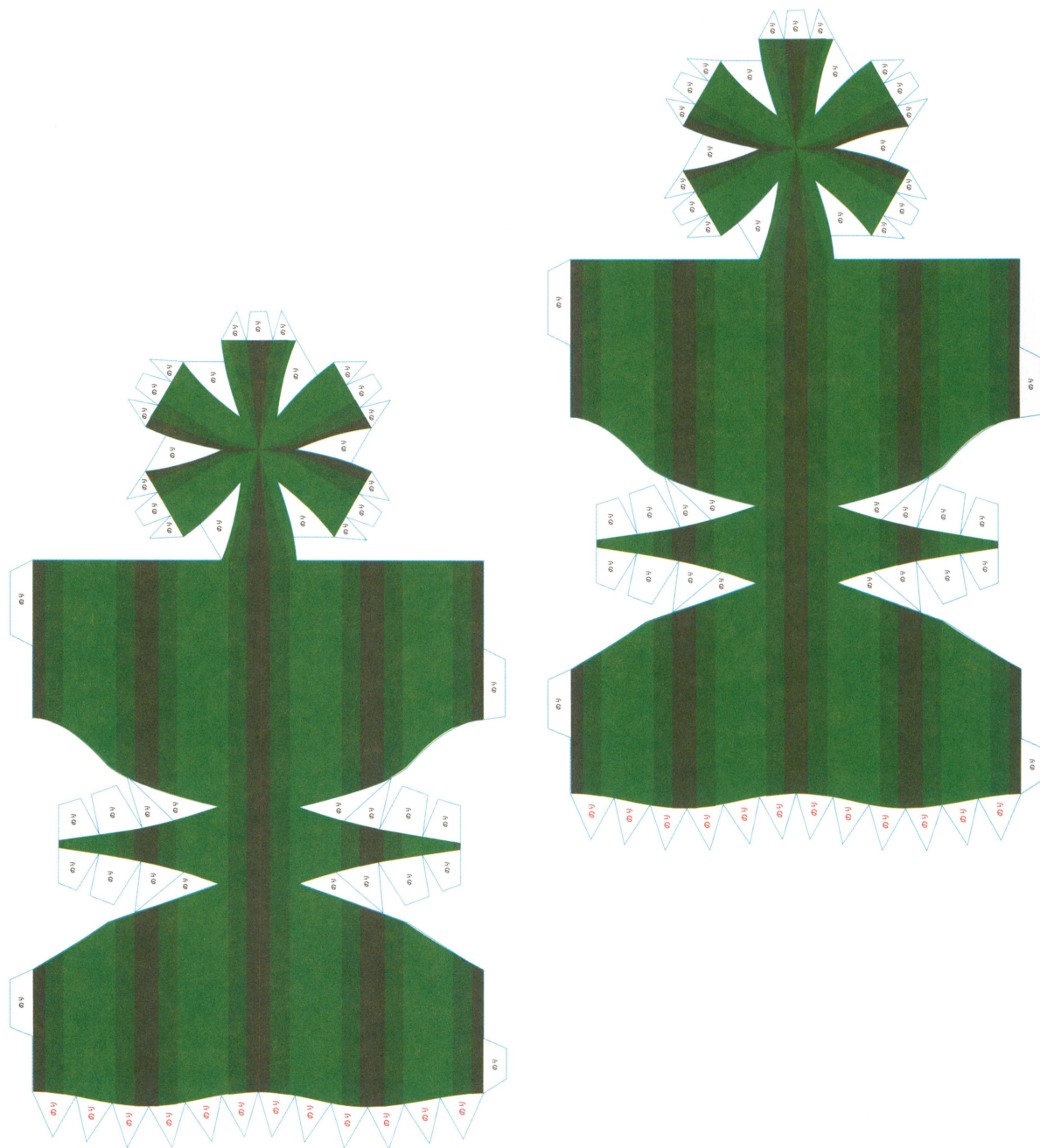
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

のり

サボテンダー

胴体

❶
❷
❸

作り方：12ページ～

切り取り
サボテンダー 頭部／腰
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
サボテンダー
頭部／腰
1
2
3
4
5
6
7
作り方：12ページ～
のり
のり

切り取り

サボテンダー

頭部／腰❶

頭部／腰❷

頭部／腰❸

頭部／腰❺

頭部／腰❹

頭部／腰❻

頭部／腰❼

頭部／腰

1
2
3
4
5
6
7

作り方：12ページ～

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

サボテンダー

腕

❶
❷

作り方：12ページ～

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

作り方：12ページ～

切り取り

サボテンダー

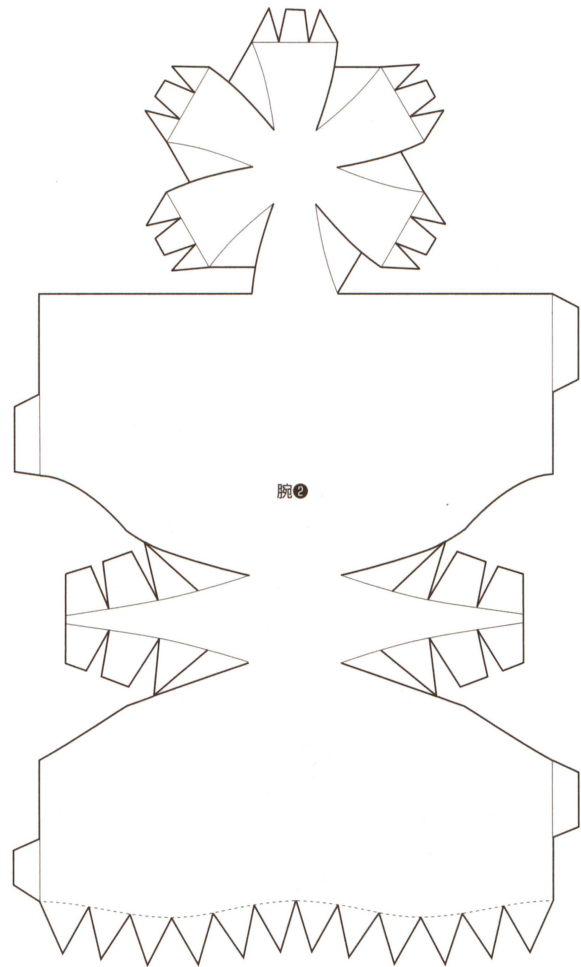
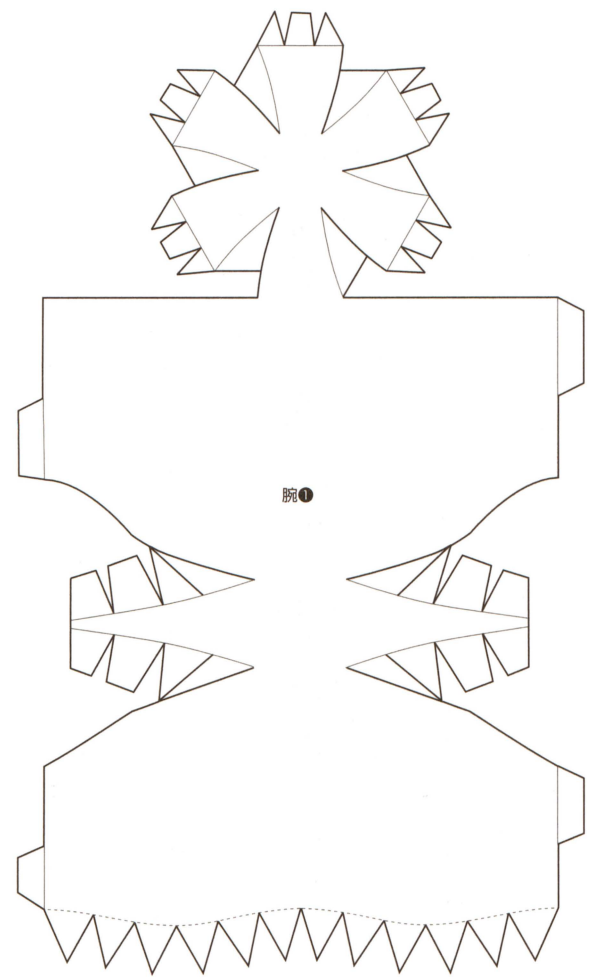
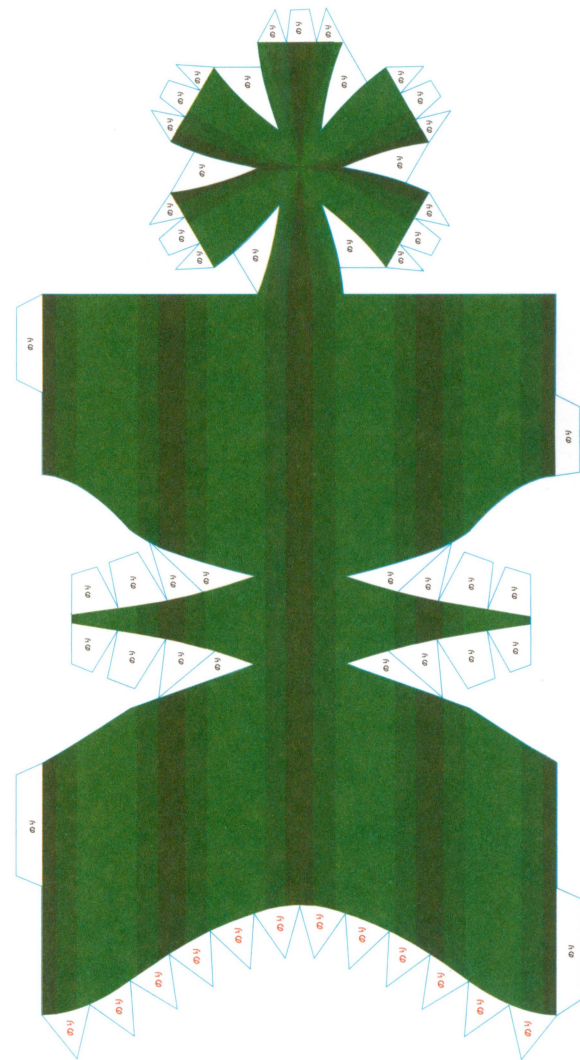
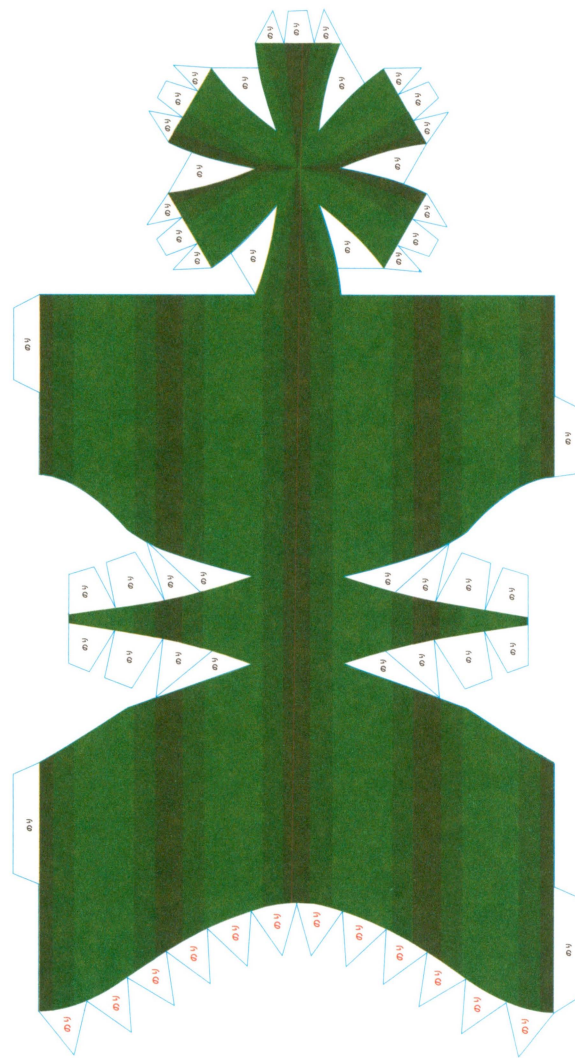
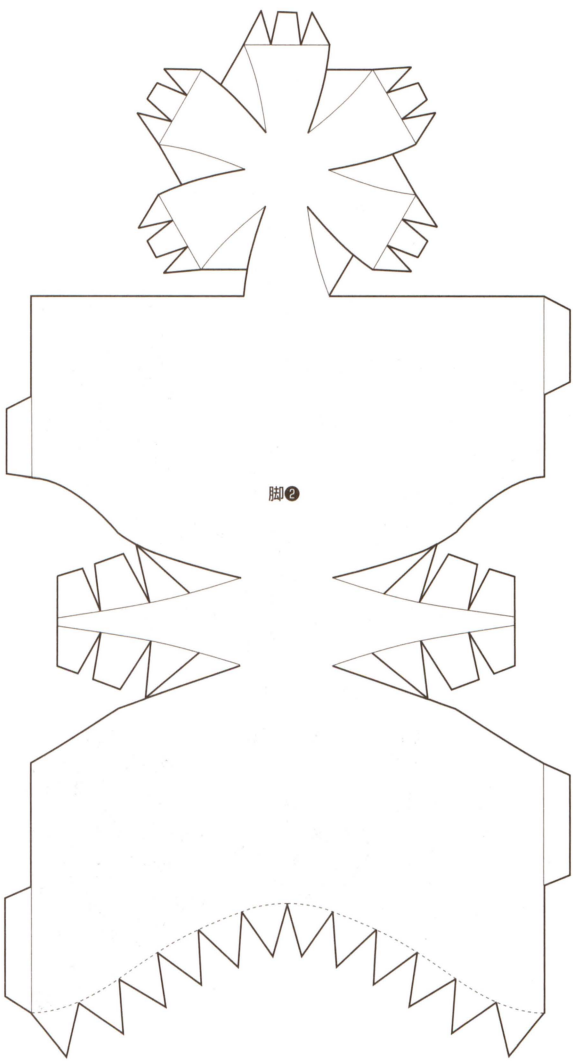
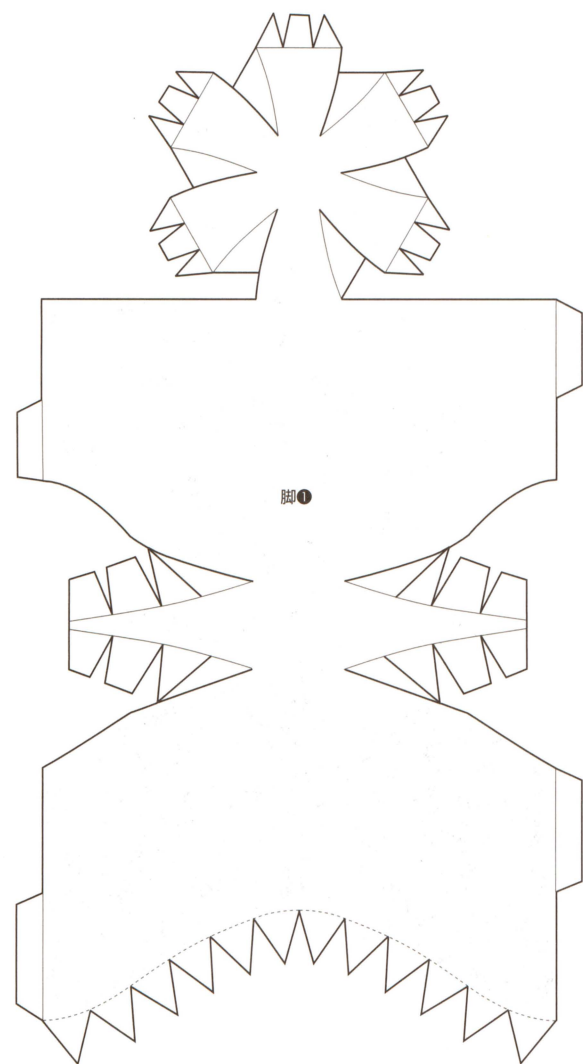
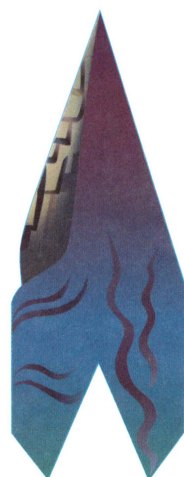
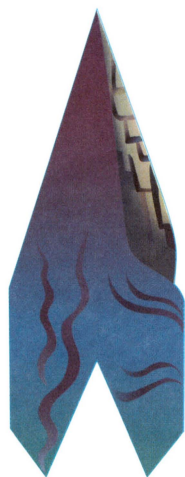
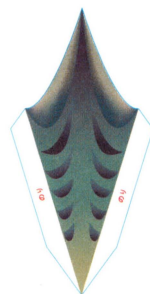
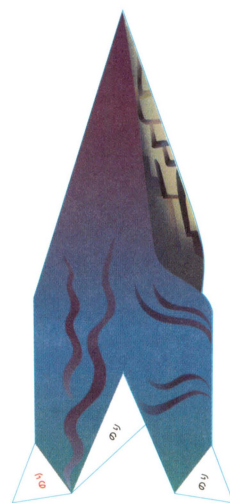
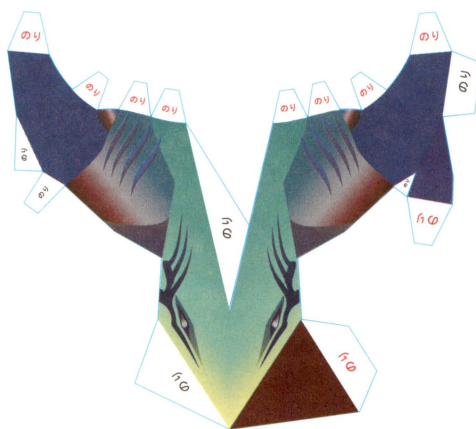
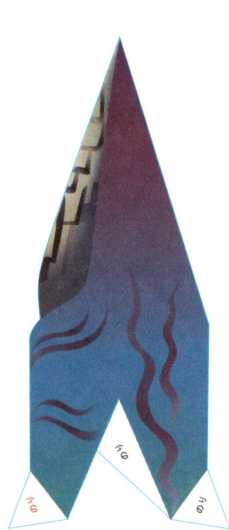
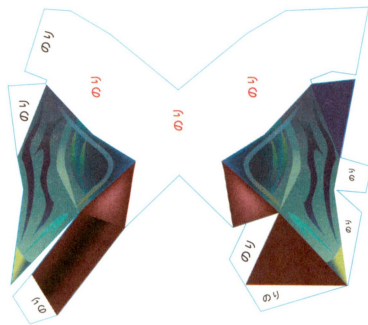
脚

❶
❷

脚❶

脚❷

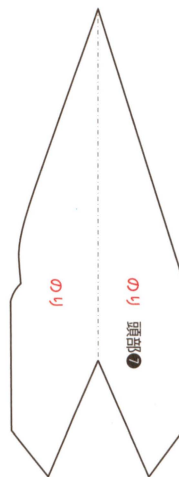
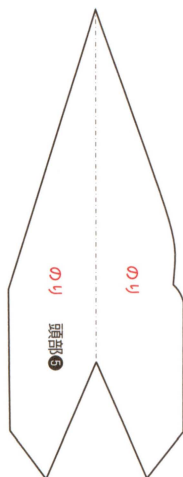
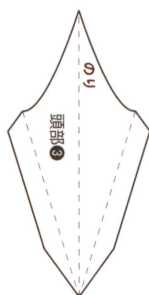
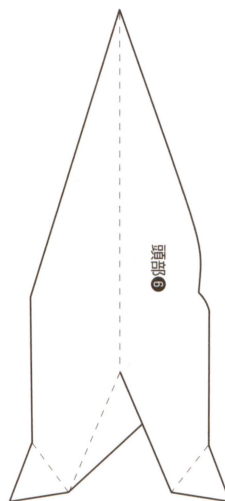
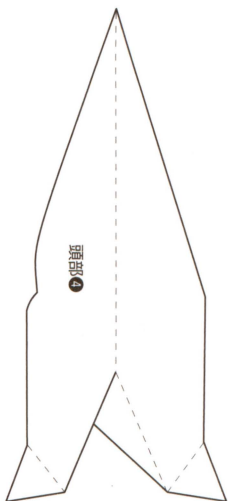
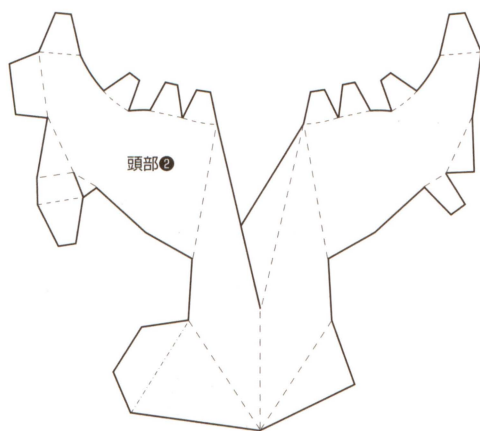
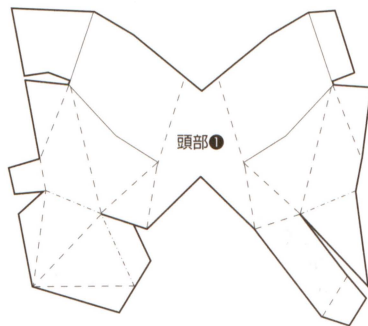
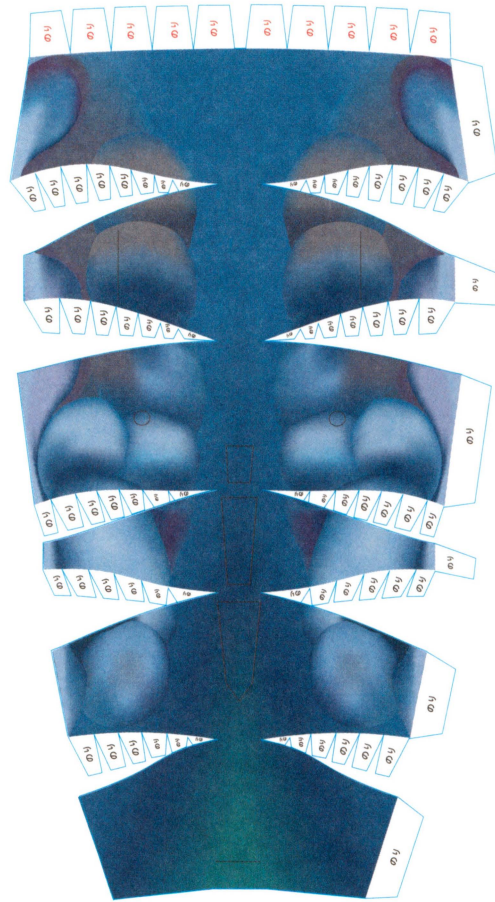
作り方：12ページ〜

切り取り

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

リヴァイアサン

頭部

1
2
3
4
5
6
7

作り方：14ページ～

切線 ―――　山折り －・－・－　谷折り ------

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

頭部❹

リヴァイアサン

❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼

作り方：14ページ～

山折り —·—·—·—·—

谷折り - - - - - - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

リヴァイアサン

胴体①

❶

作り方：14ページ～

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

❶

作り方：14ページ～

リヴァイアサン

❶

作り方：14ページ～

作り方：14ページ～

切り取り

リヴァイアサン

❷

作り方：14ページ～

リヴァイアサン

山折り ―・―・―・―・―・―
谷折り - - - - - - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

のり のり のり のり のり のり

のり のり のり のり のり のり のり のり のり のり のり

ヒレ

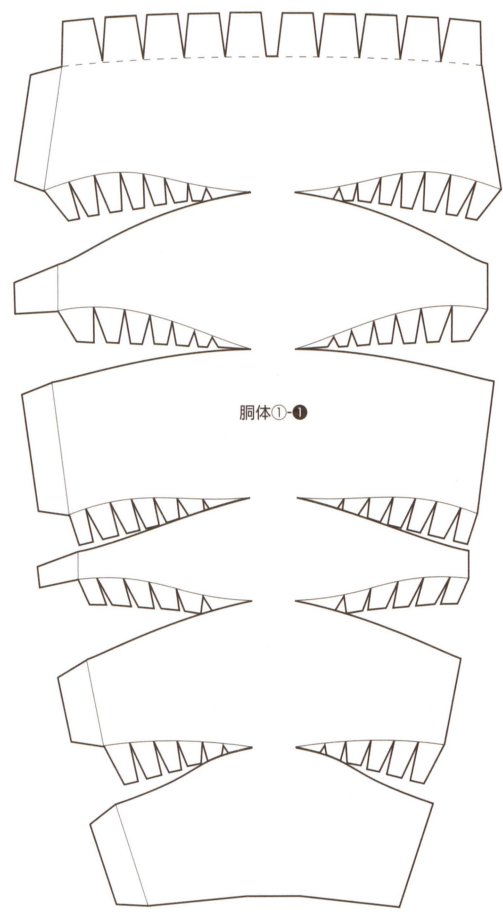
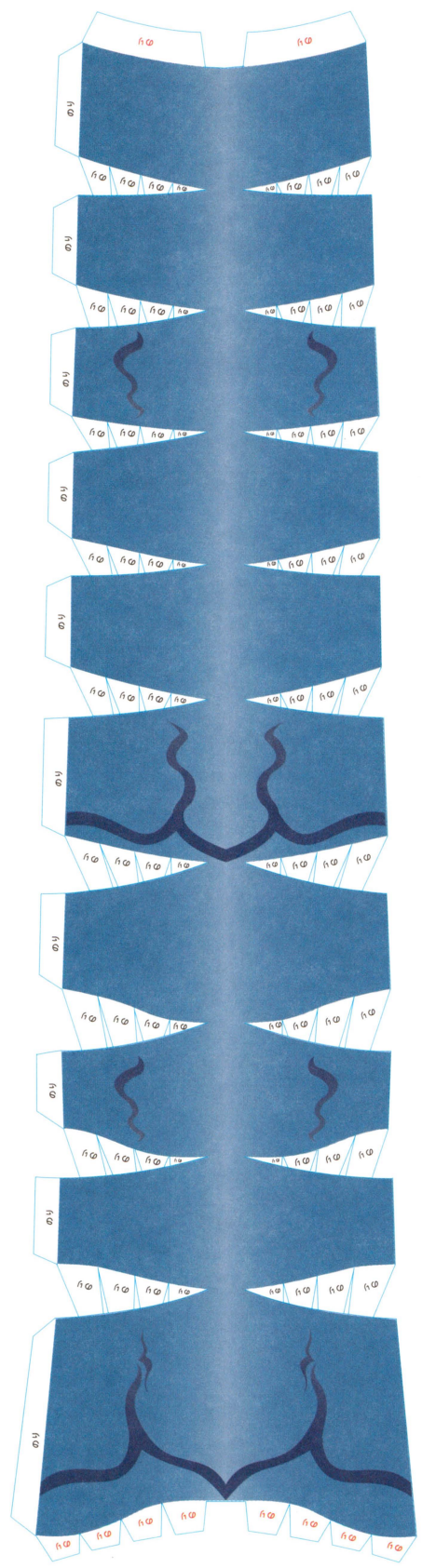
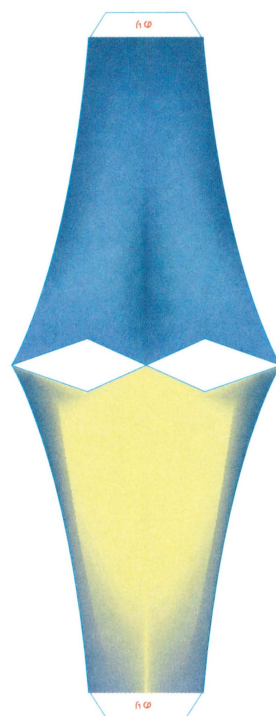
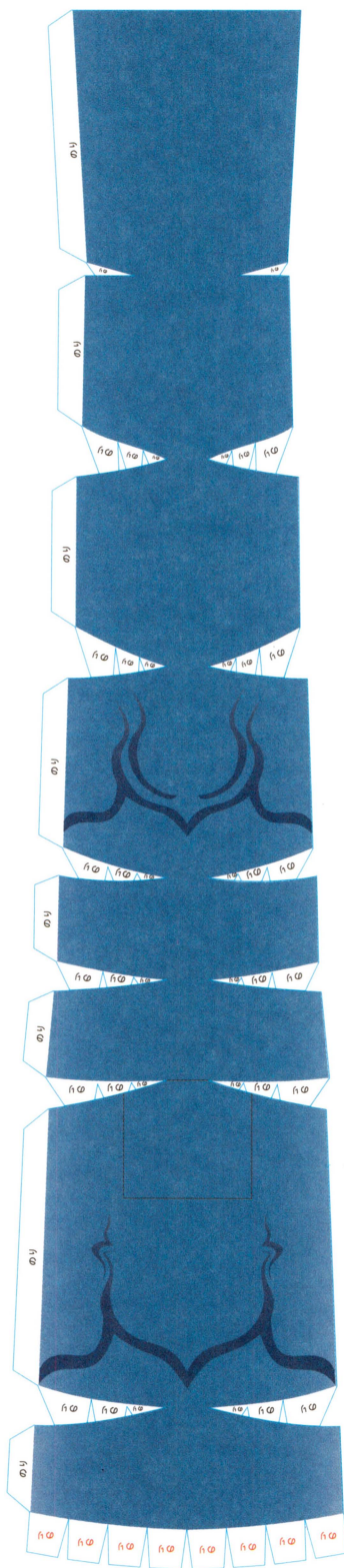
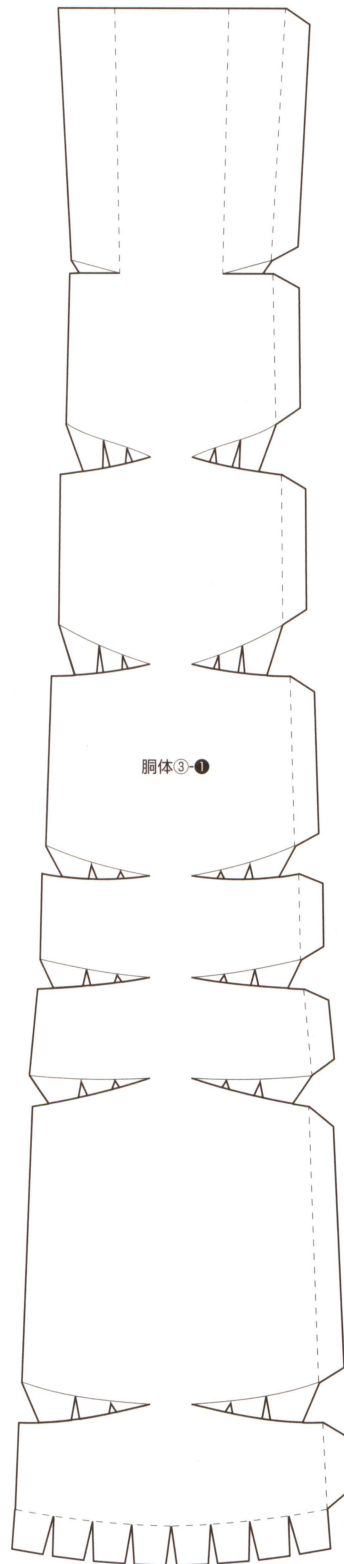
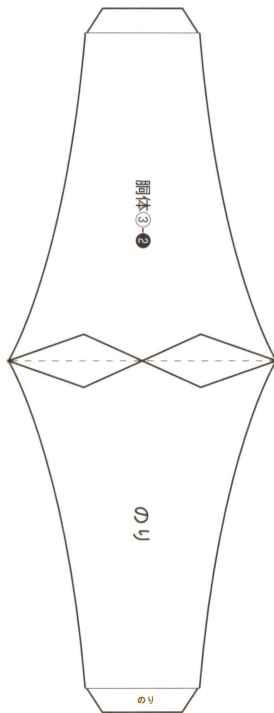
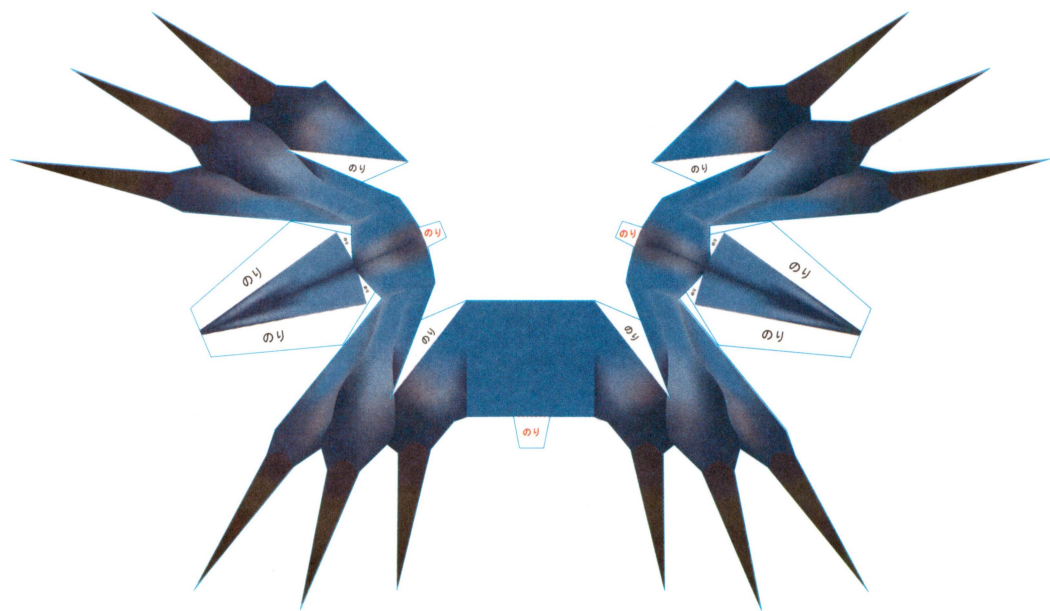
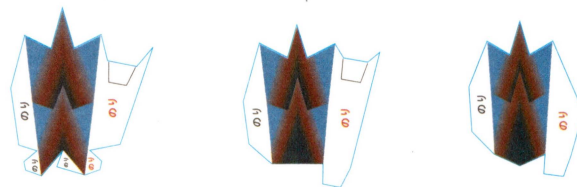
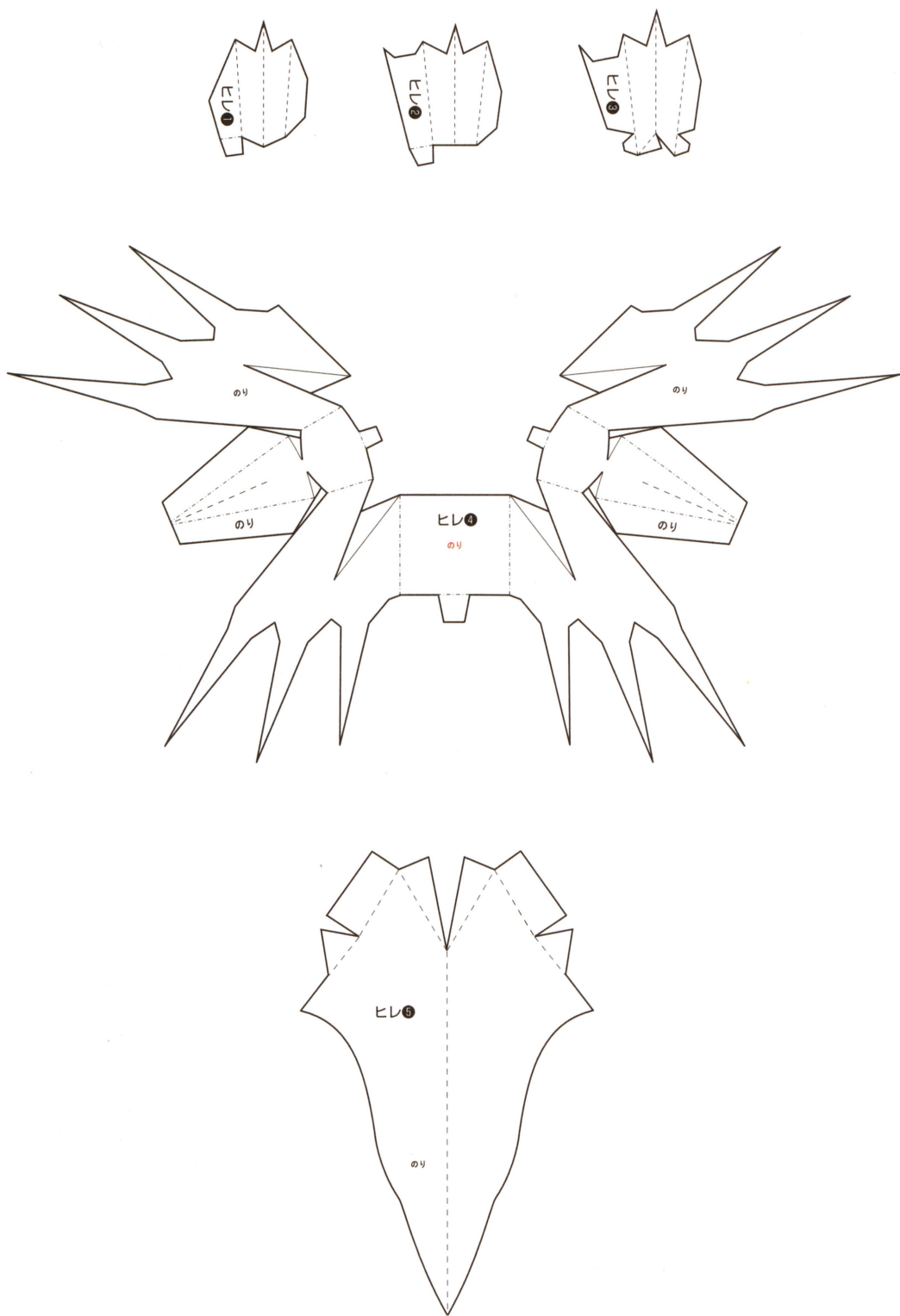
作り方：14ページ～

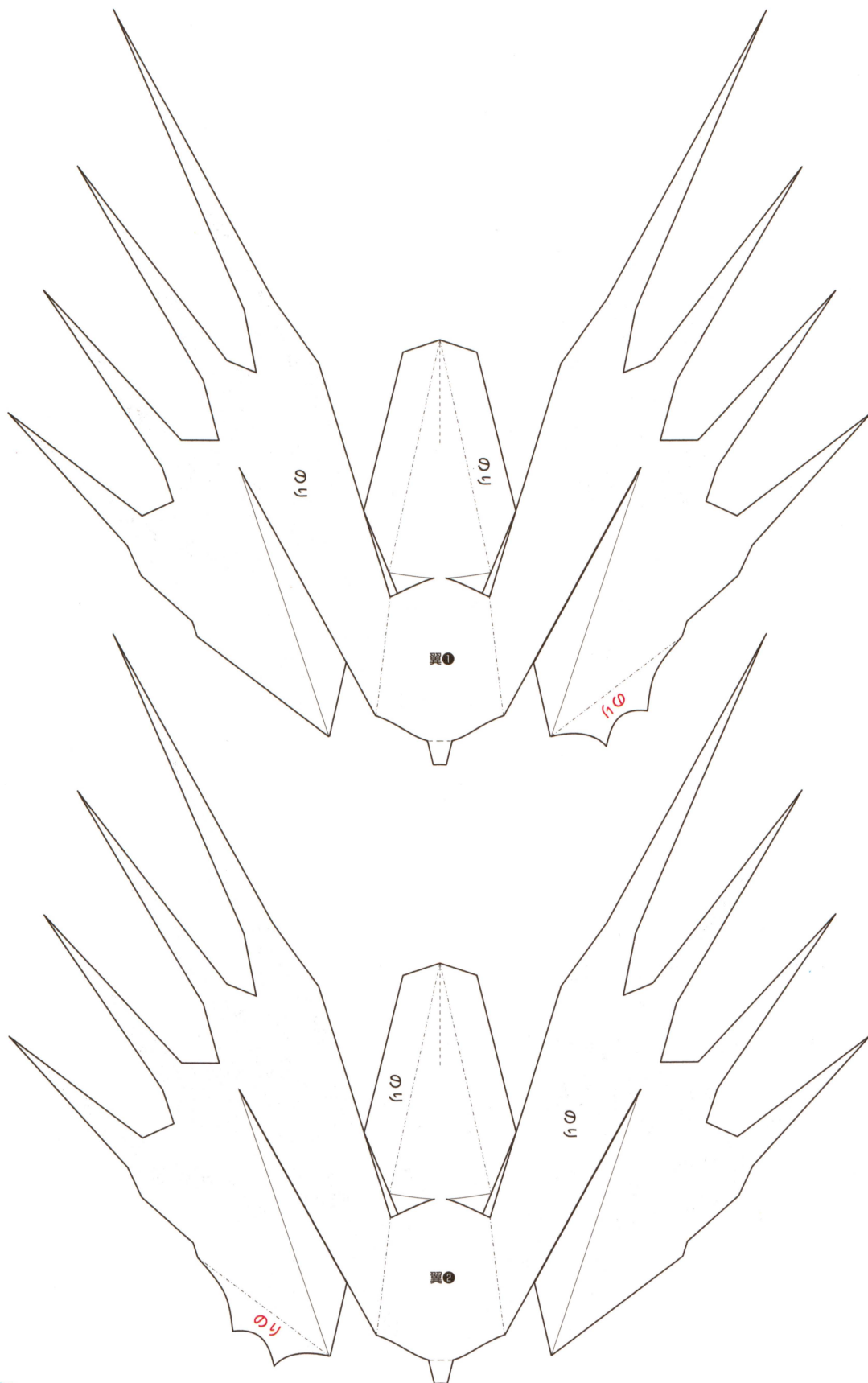
リヴァイアサン

ヒレ❶ ヒレ❷ ヒレ❸

ヒレ❹
のり
のり
のり
のり

ヒレ

❶
❷
❸
❹
❺

作り方：14ページ～

切り取り線
リヴァイアサン 翼
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
リヴァイアサン
翼
❶
❷
作り方：14ページ～
のり

リヴァイアサン

翼

❶
❷

のり
のり
翼❶
のり

のり
のり
翼❷
のり

作り方：14ページ～

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

カーバンクル

頭部

❶

作り方：16ページ〜

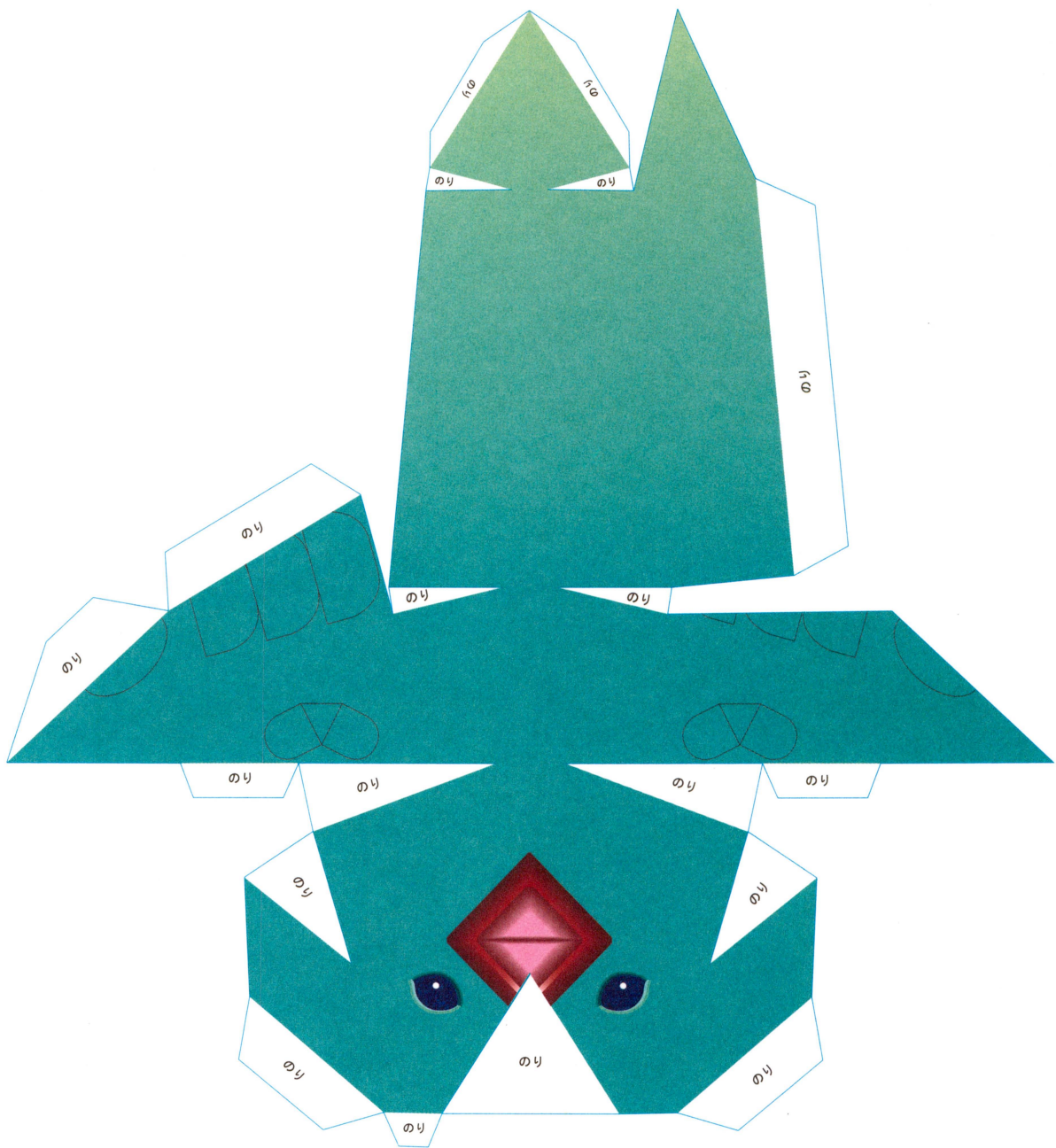
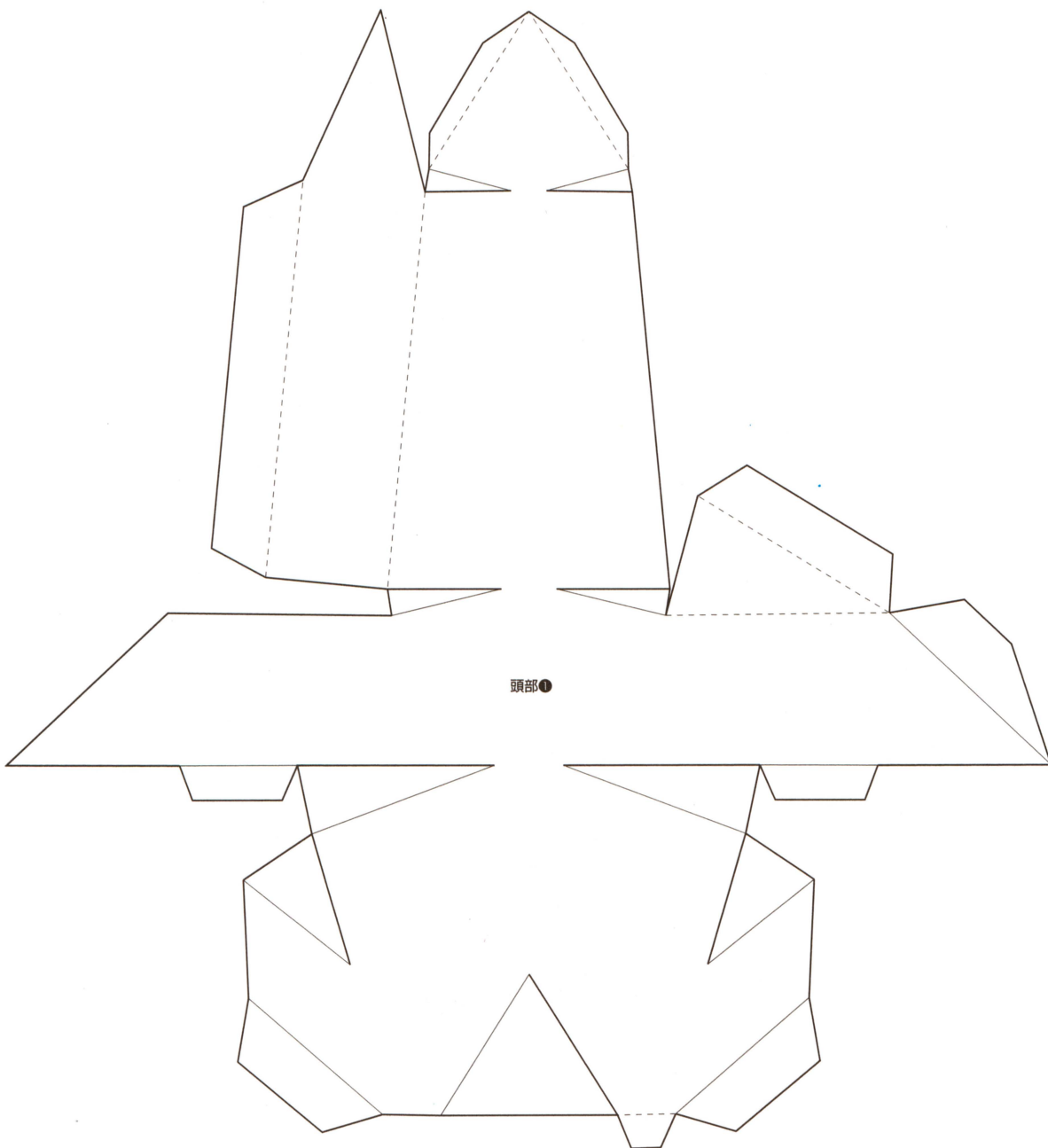
切り取り

カーバンクル

頭部

❶

頭部❶

作り方：16ページ〜

切り取り
カーバンクル 耳
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
カーバンクル
耳
❶
❷
作り方：P16～
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり

切り取り

カーバンクル

耳

作り方：P16～

山折り 谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

作り方：P16〜

カーバンクル

胴／腕

❶
❷
❸

作り方：P16〜

山折り ー・ー・ー・ー・ー・ー

谷折り - - - - - - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

カーバンクル

左脚

❶
❷

作り方：16ページ～

カーバンクル

右脚

❶
❷

作り方：16ページ～

カーバンクル

右脚

❶
❷

作り方：16ページ〜

髪❶

髪❶

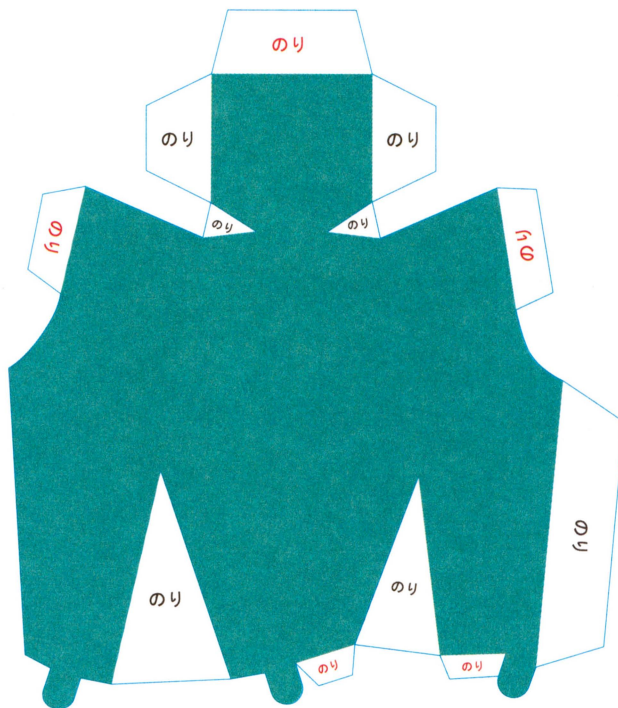
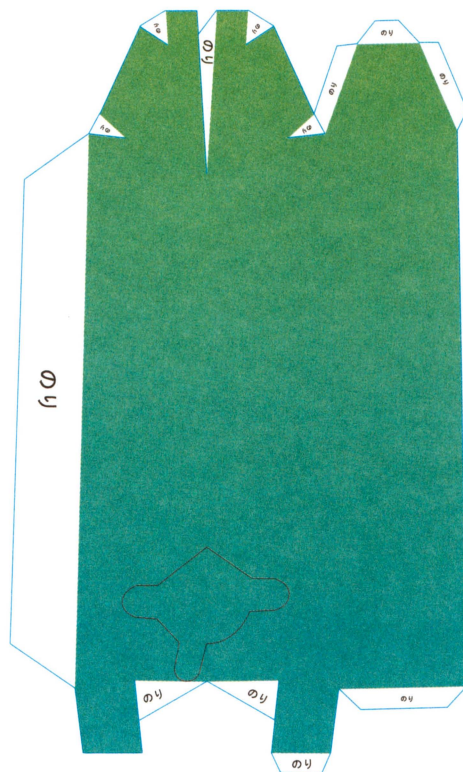
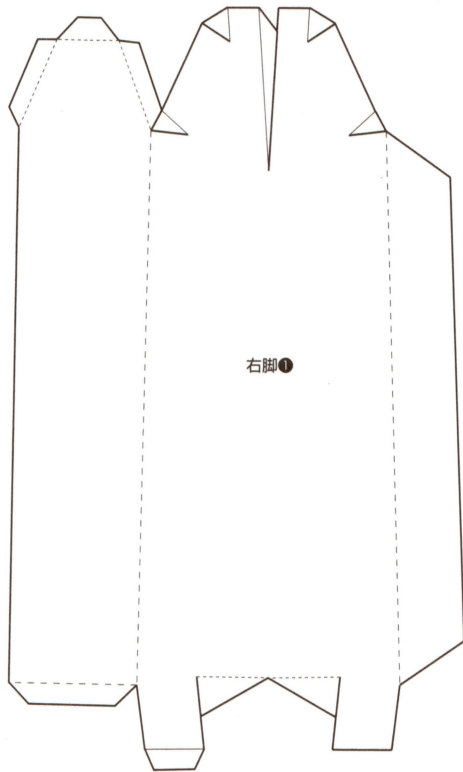
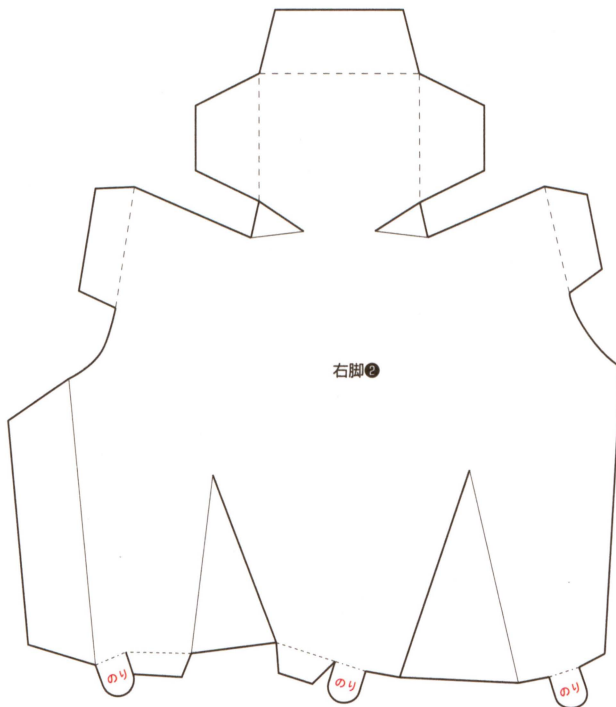
髪❸

カーバンクル

髪

作り方：16ページ

山折り —・—・—・—・—・—

谷折り - - - - - - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

カーバンクル

尾・先端

❶
❷

作り方：16ページ～

尾・先端❶

尾・先端❷

カーバンクル
尾・先端
❶
❷
作り方：16ページ

山折り -・-・-・-・-
谷折り - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

尾

❶

のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり

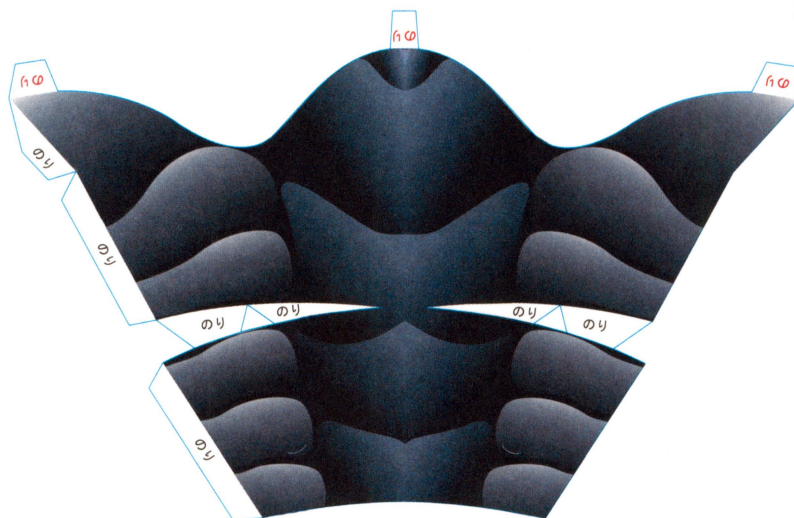
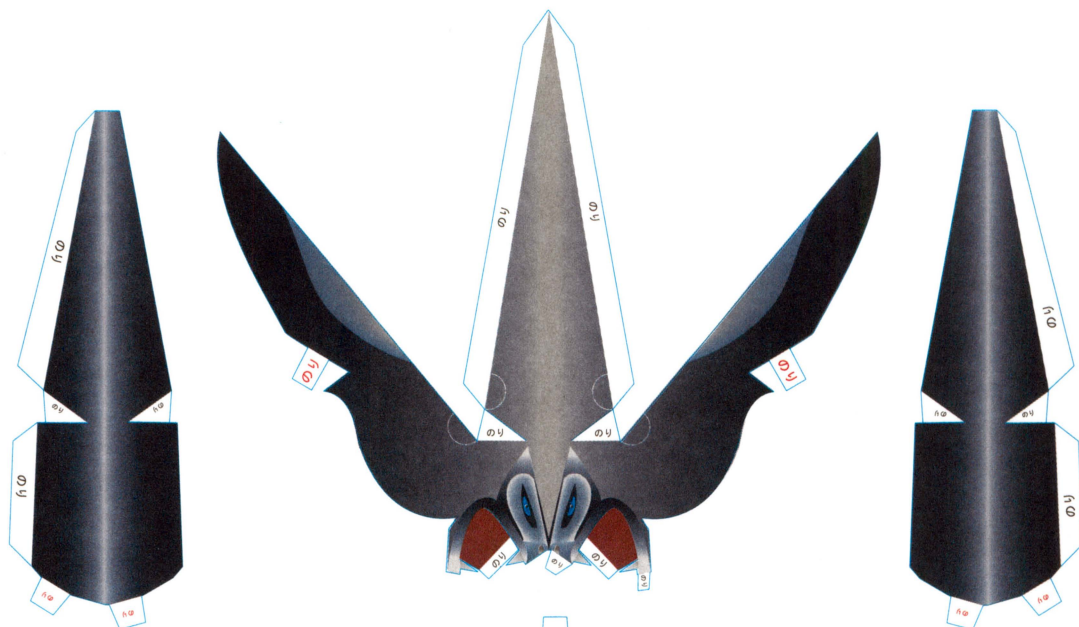
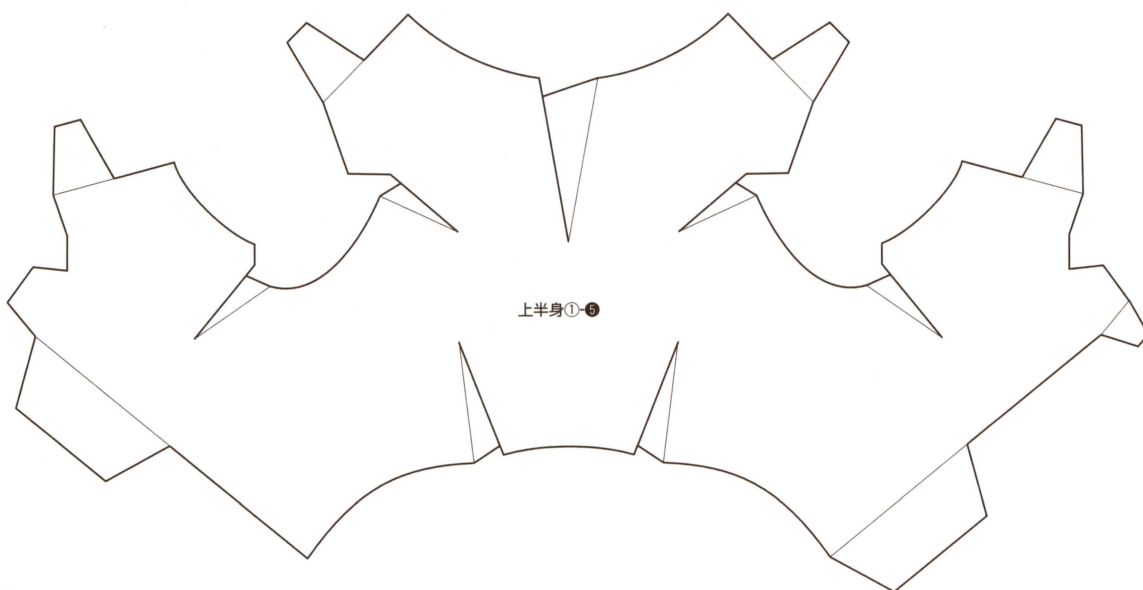
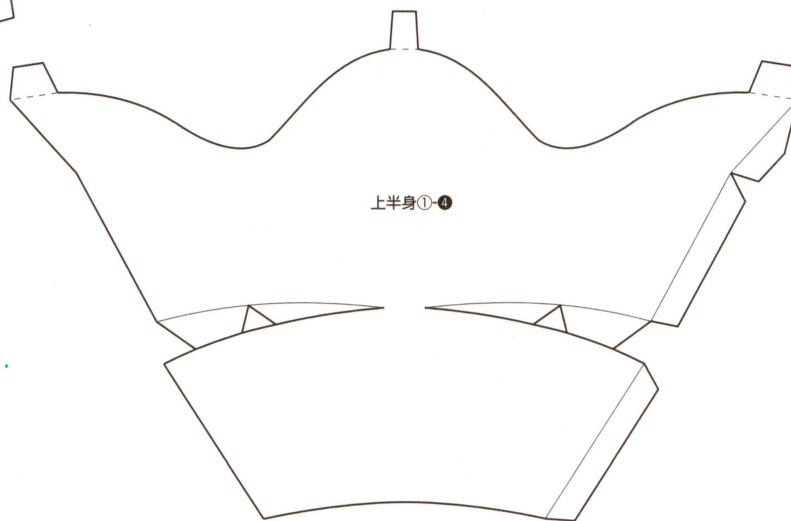
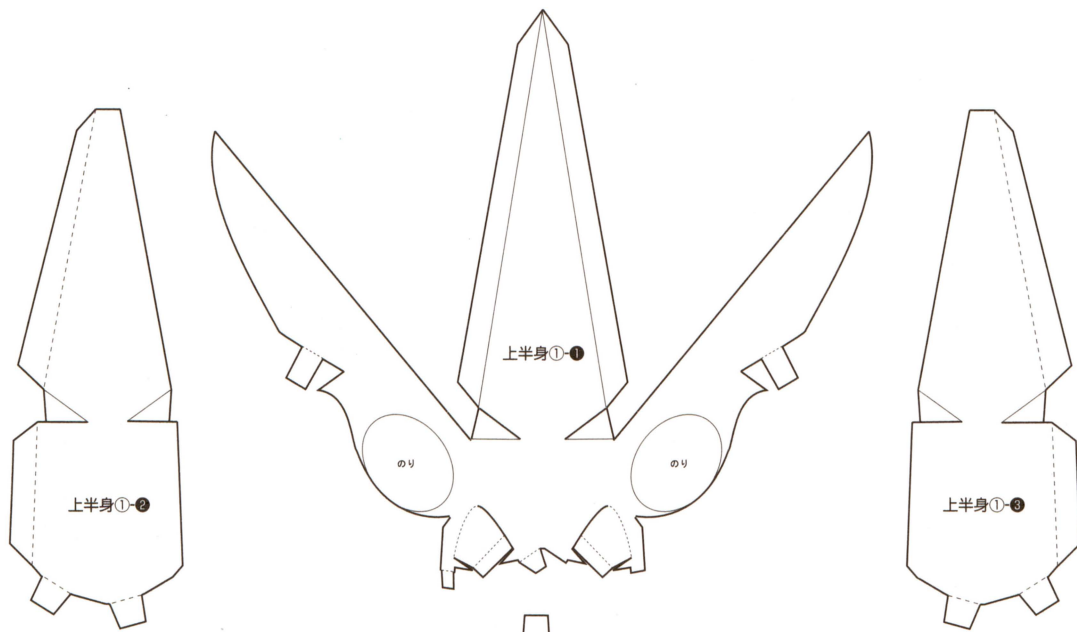
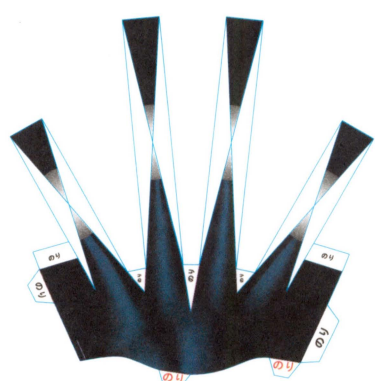
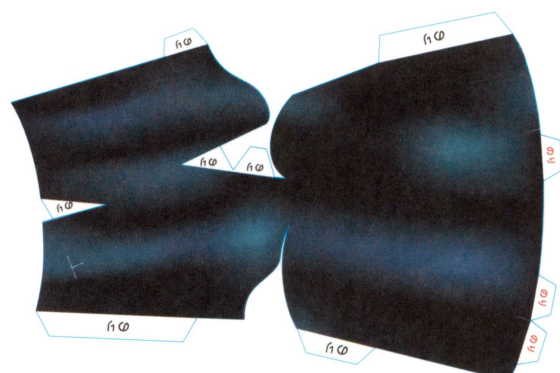
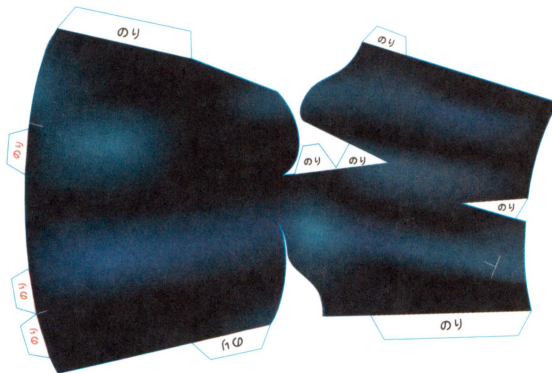
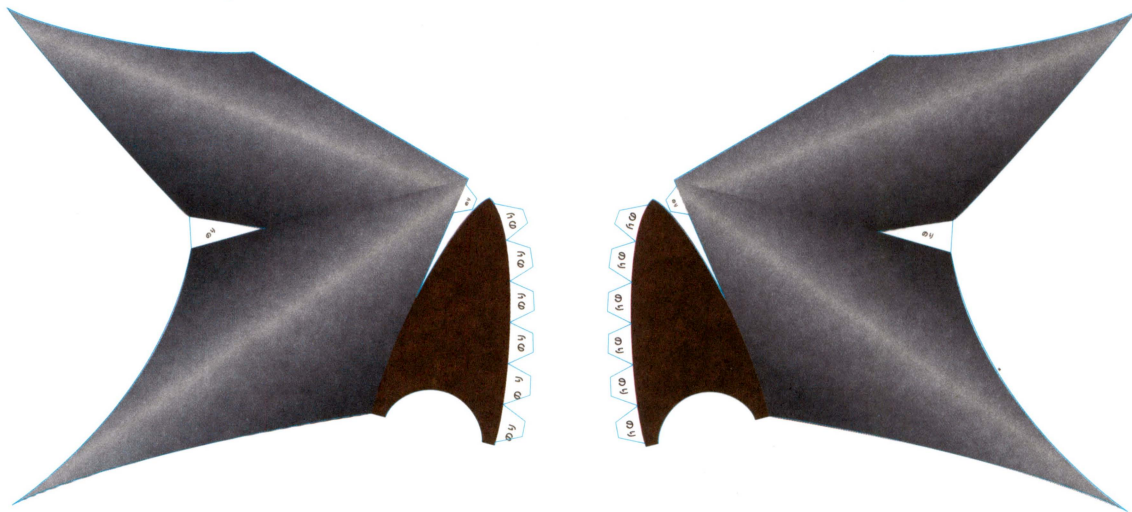
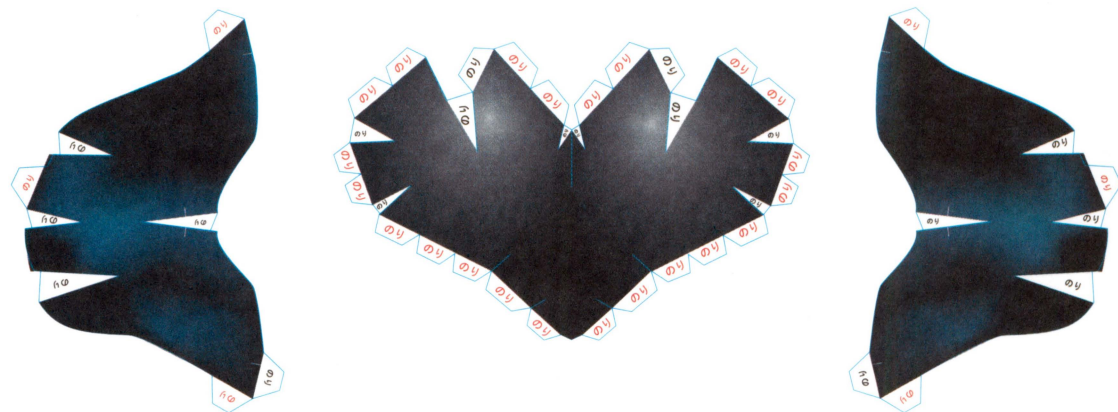
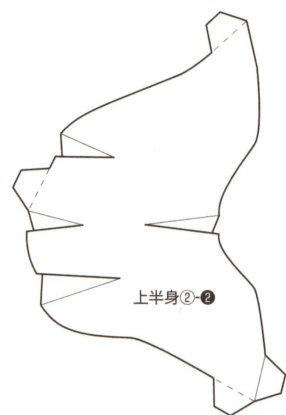
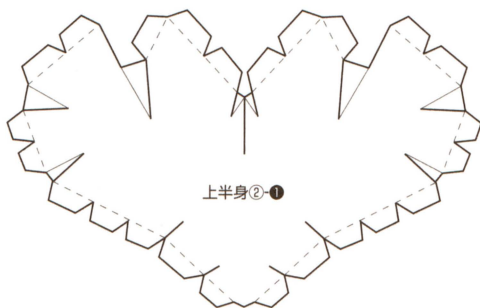
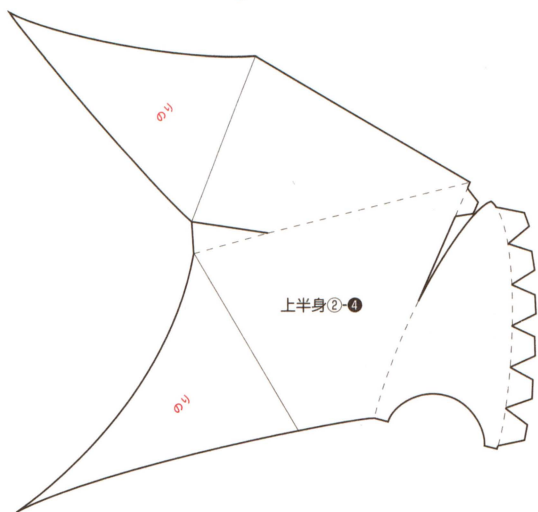
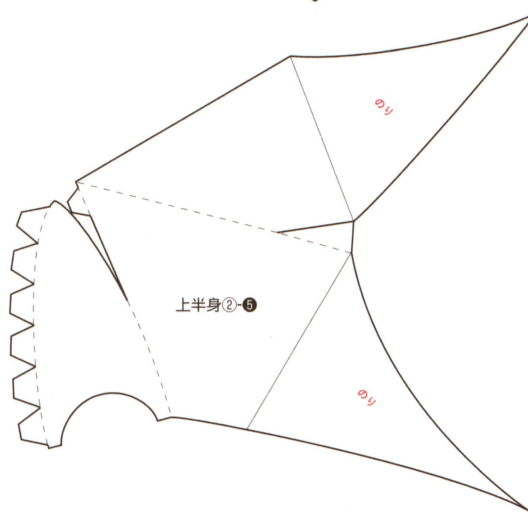
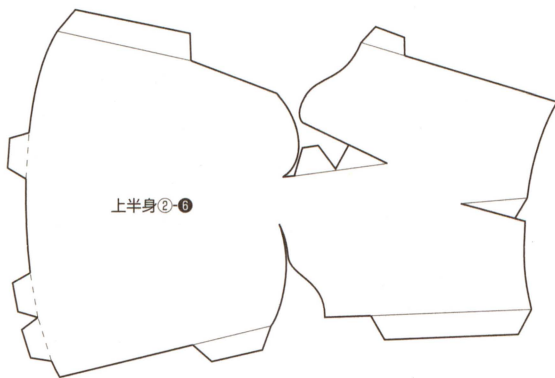
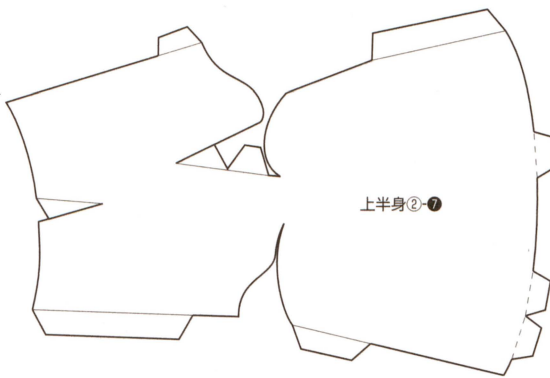
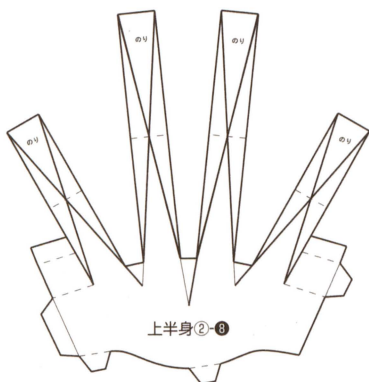
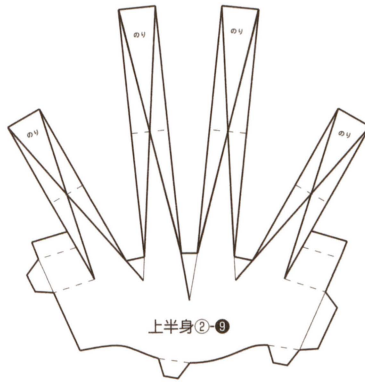
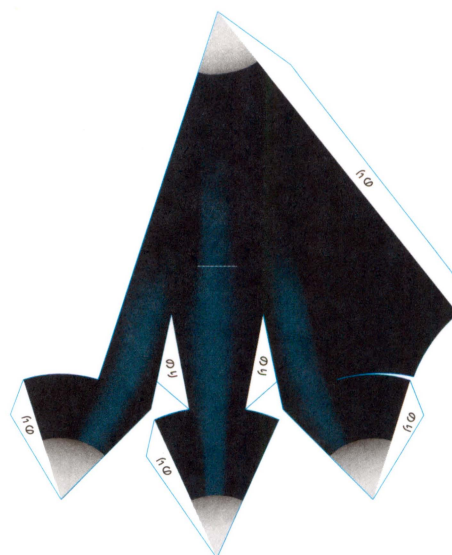
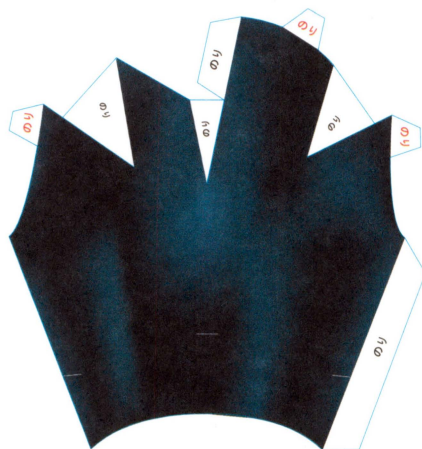
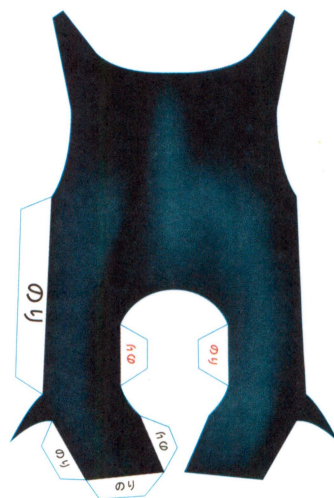
作り方：16ページ～

カーバンクル

尾

❶

作り方：16ページ〜

切り取り
バハムート 上半身①
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
バハムート
上半身①
1
2
3
4
5
作り方：20ページ～
のり

切り取り
上半身①-❶
のり
のり
上半身①-❷
上半身①-❸
上半身①-❹
上半身①-❺
バハムート
上半身①
1
2
3
4
5
作り方：20ページ～

バハムート 上半身②
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
切り取り
バハムート
上半身②
1 6
2 7
3 8
4 9
5
作り方：20ページ～

切 線
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
バハムート 上半身②
切り取り
上半身②-❶
上半身②-❷
上半身②-❸
上半身②-❹
上半身②-❺
上半身②-❻
上半身②-❼
上半身②-❽
上半身②-❾
のり
バハムート
上半身②
1 6
2 7
3 8
4 9
5
作り方：20ページ～

切り取り
バハムート 腹部／尾
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
バハムート
腹部／尾
❶
❷
作り方：20ページ～

作り方：20ページ～

山折り －・－・－・－・－

谷折り －－－－－－－－－－－－

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

作り方：20ページ～

右脚

❶
❷
❸
❹

山折り

谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

左脚

❶
❷
❸
❹

左翼(裏)①

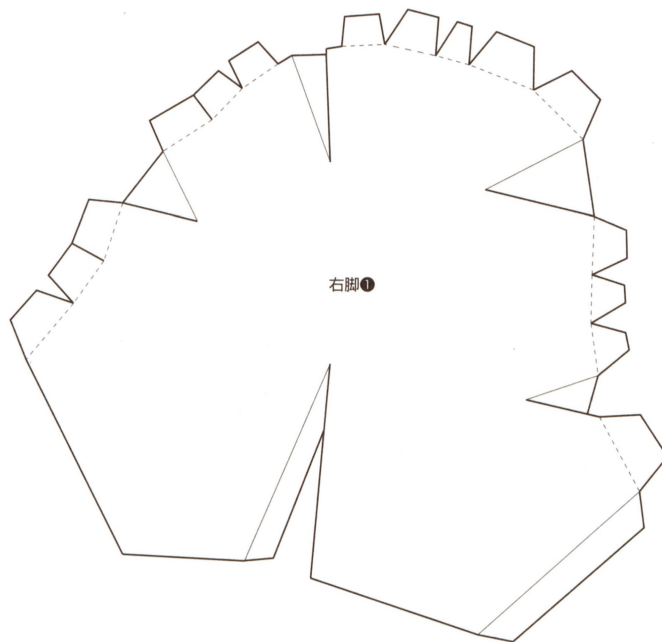
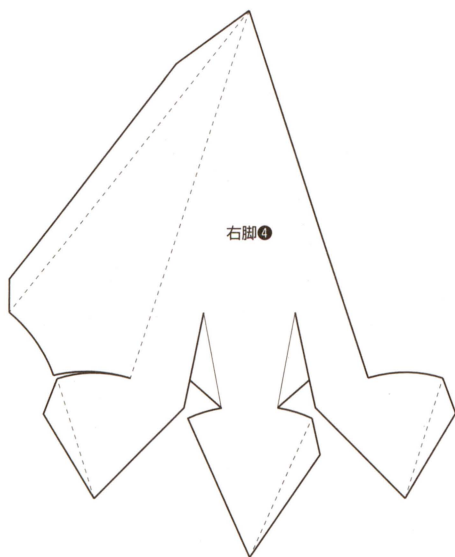
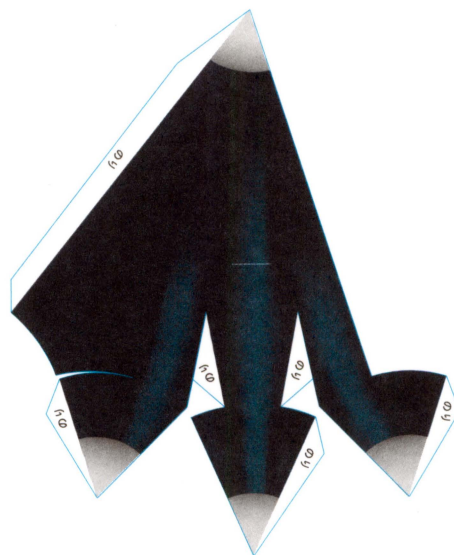
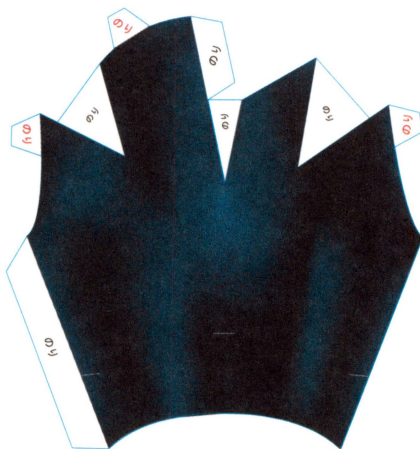
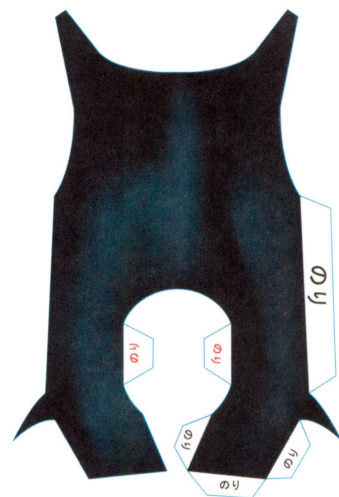
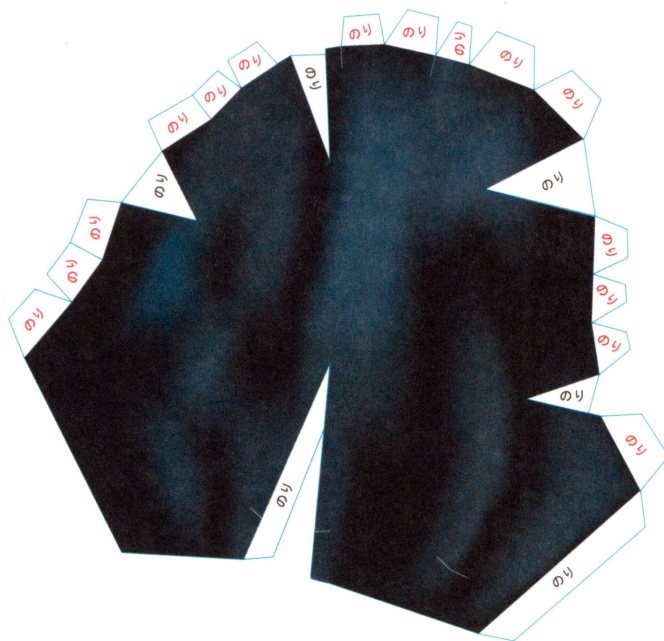
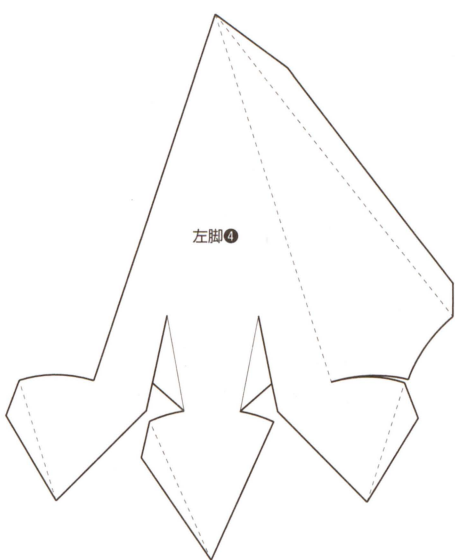
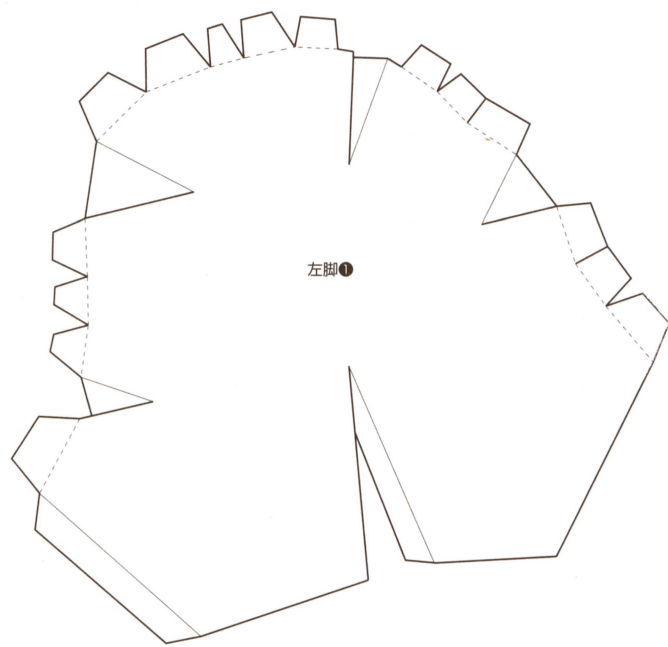
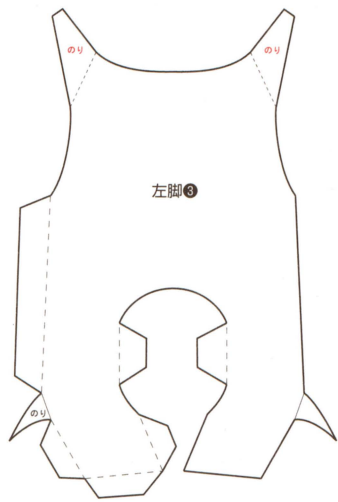
❶
❷

作り方：20ページ～

のり

左翼（裏）①-❶

のり

左翼（裏）①-❷

作り方：20ページ〜

バハムート 右翼(裏)①

山折り —·—·—·—·—·— 谷折り - - - - - - - - - - - -

のりしろ赤:他のパーツにつけるもの
のりしろ黒:パーツ自身につけるもの

切り取り

のり

右翼（裏）①-❶

のり

右翼（裏）①-❷

右翼（裏）①

❶
❷

作り方：20ページ～

山折り

谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり

バハムート

右翼(表)①

❶
❷

作り方：20ページ～

切り取り
のり
のり
のり
のり
のり
のり
右翼(表)①-❶
のり
右翼(表)①-❷
バハムート
右翼(表)①
❶
❷
作り方：20ページ～

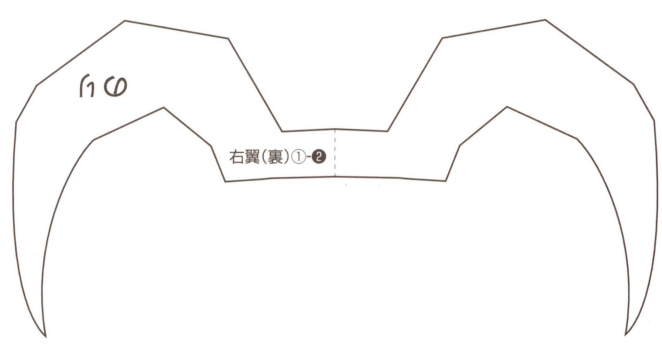
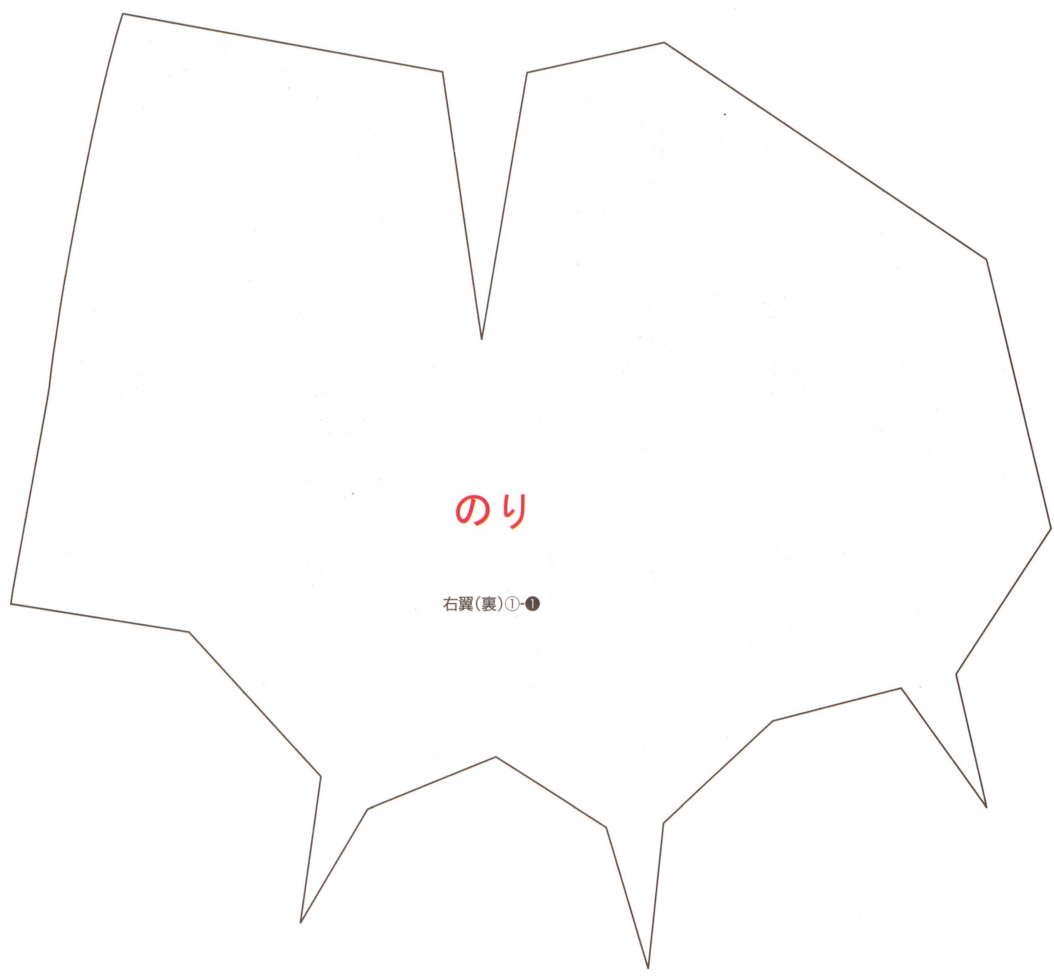
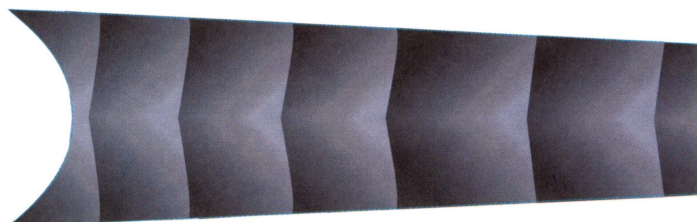
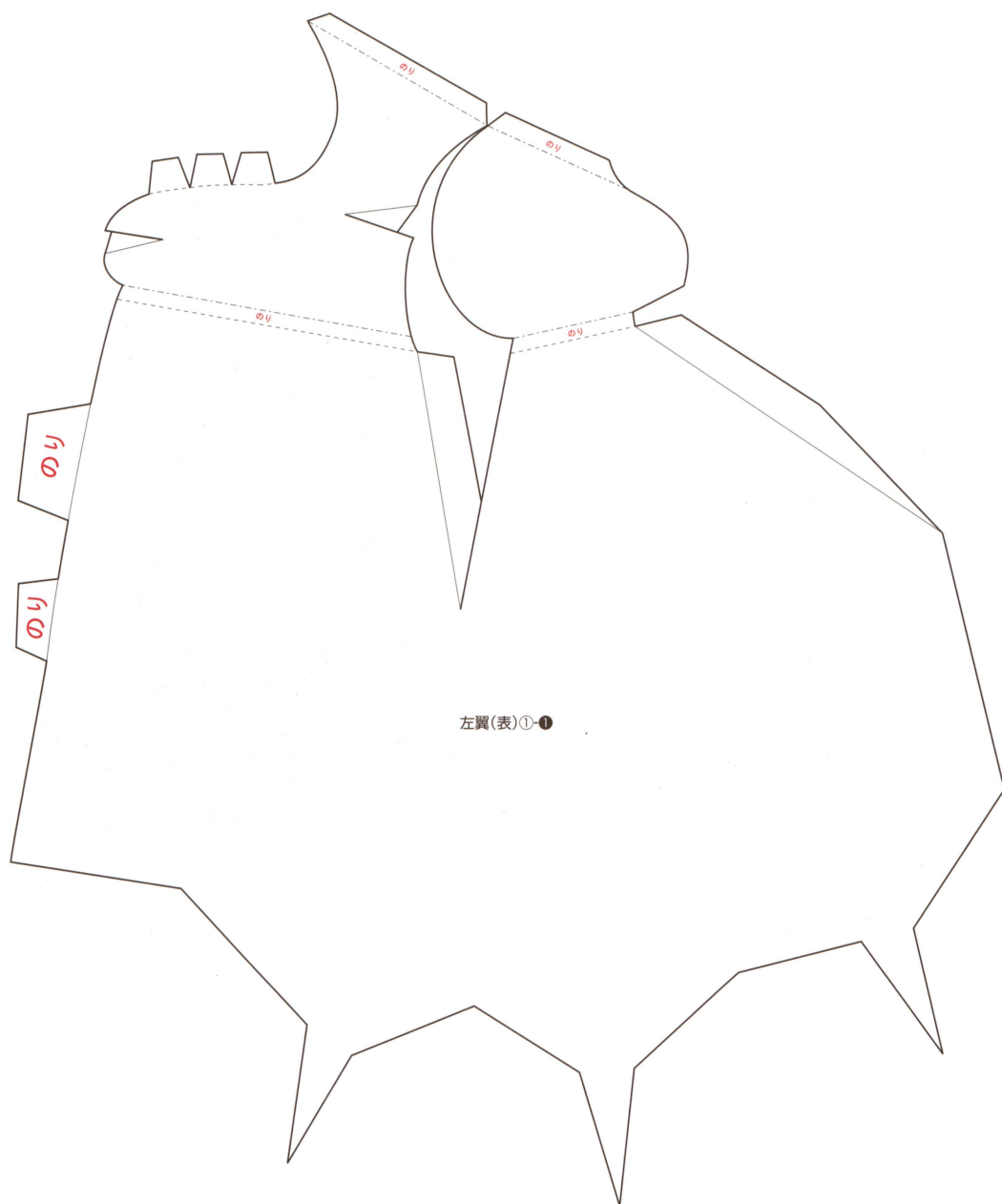
山折り ー・ー・ー・ー・ー・ 谷折り - - - - - - - - - - - -

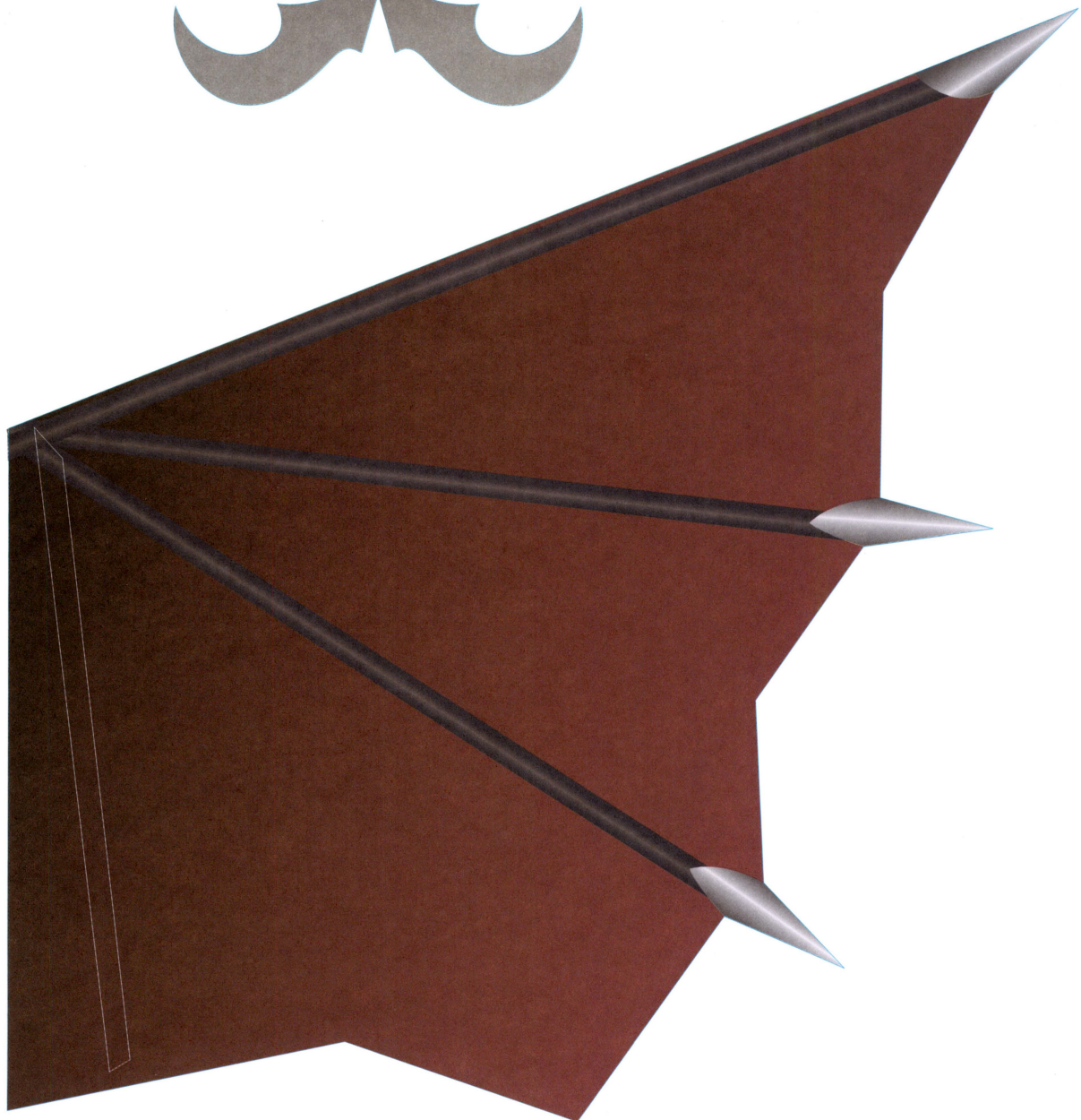
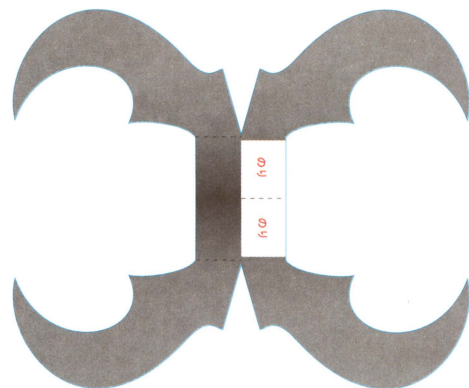
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

のり のり のり のり のり のり のり

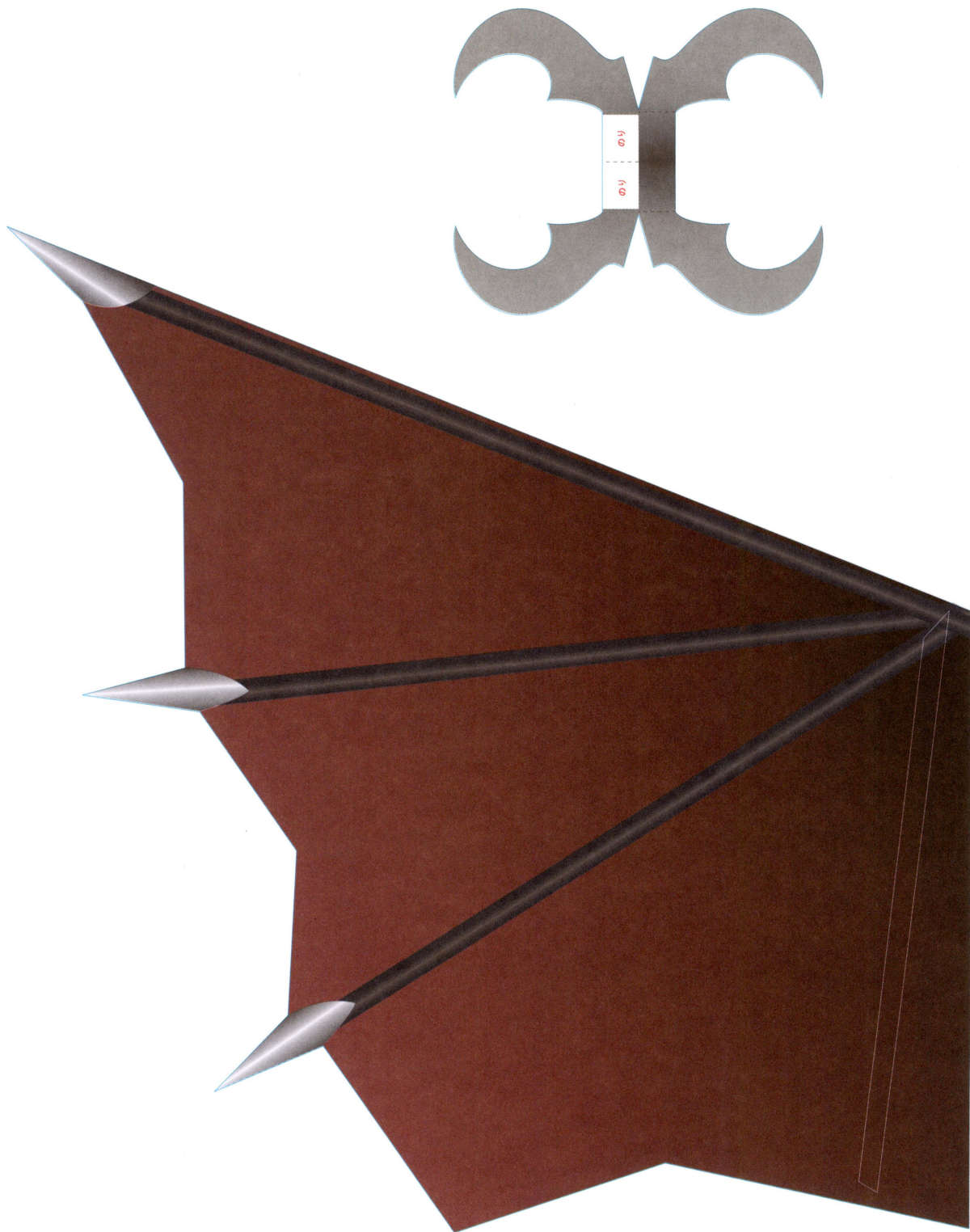
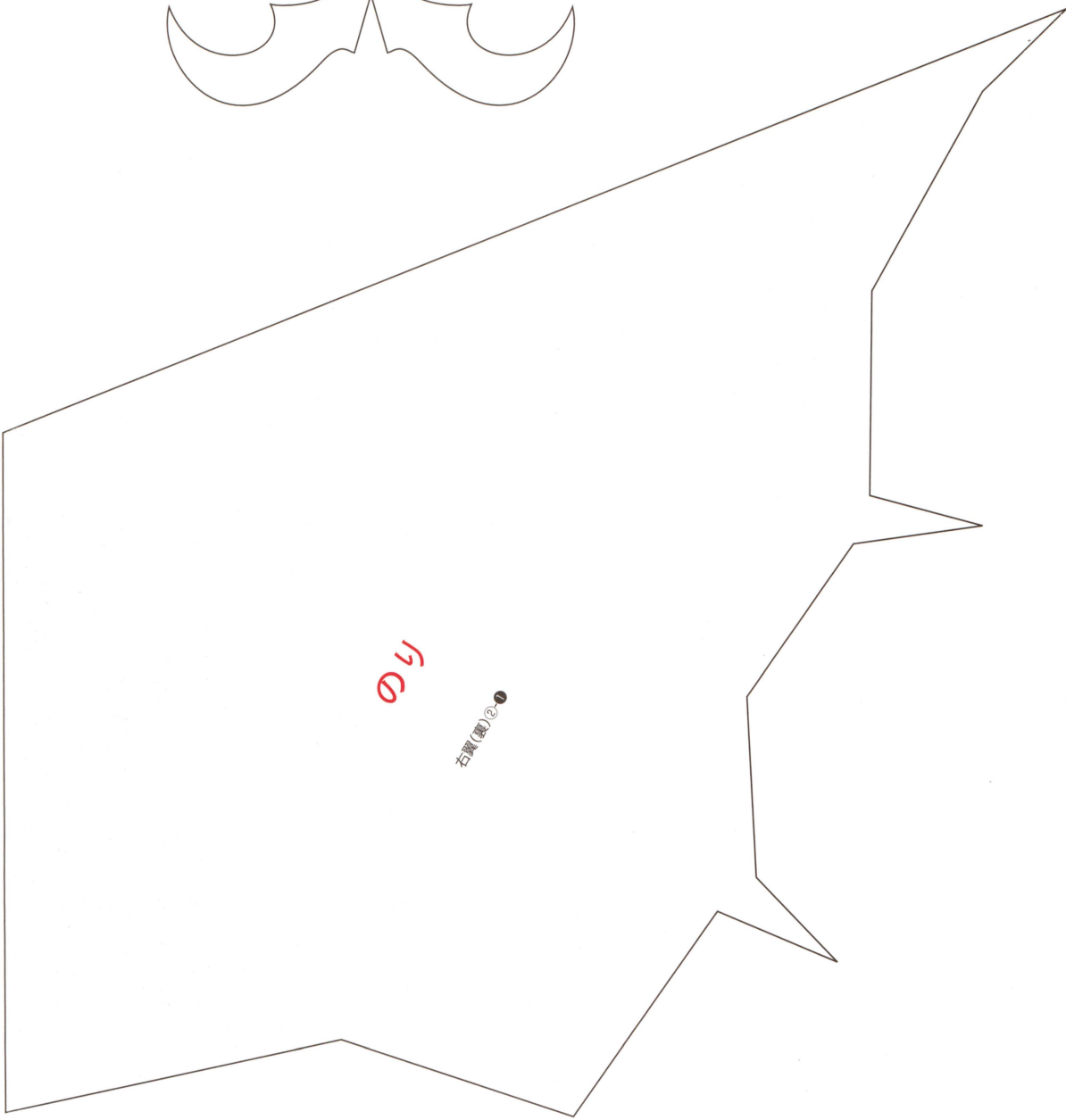
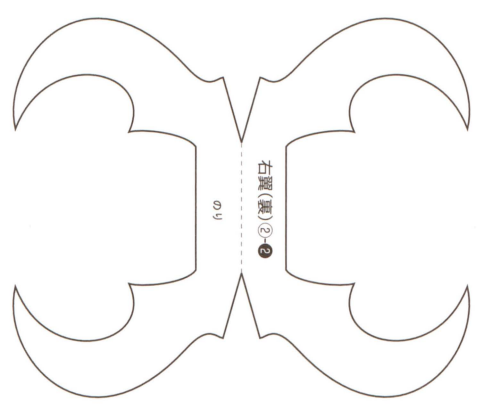
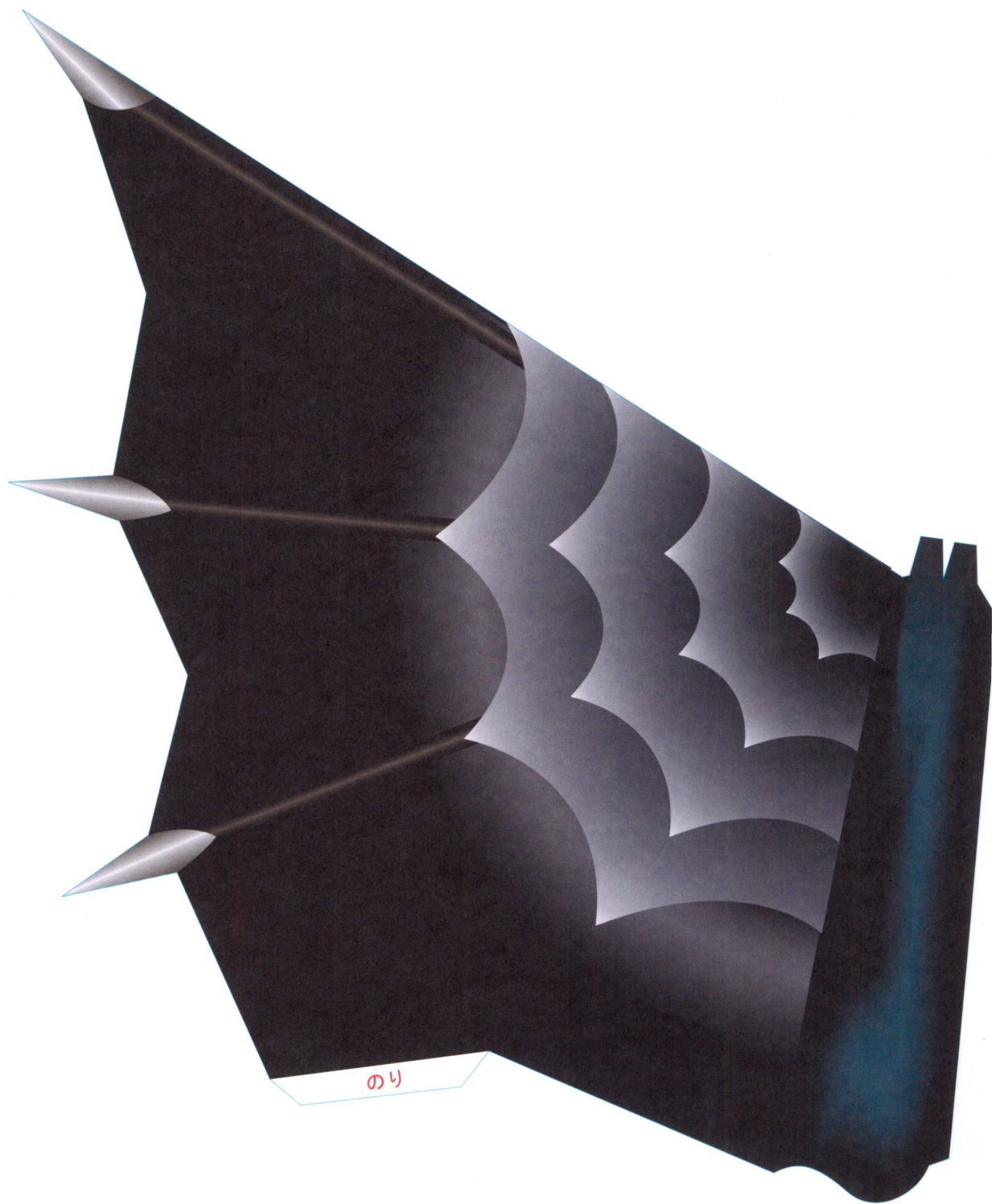
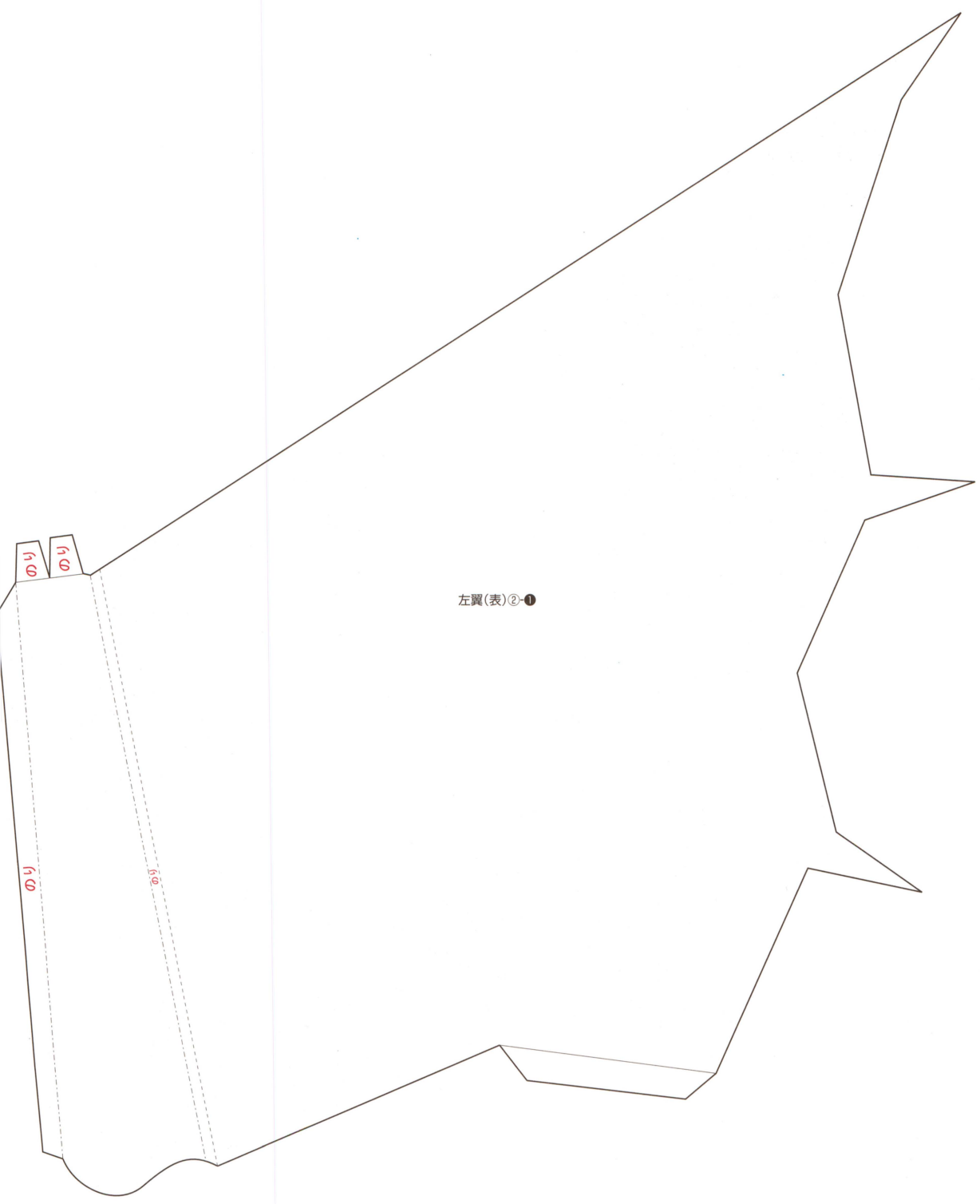
バハムート

左翼(表)①

❶

作り方：20ページ～

切り取り
バハムート 左翼（裏）②
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
のり
のり
バハムート
左翼（裏）②
❶
❷
作り方：20ページ～

作り方：20ページ～

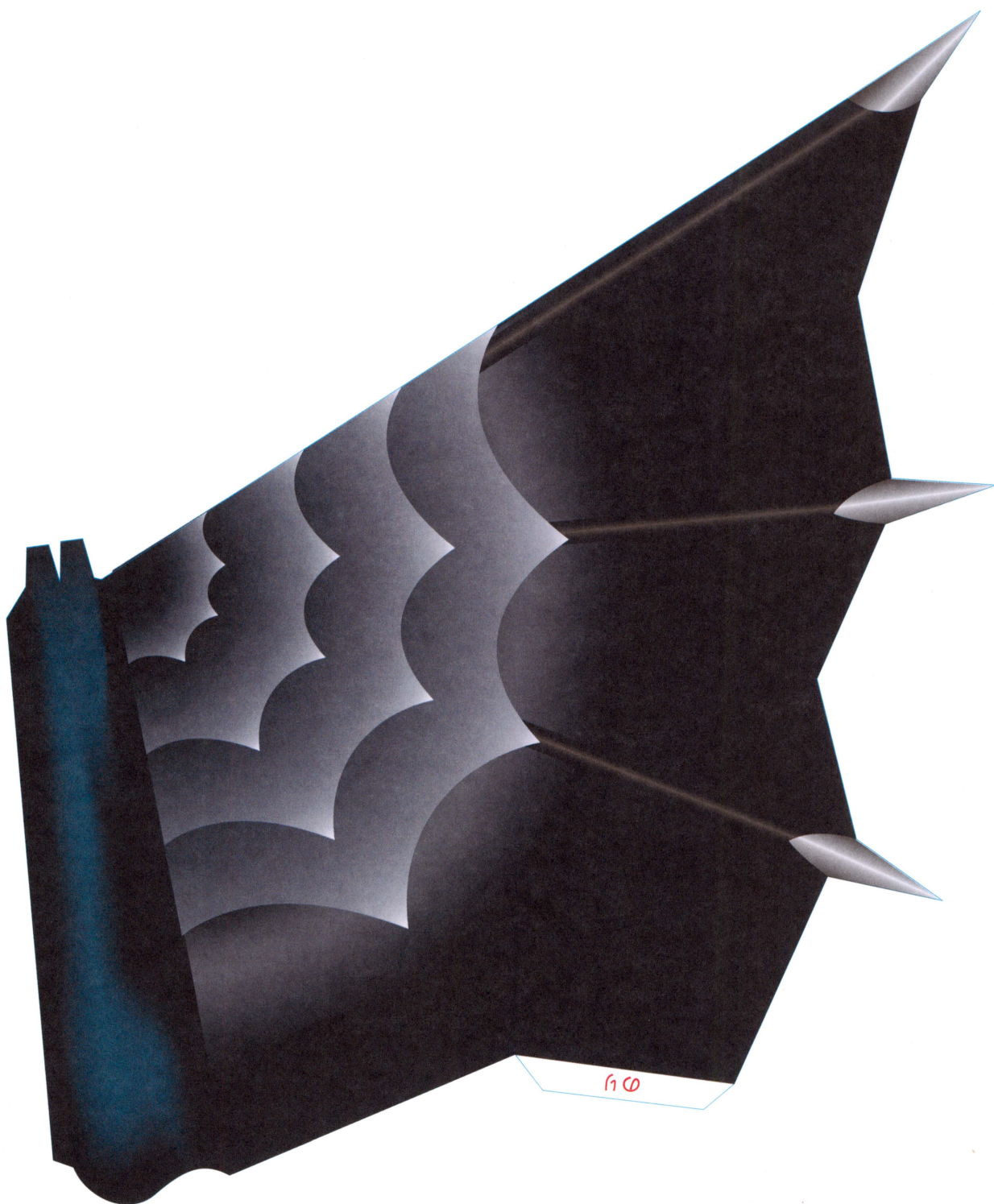
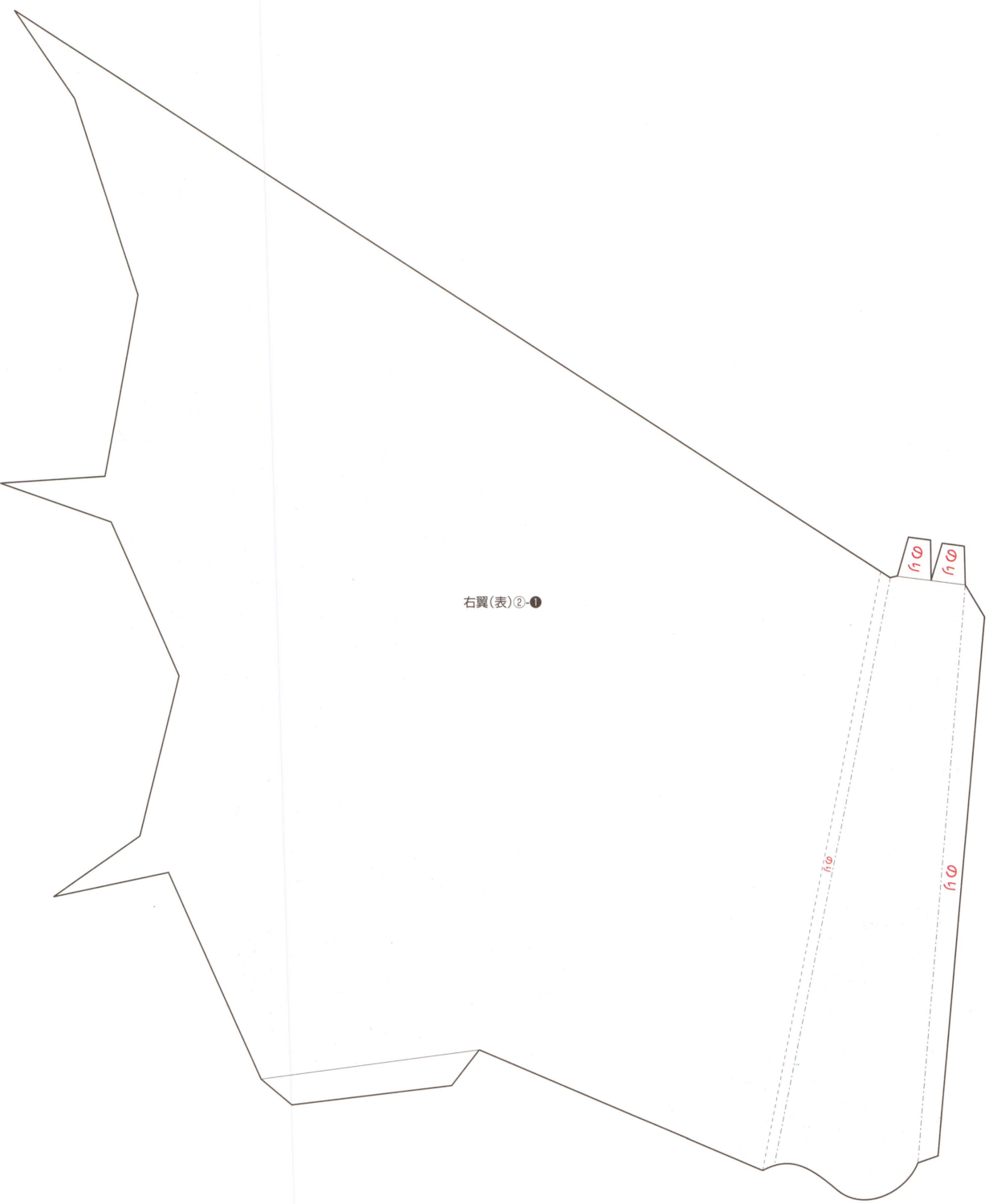
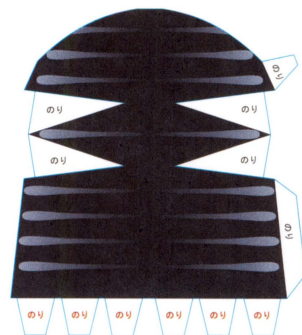
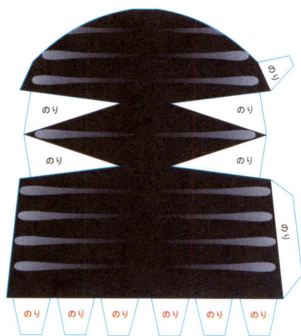
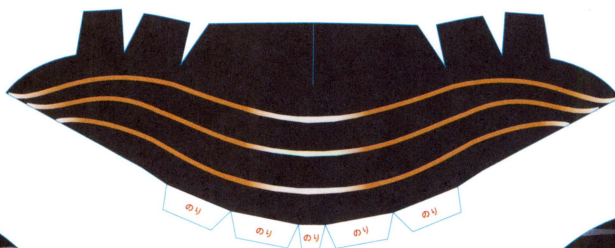
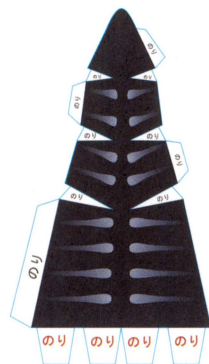
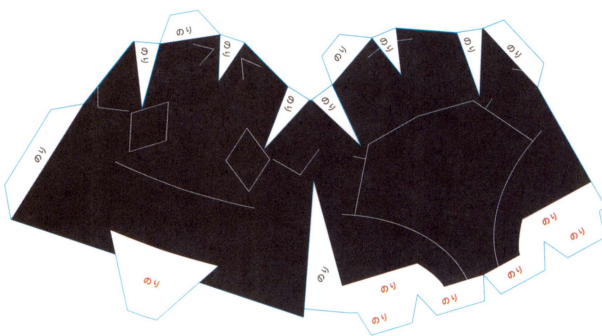
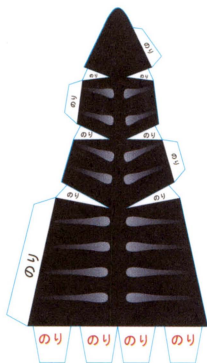
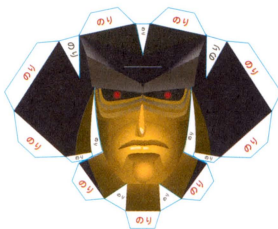
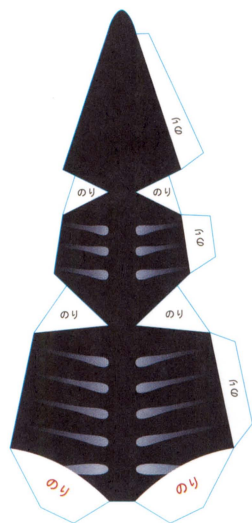
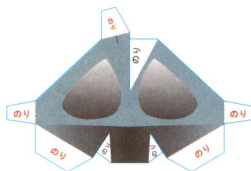
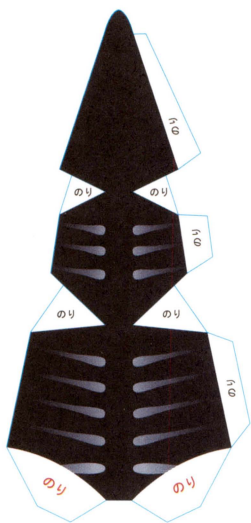
切り取り
バハムート 右翼(裏)②
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
バハムート
右翼(裏)②
❶
❷
作り方：20ページ～

切り取り
右翼（裏）②-❷
のり
のり
右翼（裏）②-❶
バハムート
右翼（裏）②
❶
❷
作り方：20ページ〜

切り取り
バハムート 左翼(表)②
山折り
谷折り
のりしろ赤:他のパーツにつけるもの
のりしろ黒:パーツ自身につけるもの
バハムート
左翼(表)②
❶
のり
作り方:20ページ~

のり
のり
左翼（表）②-❶
のり
のり
切り取り
バハムート
左翼（表）②
❶
作り方：20ページ～

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

作り方：20ページ～

右翼(表)②-❶
のり
のり
のり
のり
バハムート
右翼(表)②
❶
作り方：20ページ～

切り取り
オーディン 頭部
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
オーディン
頭部
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
作り方：24ページ〜

切り取り

頭部❶

頭部❺

頭部❽

頭部❷

頭部❸

頭部❻

頭部❾

頭部❹

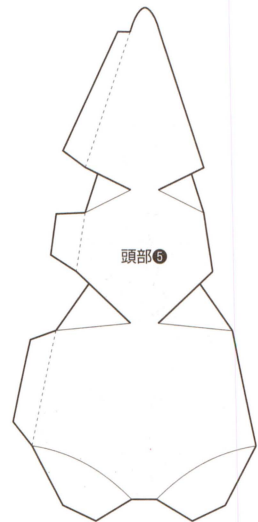
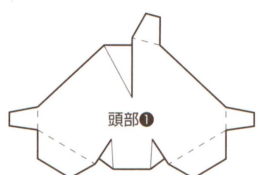
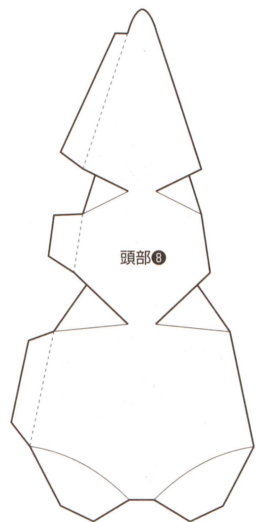
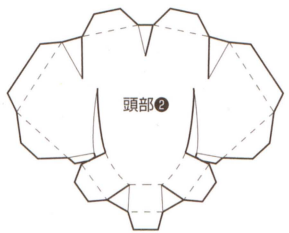
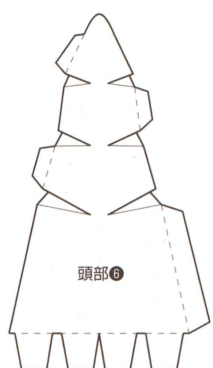
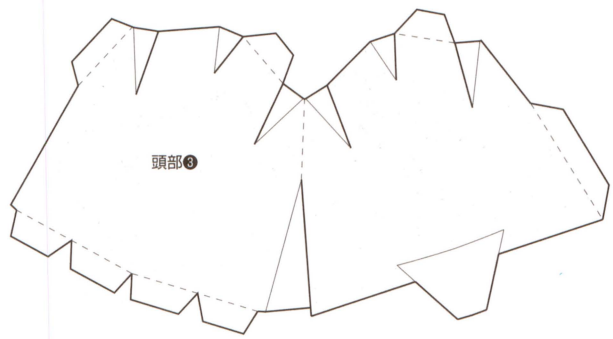
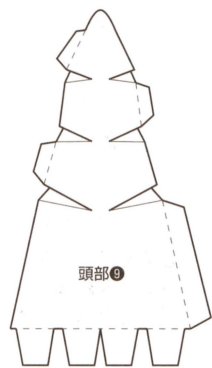
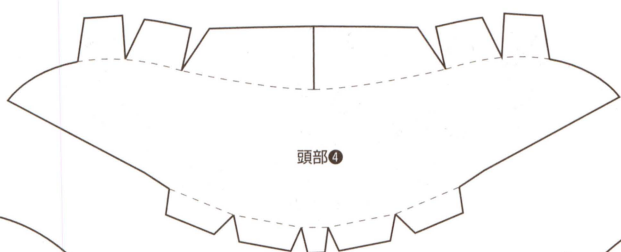
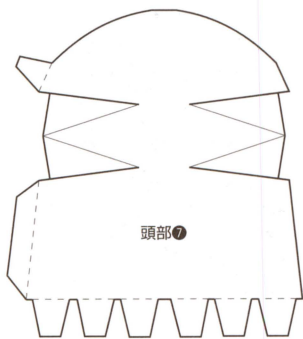
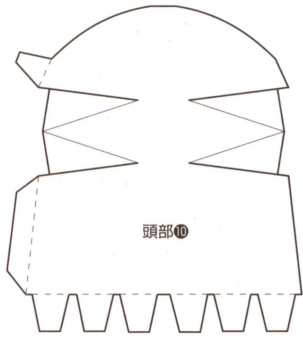
頭部❼

頭部❿

頭部

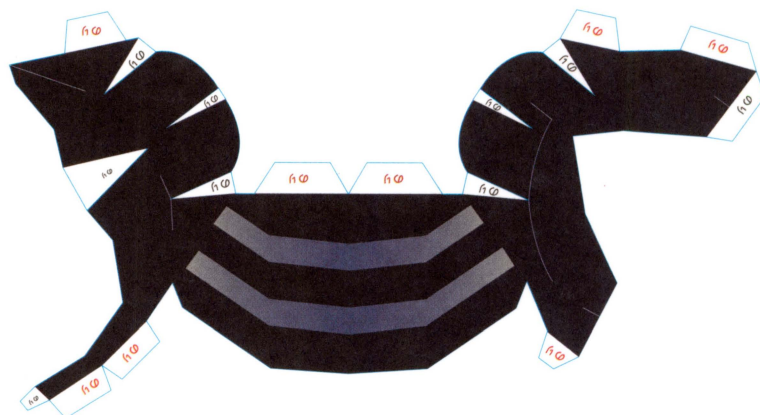
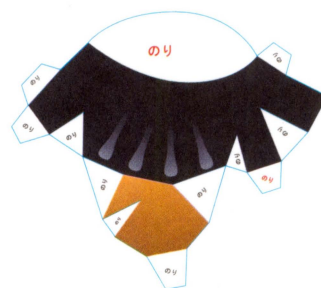
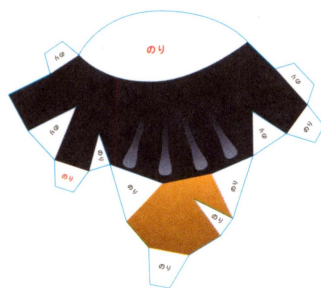
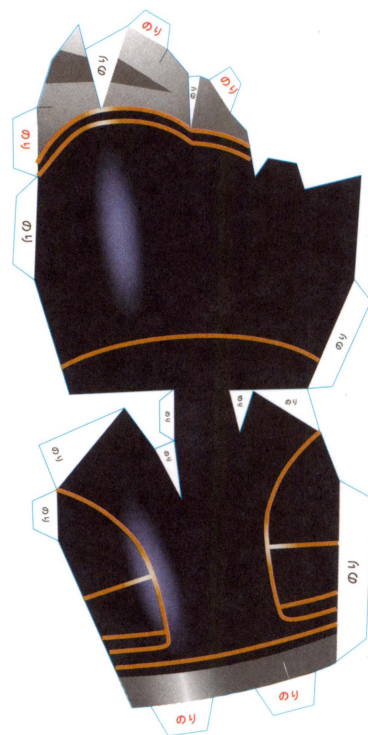
❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿

作り方：24ページ〜

切り取り

オーディン 腕

山折り

谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

オーディン

腕

作り方：24ページ〜

切り取り

オーディン

のり

腕❶

腕❷

腕❸

腕❹

腕❺

腕

❶
❷
❸
❹
❺

作り方：24ページ～

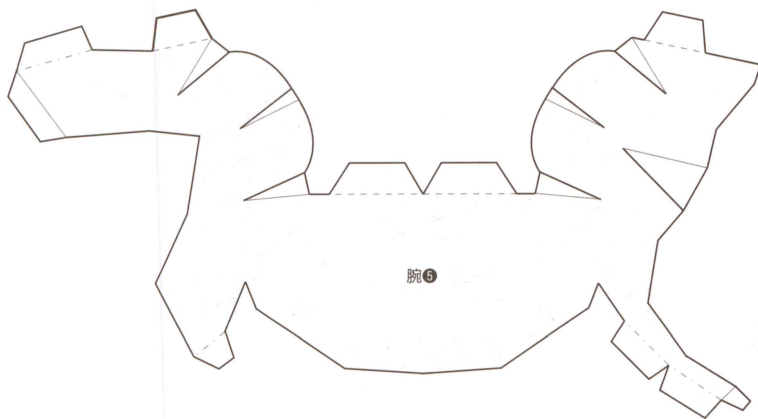
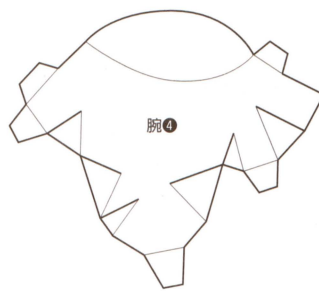
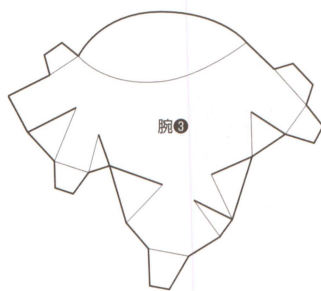
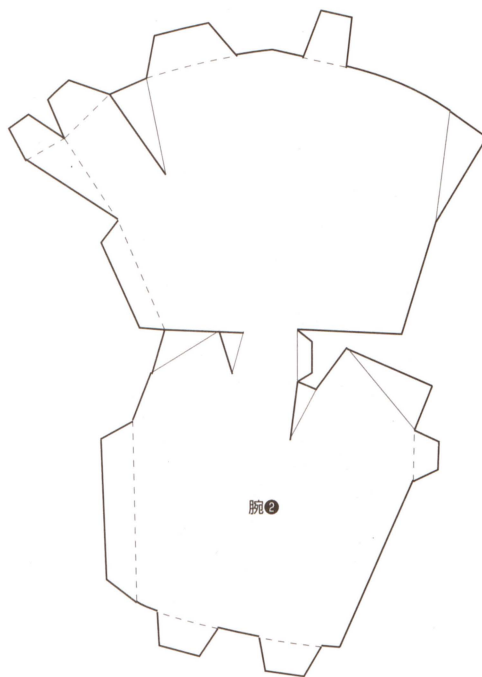
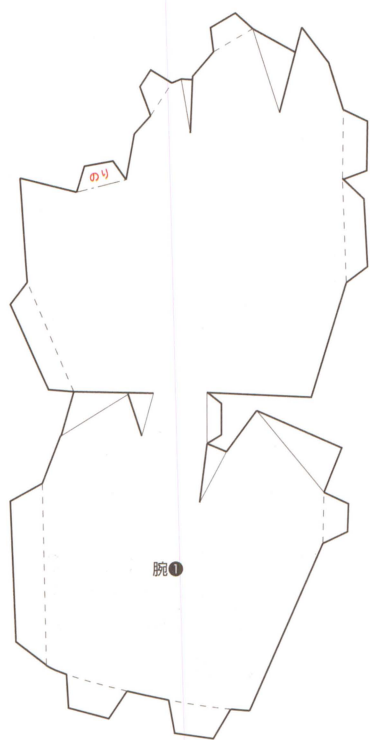
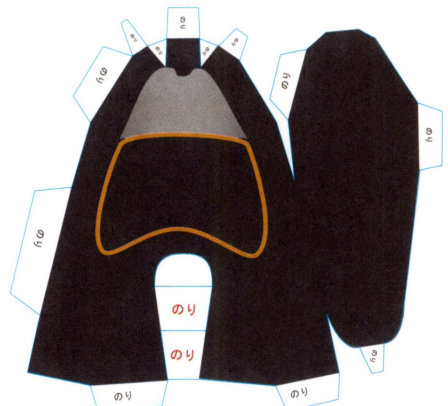
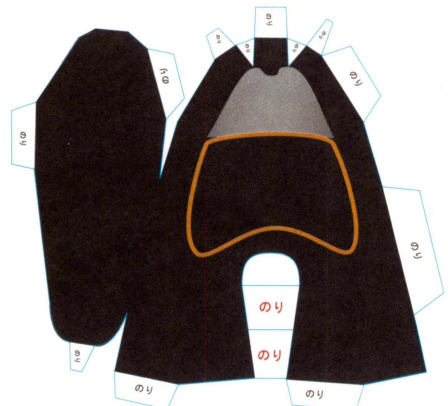
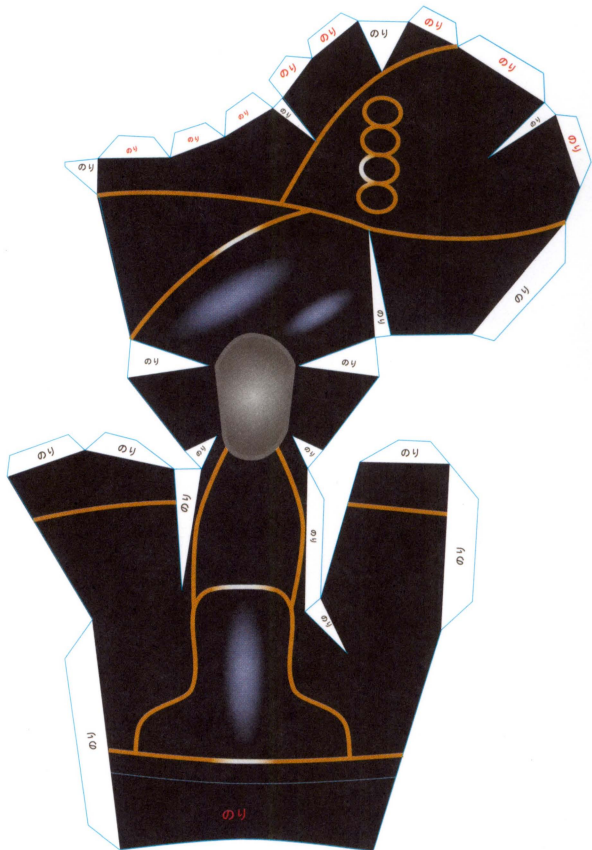
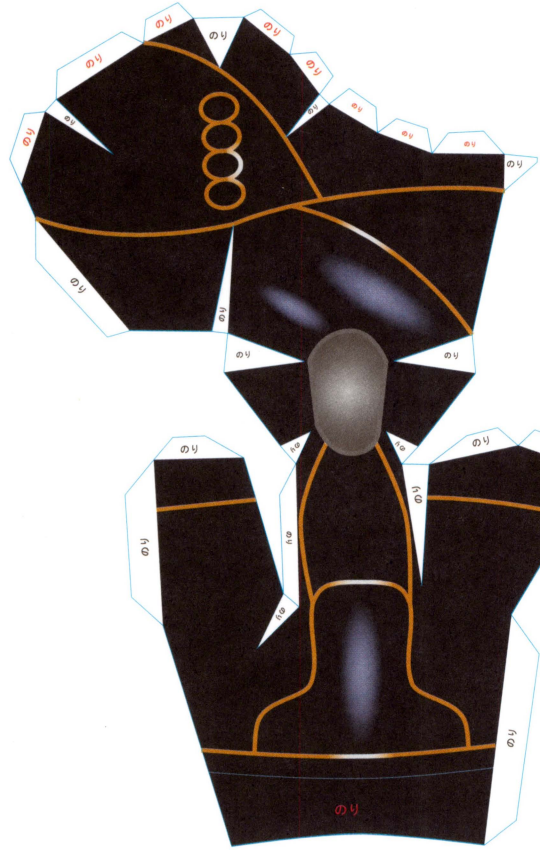
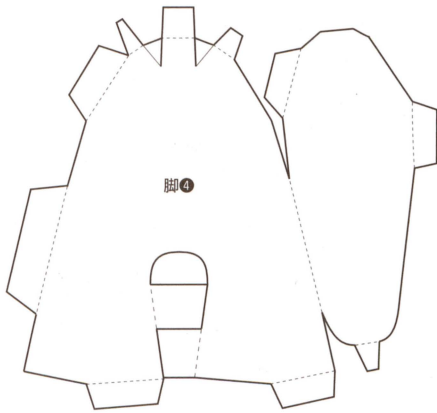
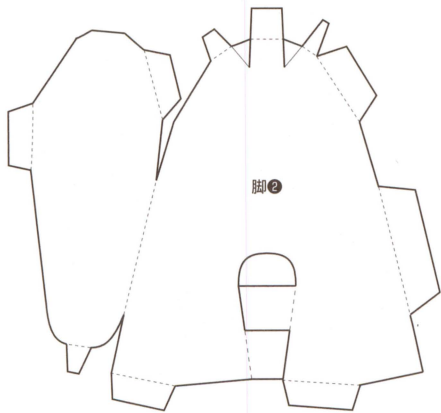
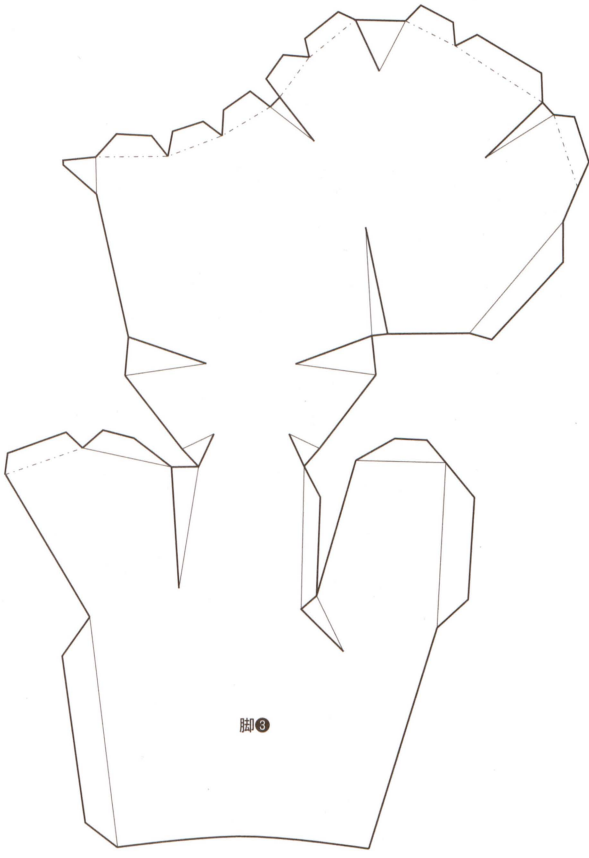
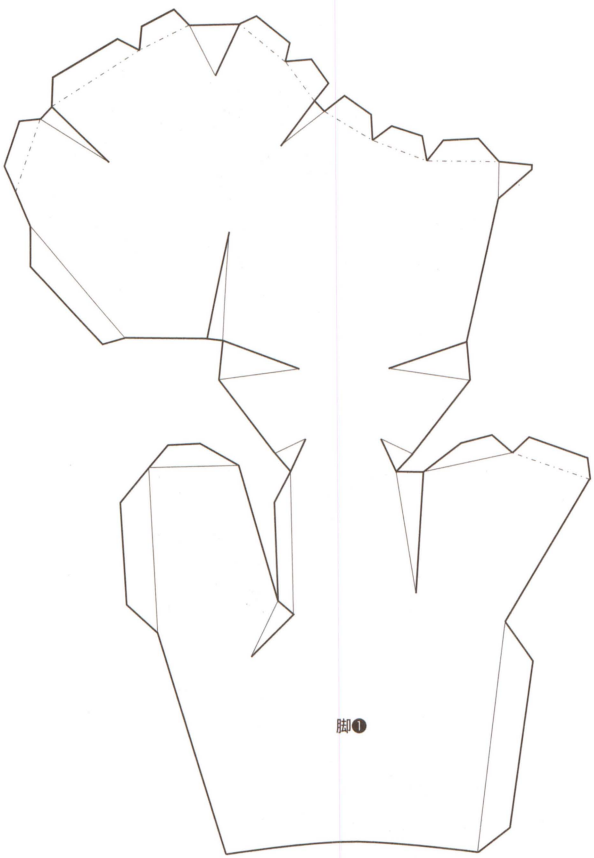
山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

オーディン

脚

❶
❷
❸
❹

作り方：24ページ〜

切り取り
脚❶
脚❸
脚❷
脚❹
オーディン
脚
1
2
3
4
作り方：24ページ～

オーディン 胴体
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
切り取り
オーディン
胴体
❶
❷
❸
❹
作り方：24ページ～
のり

切り取り

オーディン

胴体❶

胴体❷

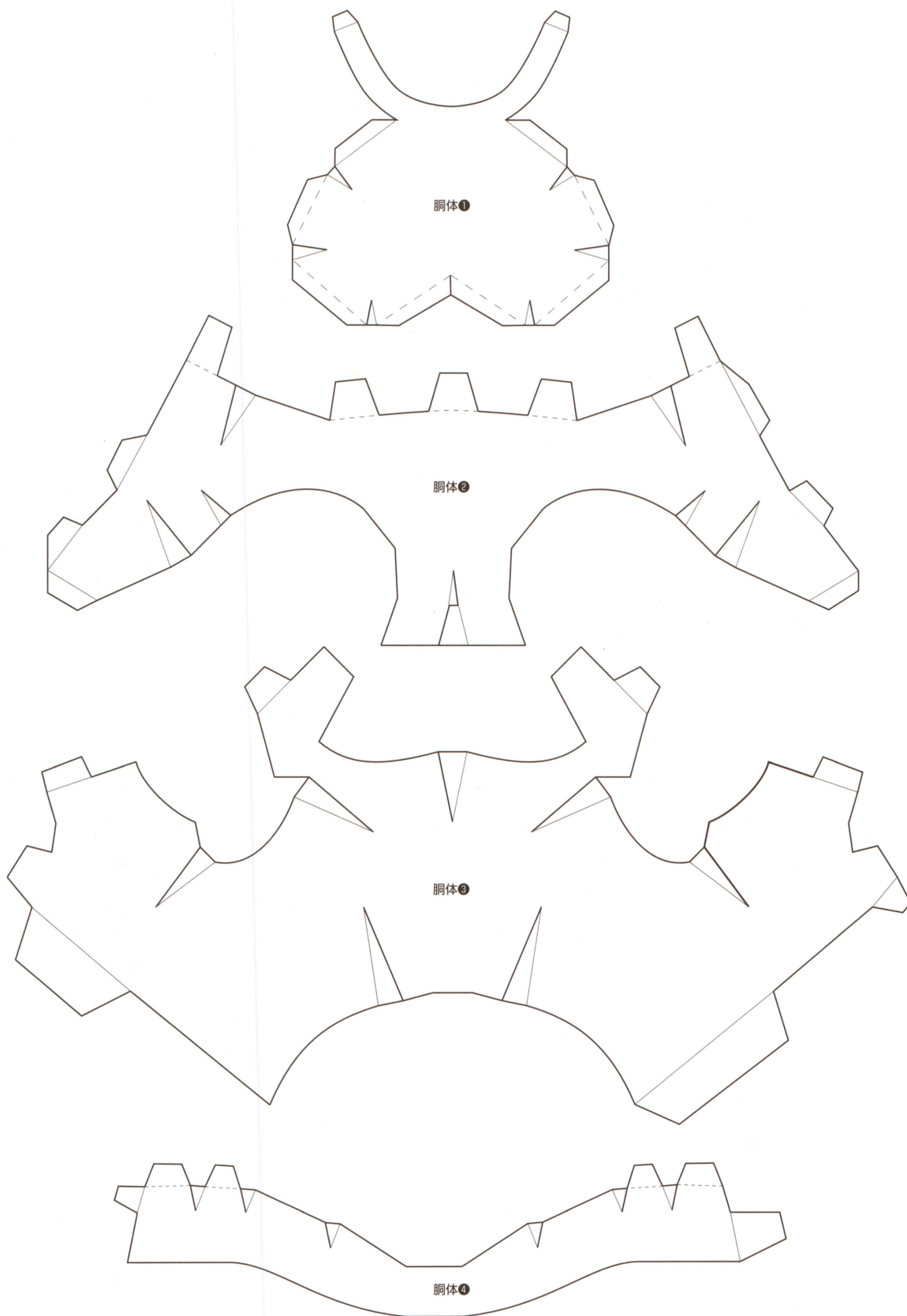
胴体❸

胴体❹

胴体

❶
❷
❸
❹

作り方：24ページ～

切り取り

オーディン マント(表)

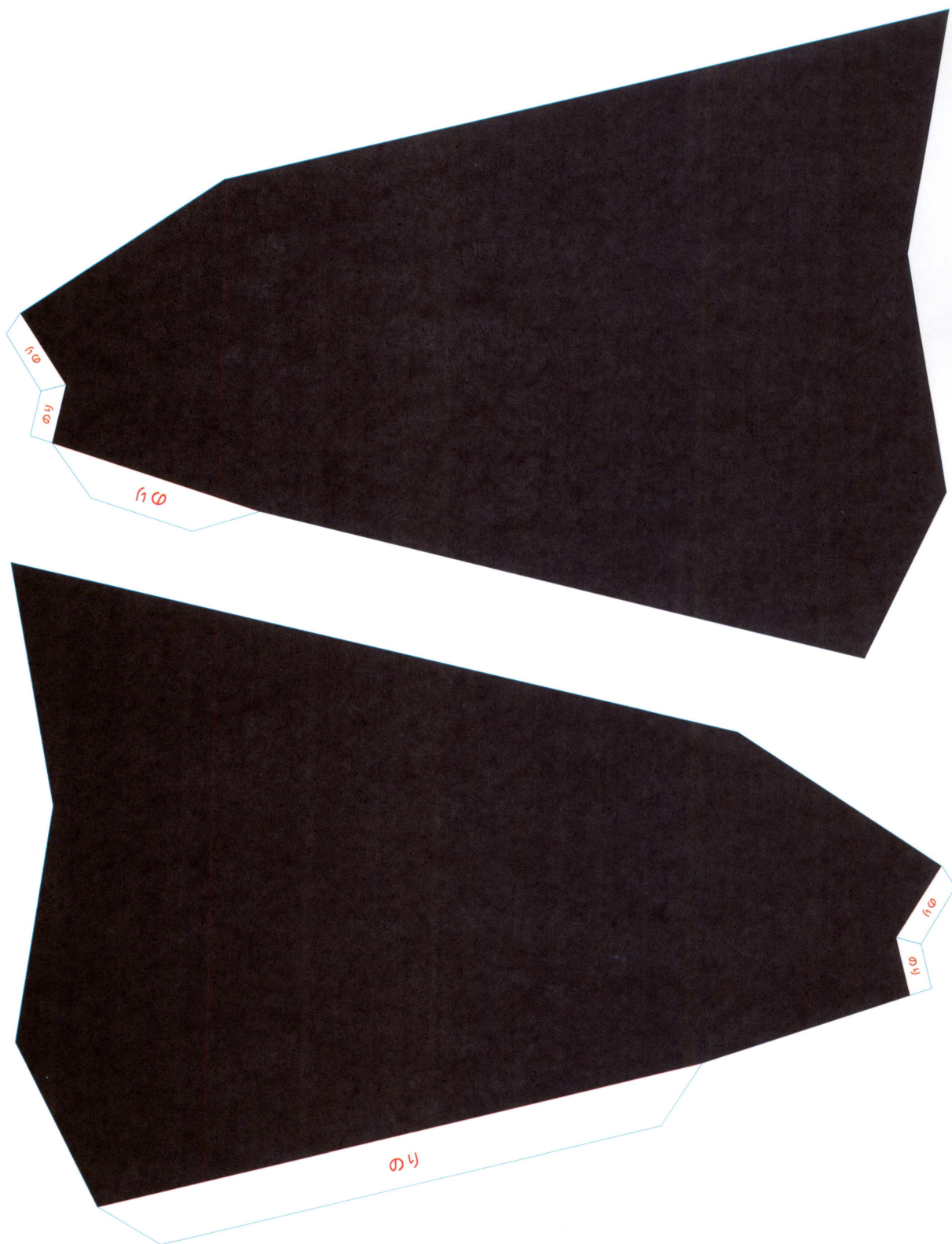
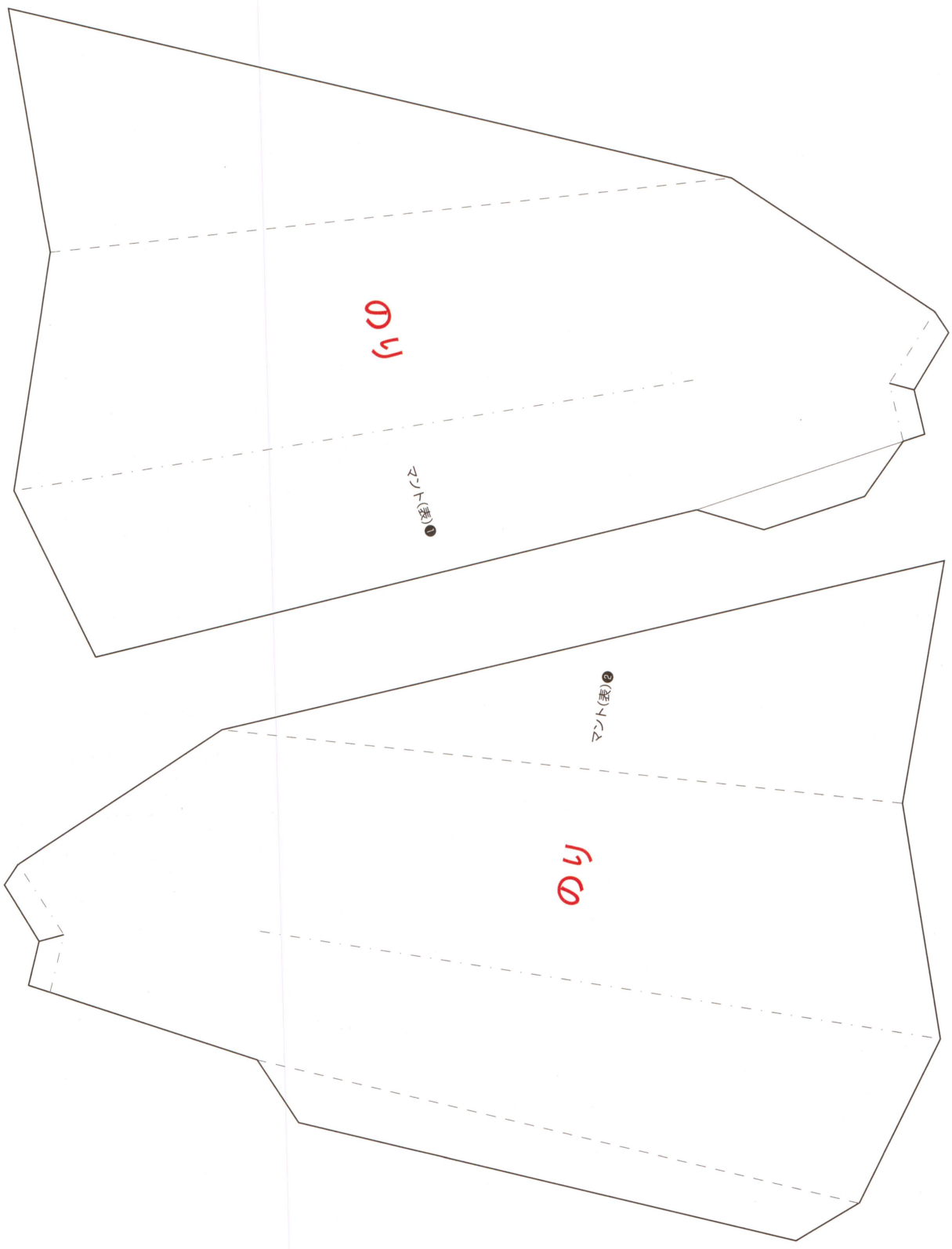
山折り

谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

オーディン

マント(表)

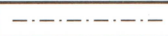
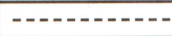
❶
❷

作り方：24ページ〜

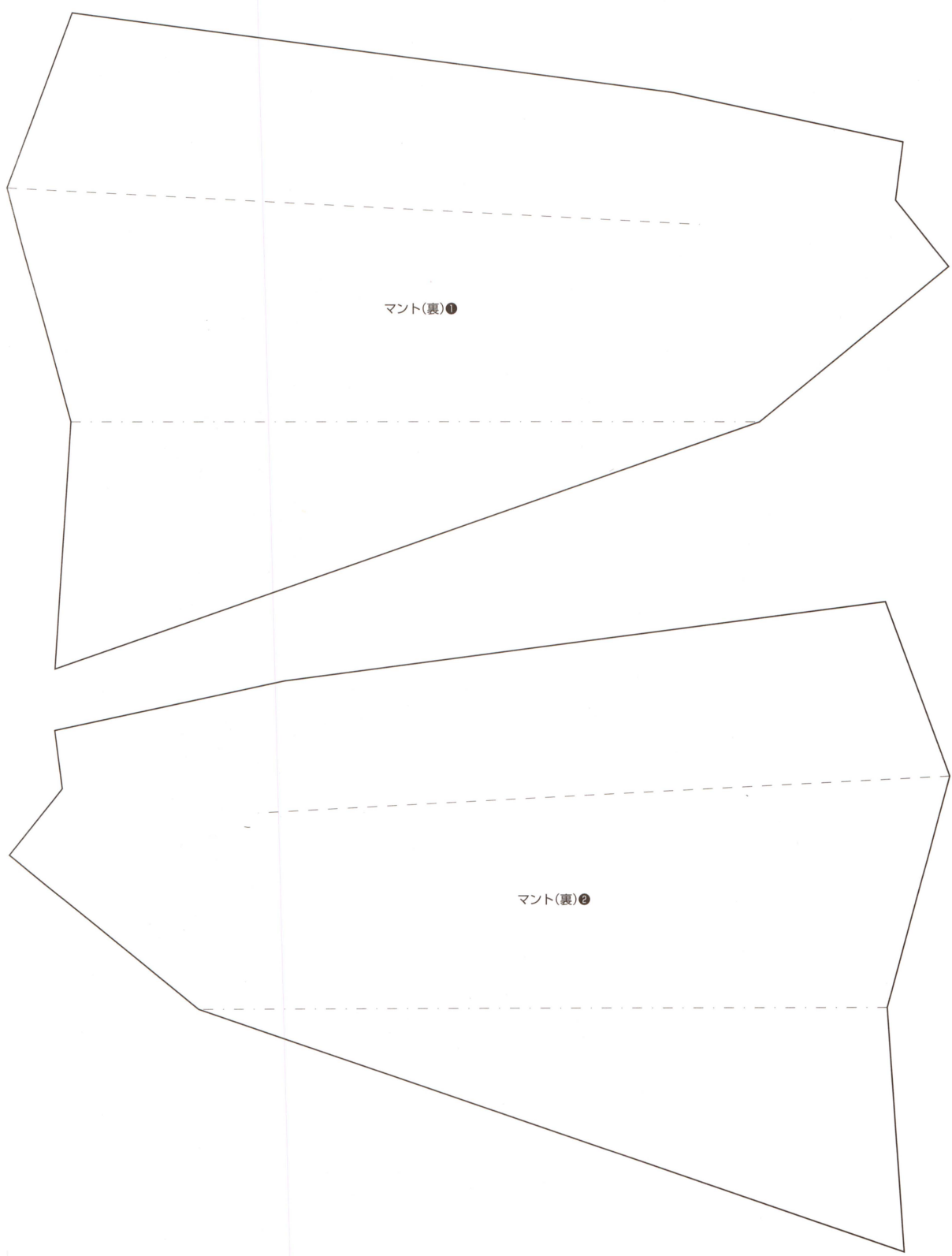
作り方：24ページ～

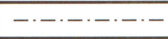
オーディン マント(裏)　山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

マント(裏)

❶
❷

作り方：24ページ~

切線
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
オーディン マント（裏）
切り取り
マント（裏）❶
マント（裏）❷
オーディン
マント（裏）
1
2
作り方：24ページ～

オーディン 剣
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
オーディン
剣
❶
作り方：24ページ〜
107

切 線
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
オーディン 剣
切り取り
のり
剣❶
オーディン
剣
❶
作り方：24ページ〜

切り取り
スレイプニル 頭部
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
スレイプニル
頭部
1
2
3
4
5
作り方：28ページ~

切線 山折り 谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

スレイプニル

頭部❶

頭部❸

頭部❹

頭部❷

頭部❺

頭部

1
2
3
4
5

作り方：28ページ～

山折り
谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

スレイプニル

胴体①

❶

作り方：28ページ～

のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり
のり

切り取り

胴体①-❶

スレイプニル

胴体①

❶

スレイプニル

胴体②

❶

作り方：28ページ～

山折り

谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

スレイプニル

後脚(右)

❶
❷
❸

作り方：28ページ～

切り取り

後脚（右）❷

後脚（右）❸

後脚（右）❶

作り方：28ページ～

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

後脚（左）❷

後脚（左）❸

後脚（左）❶

スレイプニル

後脚（左）

❶
❷
❸

作り方：28ページ〜

山折り　谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

のり のり

作り方：28ページ～

山折り ―・―・―・―・―

谷折り - - - - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

中脚

作り方：28ページ～

のり のり のり のり のり のり のり のり

切 線
山折り
谷折り
のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの
スレイプニル 中脚
切り取り
中脚❶
中脚❷
中脚❸
中脚❹
スレイプニル
中脚
1
2
3
4
作り方：28ページ～

山折り

谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

切り取り

スレイプニル

ひづめ

1
2
3
4
5
6

作り方：28ページ～

ひづめ

❶
❷
❸
❹
❺
❻

作り方：28ページ～

山折り
谷折り

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

のり
のり
のり
のり

切り取り

スレイプニル

たてがみ

❶

作り方：28ページ～

山折り –・–・–・–・–・– 谷折り - - - - - - - - - - - -

のりしろ赤：他のパーツにつけるもの
のりしろ黒：パーツ自身につけるもの

スレイプニル

尾

❶
❷
❸
❹

作り方：28ページ～

尾①

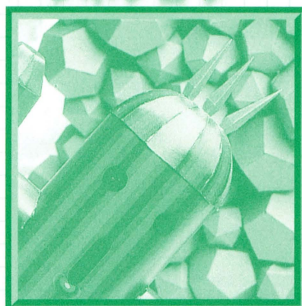
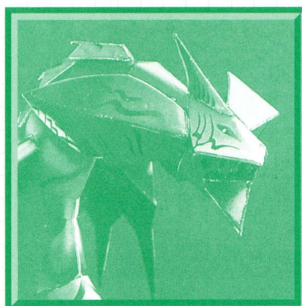
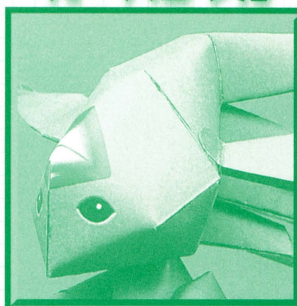
尾②

尾③

尾④

FINAL FANTASY VIII

ファイナルファンタジーVIII

ペーパークラフトBOOK

カーバンクル

リヴァイアサン

バハムート

オーディン

ハサミとノリで組みあげる君だけのペーパーフィギュア

DigiCube

ISBN4-925075-59-4 C007

ISBN4-925075-59-4
C0076 ¥2500E

カーバンクル

リヴァイアサン　バハムート　オーディン

ハサミとノリで組みあげる君だけのペーパーフィギュア

株式会社デジキューブ　定価(本体2,500円+税)